

令和 2 年度

教 育 要 覧



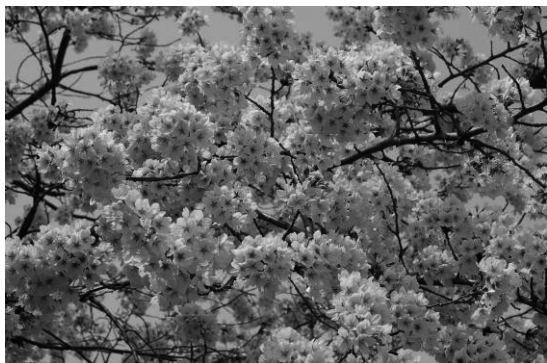
木津川市教育委員会



市章

「人」を組み合わせることで『木』を表し、木津川の清流をイメージしたブルーを基調に動きのあるラインで、「清潔感」と「躍動感」を示しています。

豊かな自然に育まれ、文化を創造し、市民すべての力で大きく飛躍発展する『木津川市』を表現しています。



市の木 桜

市内の各所でその美しい姿を見ることができる「桜」は、一般公募において、最も多くの応募をいただいた木です。

また、初春に誕生しました木津川市にとって、その時を待ちわびたように咲き誇る姿は、まさに木津川市の誕生を祝福すると共に、木津川市の華やかな未来を象徴するにふさわしい木であることから、「桜」を本市の木に制定しました。



市の花 コスモス

木津川市の各所で色様々に咲く「コスモス」は、一般公募において、最も多くの応募をいただいた花です。

また、それぞれに特色・魅力のある3町がひとつになり誕生した木津川市にとって、様々な色のコスモスが寄り添い、ひとつの壮大な景観を造る姿は、木津川市の多様性と調和に満ちた発展を象徴するにふさわしい花であることから、「コスモス」を本市の花に制定しました。

1 位置・面積等、歴史、展望、沿革

(1) 位置・面積等

位置 東経135度49分・北緯34度44分（市役所位置）

京都府の最南端に位置し、東は和束町、笠置町、西は精華町、北は井手町に接している。

面積 85.13平方キロメートル

人口 総数 77,893人 男 37,978人 女 40,580人（令和2年4月末日現在）

世帯数 31,402世帯（令和2年4月末日現在）

(2) 歴史

この地域では、古代から木津川が交通路として利用され、淀川を通り大和と瀬戸内を結ぶ航路の起点にあった。奈良時代になると、木津が平城京などの都城建設の木材の引揚げ港として栄え、「木津」という地名の由来となっている。天平12（西暦740）年12月には、聖武天皇が平城京から加茂町瓶原を中心とした恭仁京へ遷し、短命ではあったが、日本の首都となった。

また、古くから都と関連の深い地域として発展したこの地域は、近郊農業の地として発展する素地を築いた。

その後、奈良や京都、伊勢、伊賀を結ぶ街道の宿場町として発展するとともに、宇治茶やタケノコなどの主産地として名声を高め、優良な農業地域として栄えた。また、江戸時代には木津川の治水事業や農地の拡大などが進められ、集落が発展し、現在のまちの姿に近いものとなった。

明治時代になると木津川の水運としての役割は小さくなり、鉄道や道路の交通網の整備が進められた。また、茶の栽培や大都市近郊の立地条件を生かした近郊農業が盛んに行われた。

昭和26年に木津町と相楽村が合併し木津町に、加茂町、当尾村、瓶原村の3町村が合併し加茂町に、昭和31年に上狛町、棚倉村、高麗村の3町村が合併し山城町になった。

そして、平成19年3月12日、木津町・加茂町・山城町が合併し「木津川市」が誕生した。

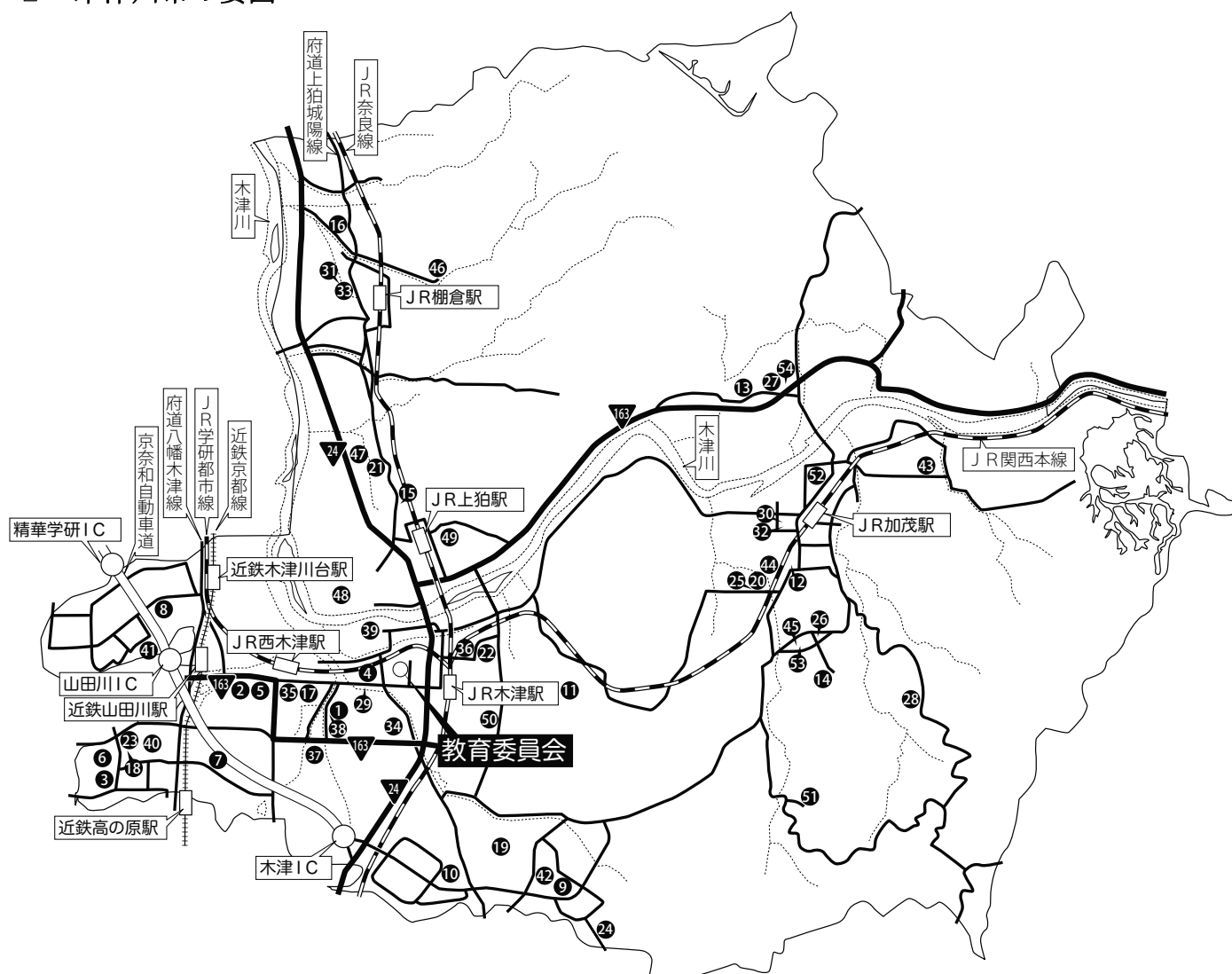
(3) 展望

最先端の科学技術を有する関西文化学術研究都市や、多くの国宝を始めとするロマン溢れる文化財、また、緑豊かな里山や農地、伝統など、先人から受け継がれてきた魅力ある資源を大切に守りながら、ひとが耀きともに創る豊かな未来をめざして、新しい魅力あふれる文化創造都市をつくりあげる。

(4) 沿革

平成19年	3月12日	木津川市誕生（木津町・加茂町・山城町合併による）
		木津川市教育委員会発足（所在地：旧木津町教育委員会）
平成19年	4月1日	州見台小学校開校
平成20年	9月1日	教育委員会事務局、本庁に移転（市役所新庁舎完成に伴う）
平成22年	4月1日	加茂学校給食センター開所
平成22年	5月1日	加茂図書館、加茂支所に移転
平成22年	5月21日	文化財整理保管センター分室開所
平成23年	4月1日	木津南中学校開校
平成24年	3月31日	当尾小学校閉校
平成26年	3月31日	木津小学校鹿背山分校閉校
平成26年	4月1日	城山台小学校開校
平成28年	4月1日	当尾の郷会館リニューアル
平成29年	3月31日	当尾公民館、加茂プール廃止
平成30年	3月31日	加茂プラネタリウム館廃止、加茂青少年山の家運営停止
平成30年	9月30日	木津川市民の奈良市立北部図書館の利用開始
平成31年	3月31日	移動図書館車「いずみ号」廃止
		市立幼稚園、小中学校全普通教室に空調設備を一斉導入
令和2年	3月31日	加茂体育館、木津学校給食センター、山城学校給食センター廃止
令和2年	4月1日	木津川市立第一学校給食センター開所
		木津川市立第二学校給食センターに名称変更

2 木津川市の要図



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---------|----------|---------|---------|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|-----------|----------|---------|---------|------------|------------|--------------|--------------|-----------|---------|----------|---------|---------|---------|------------|--------------|----------|----------|----------|---------|--------------|-----------|--------|----------|---------|-----------|------------|--------|---------|----------------|----------------|----------|--------|-------------|--------------|----------------|--------------------------------|
| ① 木津幼稚園 | ② 相楽幼稚園 | ③ 高の原幼稚園 | ④ 木津小学校 | ⑤ 相楽小学校 | ⑥ 高の原小学校 | ⑦ 相楽台小学校 | ⑧ 木津川台小学校 | ⑨ 梅美台小学校 | ⑩ 州見台小学校 | ⑪ 城山台小学校 | ⑫ 加茂小学校 | ⑬ 恭仁小学校 | ⑭ 南加茂台小学校 | ⑮ 上粕小学校 | ⑯ 棚倉小学校 | ⑰ 木津中学校 | ⑱ 木津第二中学校 | ⑲ 木津南中学校 | ⑳ 泉川中学校 | ㉑ 山城中学校 | ㉒ 府立木津高等学校 | ㉓ 府立南陽高等学校 | ㉔ 第一学校給食センター | ㉕ 第二学校給食センター | ㉖ 南加茂台公民館 | ㉗ 瓶原公民館 | ㉘ 当尾の郷会館 | ㉙ 中央図書館 | ㉚ 加茂図書館 | ㉛ 山城図書館 | ㉜ 加茂文化センター | ㉝ 山城総合文化センター | ㉞ 中央交流会館 | ㉟ 西部交流会館 | ㊱ 東部交流会館 | ㊲ 中央体育館 | ㊳ 市民スポーツセンター | ㊴ 木津グラウンド | ㊵ 兜谷公園 | ㊶ 木津川台公園 | ㊷ 梅美台公園 | ㊸ 加茂グラウンド | ㊹ 赤田川グラウンド | ㊺ 塚穴公園 | ㊻ 不動川公園 | ㊼ やすらぎタウン山城プール | ㊽ 山城コミュニティ運動広場 | ㊾ 上粕駅東公園 | ㊿ 城址公園 | 51 加茂青少年山の家 | 52 加茂青少年センター | 53 文化財整理保管センター | 54 文化財整理保管センター分室
(くにのみや学習館) |
|---------|---------|----------|---------|---------|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|-----------|----------|---------|---------|------------|------------|--------------|--------------|-----------|---------|----------|---------|---------|---------|------------|--------------|----------|----------|----------|---------|--------------|-----------|--------|----------|---------|-----------|------------|--------|---------|----------------|----------------|----------|--------|-------------|--------------|----------------|--------------------------------|

3 各委員等一覧

(1)教育長及び教育委員 (令和2年6月1日現在)

職 名	氏 名
教 育 長	森 永 重 治
教育長職務代理者	有 賀 やよい
委 員	小 松 信 夫
委 員	高 橋 史 代
委 員	佐 脇 貞 憲

(2)社会教育委員 (令和2年4月1日現在)

職 名	氏 名
委 員 長	岡 田 敏
副 委 員 長	高 原 和 子
副 委 員 長	木 村 勝
委 員	武 田 博 利
〃	三 上 かず子
〃	森 本 茂 子
〃	花 田 康 子
〃	三 谷 博 之
〃	橋 本 京 子
〃	井 上 若 菜
〃	渡 邊 素 子
〃	竹 花 裕 子

(3)スポーツ推進委員

(令和2年4月1日現在)

職 名	氏 名	専門種目	職名	氏 名	専門種目
委員長	木村 勝	ソフトボール、野球、バドミントン	委員	石崎 完治	ソフトバレーボール
副委員長	石本 将隆	全般	委員	豊田 明子	ソフトバレーボール
副委員長	大倉 竹次	バレーボール、ソフトバレーボール	委員	西谷 睦美	卓球
委員	尾崎 田鶴	レクリエーション、野外活動	委員	小尾 典彦	野球
委員	光橋 通信	野球、スキー	委員	小西 良彦	ソフトバレーボール
委員	杉田 賢知	野球、陸上	委員	大西 崇弘	ラグビー
委員	徳山 昌伸	サッカー、野球、陸上	委員	福嶋 陽介	ニュースポーツ
委員	宮川 慶子	水泳、バレーボール、ソフトバレーボール	委員	戸嶋 良太	ラグビー
委員	松原 稔	野球、剣道	委員	原田 健司	フットサル
委員	永野 彰	全般	委員	山崎 健一	サッカー
委員	森川 恭美	ソフトバレーボール、ソフトボール	委員	横井 芳正	バレーボール
委員	新田 浩	水泳	委員	上原 忍	ソフトボール
委員	早川 幸子	ソフトボール、ソフトバレーボール			

(4)第一学校給食センター運営委員

(令和2年4月1日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
教 育 委 員	有 賀 やよい	木津川台小学校校長	田 中 成 一
教 育 委 員	小 松 信 夫	〃 P T A 会 長	加 瀬 賢 治
木津中学校校長	田 中 勉	梅美台小学校校長	湯 浅 敬 子
〃 P T A 副 会 長	辻 真弓子	〃 P T A 副 会 長	西 村 多香子
木津第二中学校校長	松 原 稔	城山台小学校校長	竹 花 裕 子
〃 P T A 会 計	友 金 真樹子	〃 P T A 庶 務	本 多 真 希
山城中学校校長	山 口 和 明	上 狛 小 学 校 校 長	山 下 智 義
〃 P T A 会 計	岡 部 早 苗	〃 P T A 会 長	大 野 博 幸
木津小学校校長	内 海 貞 嘉	棚 倉 小 学 校 校 長	高 橋 眞 弓
〃 PTA福祉厚生委員長	辻 本 美 江	〃 P T A 庶 務	桂 野 恵 美
相 楽 小 学 校 校 長	中 川 嗣 郎	木津幼稚園園長	川 崎 由記子
〃 P T A 会 計	木 崎 朋 子	〃 P T A 副 会 長	井 関 千 絵
高の原小学校校長	島 本 秀 美	相 楽 幼 稚 園 園 長	谷 原 美 紀
〃 P T A 副 会 長	平 石 容 子	〃 P T A 副 会 長	大 石 貴 子
相 楽 台 小 学 校 校 長	谷 本 和 子	高の原幼稚園園長	井ノ上 恵己子
〃 保 護 者 代 表	(未選出)	〃 P T A 会 長	土 橋 葉 子

(5)第二学校給食センター運営委員

(令和2年4月1日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
教 育 委 員	高 橋 史 代	加 茂 小 学 校 校 長	橋 本 正 治
教 育 委 員	佐 脇 貞 憲	〃 P T A 会 長	吉 川 佳 子
泉川中学校校長	乾 隆 志	恭 仁 小 学 校 校 長	市 橋 純 子
〃 P T A 会 計	堀 さつき	〃 P T A 庶 務	奥 村 剛
木津南中学校校長	加 藤 努	南加茂台小学校校長	太 田 智 之
〃 P T A 会 長	杉 山 樹 利	〃 P T A 会 長	倉 山 香奈子
州見台小学校校長	久 保 嘉 章		
〃 P T A 副 会 長	先 田 紗 智		

(7)教育支援委員会

(令和2年4月1日現在)

職 名	氏 名	所 属
会 長	橋 本 正 治	加 茂 小 学 校
副 会 長	島 本 秀 美	高 の 原 小 学 校
〃	山 下 智 義	上 狛 小 学 校
〃	川 嶋 ひ と み	相 楽 台 保 育 園
庶 務	岡 本 郁 巳	泉 川 中 学 校
庶 務・会 計	竹 谷 陽 美	梅 美 台 小 学 校
就学相談検討委員	新 谷 恭 司	通 級 指 導 教 室
事務局・会 計	木 下 勝 史	学 校 教 育 課
事務局・庶 務	大 谷 和 久	学 校 教 育 指 導 主 事

(8)学校(園)評議員一覧

(令和2年4月1日現在)

学校(園)名	氏 名	学校(園)名	氏 名
木 津 小 学 校	山 口 珠 代 光 橋 通 信 伊 藤 初 男	上 狛 小 学 校	小 嶋 秀 規 安 井 千 鶴 子 高 田 明 子 西 井 敦 子
相 楽 小 学 校	武 田 博 利 和 田 稔 保 田 美 千 代	棚 倉 小 学 校	原 田 亘 啓 藤 田 恵 美 尾 崎 吉 博 己 大 西 晴 己
高 の 原 小 学 校	駕 田 美 幸 西 内 剛 田 中 良 典	木 津 中 学 校	角 山 稔 樹 塚 田 高 司 子 濱 野 陽 子
相 楽 台 小 学 校	辻 本 久 美 岡 田 敏 喜 中 岡 暉 喜	木 津 第 二 中 学 校	村 田 正 博 駕 田 美 幸 宣 柳 ケ 瀬 弘 宣
木 津 川 台 小 学 校	横 谷 富 士 男 福 島 祥 子	木 津 南 中 学 校	服 部 雅 彦 大 竹 善 夫 田 中 久 善 子 村 田 紀 美 子
梅 美 台 小 学 校	森 田 省 三 森 田 美 佳 賀 藤 井 千 賀	泉 川 中 学 校	和 田 正 司 森 好 美 功 司 佐 伯 清 司 大 西 清 司
州 見 台 小 学 校	駒 好 修 縄 田 恵 里 中 島 光 枝 子	山 城 中 学 校	木 村 勝 介 高 井 啓 一 美 喜 多 一 美
城 山 台 小 学 校	大 槻 和 也 高 垣 り か 三 上 か ず 子	木 津 幼 稚 園	駒 正 美 子 奈 良 宏 子
加 茂 小 学 校	柳 原 洋 子 坂 本 利 正	相 楽 幼 稚 園	明 平 正 覺 山 畑 節 子
恭 仁 小 学 校	石 崎 光 二 村 井 由 美 子	高 の 原 幼 稚 園	林 英 雄 牧 井 富 子
南 加 茂 台 小 学 校	佐 伯 功 大 西 清 司 高 原 和 子		

(9) 幼・小・中学校(園)長会

(令和2年4月1日現在)

職 名		氏 名	所 属
校 園 長 会	会 長	内 海 貞 嘉	木 津 小 学 校
	副 会 長	湯 浅 敬 子	梅 美 台 小 学 校
	副 会 長	山 口 和 明	山 城 中 学 校
	副 会 長	谷 原 美 紀	相 楽 幼 稚 園
	庶 務	松 原 稔	木 津 第 二 中 学 校
	会 計	山 下 智 義	上 狛 小 学 校
人権教育研究会長		島 本 秀 美	高 の 原 小 学 校
教育支援委員会長		橋 本 正 治	加 茂 小 学 校
小学校体育連盟会長		田 中 成 一	木 津 川 台 小 学 校
社会科副読本編集委員会		田 中 成 一	木 津 川 台 小 学 校
PTA連絡協議会		山 口 和 明	山 城 中 学 校
不登校対策連絡協議会		松 原 稔	木 津 第 二 中 学 校
道德教育研究会		中 川 嗣 郎	相 楽 小 学 校
小中連携推進委員会		田 中 勉	木 津 中 学 校
教務主任会担当		加 藤 努	木 津 南 中 学 校
		久 保 嘉 章	州 見 台 小 学 校
学校（園）保健会連絡協議会		高 橋 眞 弓	棚 倉 小 学 校
		谷 原 美 紀	相 楽 幼 稚 園
青少年育成委員会		乾 隆 志	泉 川 中 学 校
		谷 本 和 子	相 楽 台 小 学 校
教育研究会		湯 浅 敬 子	梅 美 台 小 学 校
国際交流協会		高 橋 眞 弓	棚 倉 小 学 校
男女共同参画審議会		太 田 智 之	南 加 茂 台 小 学 校
学校事務職員会		加 藤 努	木 津 南 中 学 校
特別支援教育推進委員会		谷 本 和 子	相 楽 台 小 学 校
「科学のまちの子どもたち」を育てる 木津川市立学校教員研究会		田 中 勉	木 津 中 学 校
		島 本 秀 美	高 の 原 小 学 校
情報教育研究会		久 保 嘉 章	州 見 台 小 学 校
		松 原 稔	木 津 第 二 中 学 校
木津川市教育振興基本計画推進委員会		中 川 嗣 郎	相 楽 小 学 校
		市 橋 純 子	恭 仁 小 学 校
		乾 隆 志	泉 川 中 学 校
		松 原 稔	木 津 第 二 中 学 校
いじめ防止等対策委員会		山 口 和 明	山 城 中 学 校
		市 橋 純 子	恭 仁 小 学 校

(10)歴代教育委員

氏 名	就任年月日	退任年月日	備 考
杉 本 清 重	平成19年 3月12日	平成27年 5月10日	任期4年※
藤 井 昇	平成19年 3月12日	平成19年 5月10日	
山 本 欽 一	平成19年 3月12日	平成22年 5月10日	任期3年※
原 俊 一	平成19年 3月12日	平成21年 5月10日	任期2年※
久 保 三左男	平成19年 3月12日	平成23年 5月10日	任期4年※
有 賀 やよい	平成19年 5月11日	平成20年 5月10日	任期1年※
西 井 敦 子	平成20年 5月11日	平成24年 5月10日	
有 賀 やよい	平成21年 5月11日	現在に至る	
小 松 信 夫	平成22年 5月11日	現在に至る	
森 永 重 治	平成23年 5月13日	平成27年 5月12日	
高 橋 史 代	平成24年 5月11日	現在に至る	
佐 脇 貞 憲	平成27年 5月14日	現在に至る	

※合併後、最初に任命される委員の任期(平成19年3月12日～5月10日は暫定委員)

(11)歴代教育委員長

氏 名	就任年月日	退任年月日	備 考
杉 本 清 重	平成19年 3月12日	平成27年 5月10日	

(12)歴代教育長

氏 名	就任年月日	退任年月日	備 考
久 保 三左男	平成19年 3月12日	平成23年 5月10日	
森 永 重 治	平成23年 5月13日	平成27年 5月12日	

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、木津川市では、平成27年5月13日より教育委員会体制が変更となり、教育長と教育委員長が一本化された「新教育長」体制に移行

氏 名	就任年月日	退任年月日	備 考
森 永 重 治	平成27年 5月14日	現在に至る	

4 教育委員会事務局

(1) 所在地 京都府木津川市木津南垣外110番地9

郵便番号 619-0286

電 話 (0774) 72-0501 (代)

学校教育課 (0774) 75-1230 (直通)

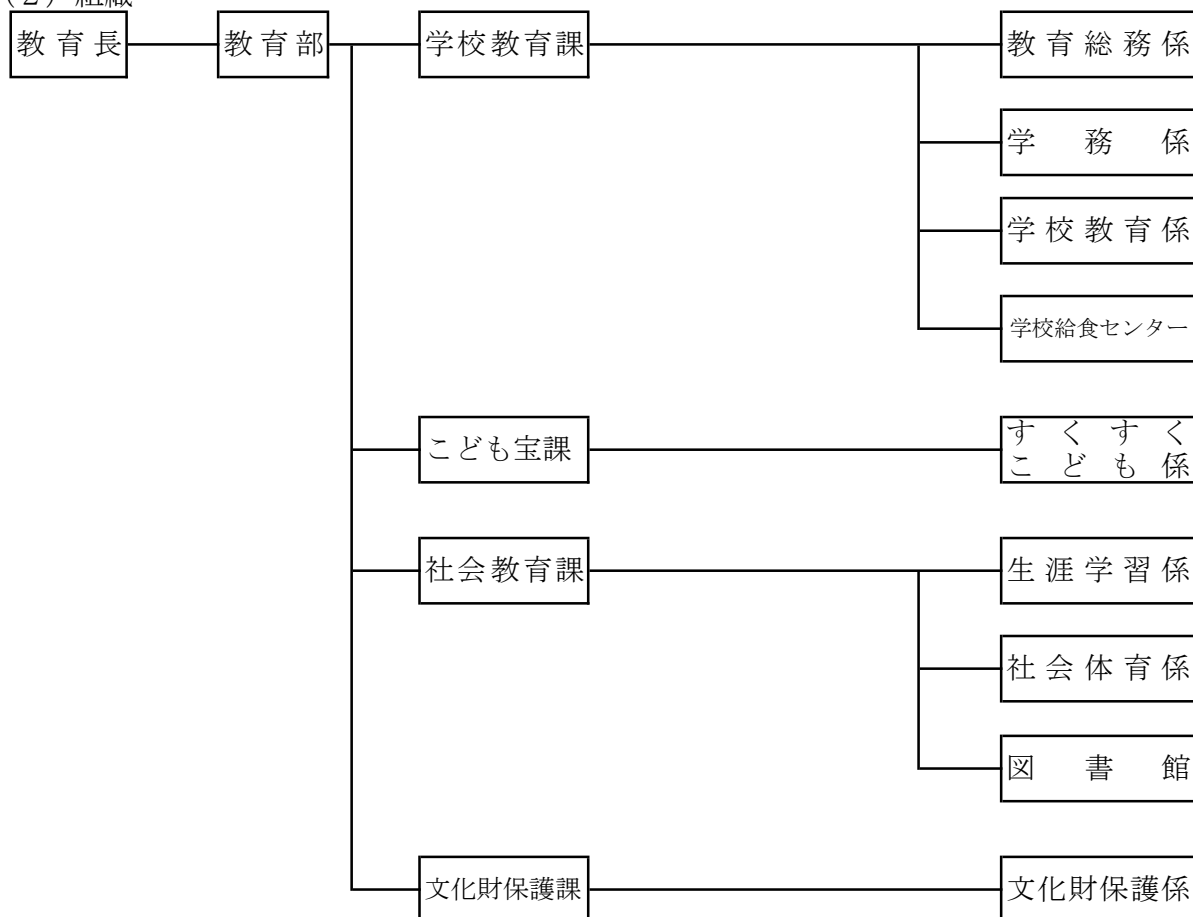
こども宝課 (0774) 75-1212 (直通)

社会教育課 (0774) 75-1233 (直通)

文化財保護課 (0774) 75-1232 (直通)

F A X (0774) 73-2566 (0774) 75-2083

(2) 組織



(3)職員配置(令和2年4月1日現在)

教育長 1名
 教育部長 1名
 教育部理事 2名
 教育部次長 1名

課 名 等	課長	課長補佐	係 名 等	係長	係 員	
学 校 教 育 課	課 長1 担当課長2 主 幹3	1	教育総務係	1	担当係長	1
					主 任	2
					主 事	3
			学務係	1	主 事	3
			学校教育係	1	主 事	1
			学校教育指導主事		会計年度任用職員	5
			外国語指導助手		会計年度任用職員	3
学校給食センター	所長(1)		第一学校給食センター		主 任	1
					会計年度任用職員	1
			第二学校給食センター		会計年度任用職員	2
小学校13校						
中学校5校						
こ ど も 宝 庫	課長(1) 担当課長1	1	すくすくこども係	1	担当係長	1
					主 任	2
					主 事	3
					調 理 師	1
					主任専門員	1
					教 諭	5
					会計年度任用職員	6
木津幼稚園	園長1	教頭1			教 諭	4
相楽幼稚園	園長1	教頭1			会計年度任用職員	6
高の原幼稚園	園長1	教頭1			教 諭	7
保育園7園					会計年度任用職員	8
社 会 教 育 課	課 長1 担当課長1 主 幹1	1	生涯学習係	1	主 任	1
					主 事	2
					会計年度任用職員	2
			社会体育係	1	担当係長	1
					主 査	1
					主 査	1
			中央図書館	1	会計年度任用職員	9
図書館	館長(1)		加茂図書館		主 査	1
					会計年度任用職員	8
			山城図書館		担当係長	1
加茂文化センター					会計年度任用職員	7
山城総合文化センター						
中央交流会館						
西部交流会館						
東部交流会館	館長(1)		社会教育指導員		主任専門員	1
					会計年度任用職員	1
南加茂台公民館	館長(1)				主任専門員	1
瓶原公民館						
加茂青少年山の家						
加茂青少年センター						
当尾の郷会館						
中央体育館	館長(1)				主任専門員	1
市民スポーツセンター						
加茂体育館						
やすらぎタウン山城プール						
文 化 財 保 護 課	課長1	1	文化財保護係	(1)	主 任	2
					主 事	1

※()内は兼務職員数

※市長部局からの委任事務含む

(4) 事務分掌

ア 学校教育課

教育総務係
① 教育委員会及び教育部の庶務に関すること。
② 教育委員会の会議に関すること。
③ 教育委員に関すること。
④ 公印の保管に関すること。
⑤ 教育委員会の基本的政策の企画立案及び総合調整に関すること。
⑥ 公文書の保管その他文書に関すること。
⑦ 表彰、叙勲及び寄付受納に関すること。
⑧ 京都府教育委員会その他関係機関との連絡調整に関すること。
⑨ 教育委員会の職員(府費負担教職員を除く。)の人事、給与、福利厚生等に関すること。
⑩ 教育委員会規則等の公布等に関すること。
⑪ 教育委員会所掌に係る歳入歳出予算及び決算に関すること。
⑫ 教育費の調査及び統計に関すること。
⑬ 後援申請に関すること。
⑭ 教育委員会に係る教育行政の相談に関すること。
⑮ 市立小学校、中学校等に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
⑯ 市立小学校、中学校等の施設台帳に関すること。
⑰ 市立小学校、中学校等の施設に係る調査に関すること。
⑱ 市立小学校及び中学校の施設整備に関すること。
⑲ 市立小学校及び中学校の施設の備品管理に関すること。
⑳ 市立小学校及び中学校の使用許可に関すること。
㉑ 市立小学校及び中学校の施設の国庫支出金及び府支出金に関すること。
㉒ 学校教育課の所管となる施設の企画立案、設計計画等に関すること。
㉓ 公用車の管理に関すること。
㉔ 教育部における他の課に属さない事項等の処理に関すること。
㉕ 課の庶務に関すること。

学務係
① 学校の組織編成に関すること。
② 通学区域に関すること。
③ 児童生徒の安全に関すること(通学路を含む。)
④ 学齢簿の編成及び整備に関すること。
⑤ 児童生徒の就学並びに入学、転学及び退学に関すること。
⑥ 児童生徒の就学猶予又は免除に関すること。
⑦ 児童生徒の指定学校の変更及び区域外就学に関すること。
⑧ 市立小学校及び中学校に係る予算・決算の執行管理に関すること。
⑨ 就学時健康診断に関すること。
⑩ 府費負担教職員の人事、給与等に関すること。
⑪ 府費負担教職員の研修に関すること。
⑫ 市立小学校及び中学校の設置及び廃止に係る事務に関すること。
⑬ 所掌に係る調査及び基幹統計に関すること。

⑭ 児童クラブの施設整備及び運営に関すること。
⑮ 児童クラブ使用料の賦課及び調定に関すること。
⑯ 児童クラブ使用料の徴収、滞納対策等に関すること(ただし、収納担当課が取扱うものを除く。)
⑰ その他学務に関すること。

学校教育係
① 児童生徒の保健及び健康診断に関すること。
② 教育課程及び学習指導に関すること。
③ 人権教育、特別支援教育等に関すること。
④ 人権教育等の教育関係補助金に関すること。
⑤ 教育支援委員会に関すること。
⑥ 教科書採択及び教科書無償給与に関すること。
⑦ 市立小学校及び中学校の教材備品の管理及び取扱いに関すること。
⑧ 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。
⑨ 外国語指導助手に関すること。
⑩ 学校評議員及びスクールボランティアに関すること。
⑪ 就学奨励費に関すること。
⑫ 就学援助に関すること。
⑬ 育英資金・高等学校奨学金に関すること。
⑭ 教育相談に関すること。
⑮ 児童・生徒の基礎学力向上に関すること。
⑯ その他学校教育に関すること。

学校給食センター
① 学校給食センターの施設整備及び運営に関すること。
② 学校給食に関すること。

イ こども宝課

すくすくこども係
① 子どものための教育・保育給付に関すること。
② 子育てのための施設等利用給付に関すること。
③ こども政策に関すること。
④ 子ども・子育て会議に関すること。
⑤ 特定教育・保育施設、特定地域型保育事業者、特定子ども・子育て支援施設等の確認に関すること。
⑥ 教育・保育認定に関すること。
⑦ 保育施設及び保育事業の利用調整に関すること。
⑧ 市立幼稚園児の入退園に関すること。
⑨ 特定教育・保育施設の利用者負担額の決定等に関すること。
⑩ 保育所及び市立幼稚園の利用者負担額の徴収及び収納に関すること(ただし、収納担当課が取扱うものを除く。)
⑪ 保育所、認定こども園、家庭的保育事業等への指導監査に関すること。
⑫ 保育所、認定こども園及び家庭的保育事業等事業者への助成に関すること。
⑬ 保育所、認定こども園、家庭的保育事業所及び小規模保育事業所の整備に関すること。

⑭ 家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業及び事業所内保育事業の認可に関する こと。
⑮ 市立幼稚園の設置及び廃止に係る事務に関すること。
⑯ 市立幼稚園の通園バスに関すること。
⑰ 私立幼稚園の補助に関すること。
⑱ 市立保育所及び市立幼稚園の施設整備及び運営管理に関すること。
⑲ その他幼児教育・保育に関すること。

ウ 社会教育課

生涯学習係
① 社会教育の総合企画及び調整に関すること。
② 社会教育施設に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
③ 公民館、交流会館及びその他社会教育施設の施設整備及び運営に関すること。
④ 社会教育施設の企画立案及び設計計画等に関すること。
⑤ 社会教育委員及び公民館運営審議会に関すること。
⑥ 社会教育活動の奨励に関すること。
⑦ 青少年教育、成人教育、女性教育、高齢者教育、人権教育、障害者教育及び家庭教育に関すること。
⑧ 社会教育関係団体の指導育成及び援助に関すること。
⑨ 文化・芸術の振興に関すること。
⑩ 成人式に関すること。
⑪ 学校と社会教育との連携に関すること。
⑫ 社会教育に係る資料の収集・提供及び広報活動に関すること。
⑬ 生涯学習の総合企画及び調整に関すること。
⑭ 生涯学習関係団体との連絡調整に関すること。
⑮ 教育ボランティア及び指導者の育成に関すること。
⑯ 生涯学習に係る資料の収集・提供及び広報活動に関すること。
⑰ 生涯学習相談に関すること。
⑱ 国際交流に関すること。
⑲ その他生涯学習推進に関すること。
⑳ 課の庶務に関すること。

社会体育係
① 体育・スポーツの総合企画及び調整に関すること。
② 社会体育施設に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
③ 社会体育施設の施設整備及び運営に関すること。
④ 社会体育施設の企画立案及び設計計画等に関すること。
⑤ スポーツ推進委員に関すること。
⑥ 体育・スポーツ及びレクリエーションの奨励に関すること。
⑦ 社会体育事業の企画立案及び運営に関すること。
⑧ スポーツ指導者の育成に関すること。
⑨ 社会体育関係団体の指導者育成及び援助に関すること。
⑩ 体育・スポーツ及びレクリエーションに係る資料の収集・提供及び広報活動に関すること。
⑪ スポーツ相談に関すること。

⑫ 学校体育施設の開放事業に関すること。
⑬ その他社会体育に関すること。

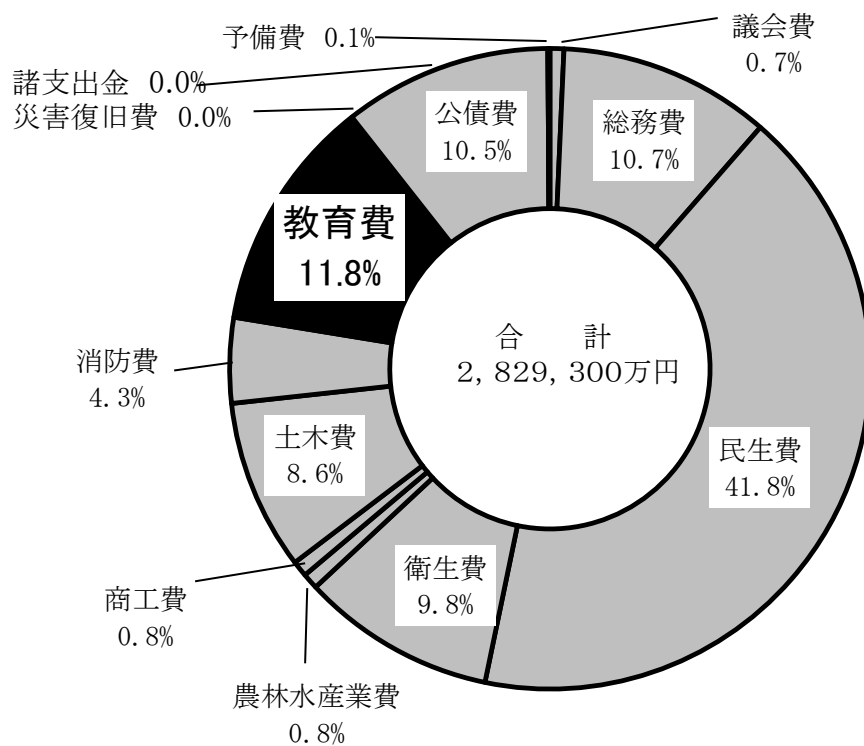
図書館
① 図書館の総合計画及び調整に関すること。
② 図書館協議会に関すること。
③ 図書館に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
④ 図書館施設の施設整備及び運営に関すること。
⑤ 図書館施設の企画立案及び設計計画等に関すること。
⑥ 図書館事業の企画立案及び運営に関すること。
⑦ 図書館資料の収集、整理及び保存に関すること。
⑧ 図書館資料の貸出し及び返却に関すること。
⑨ 図書館資料の利用相談に関すること。

エ 文化財保護課

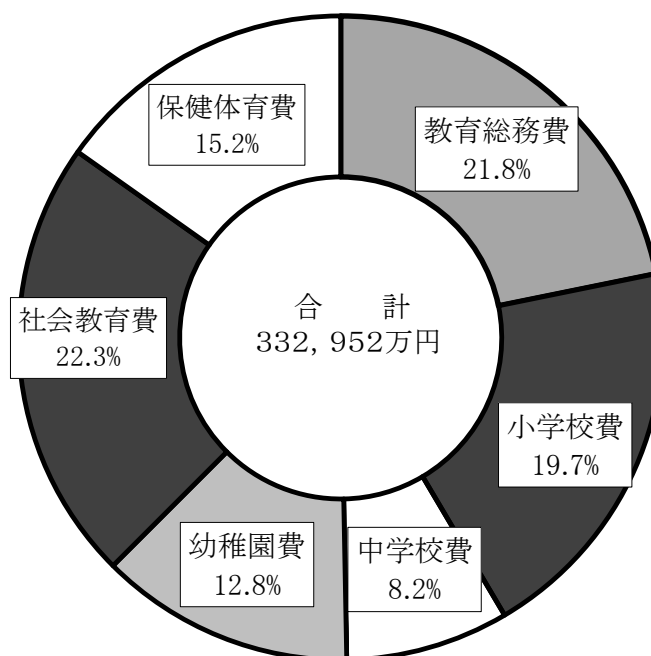
文化財保護係
① 文化財関係総括に関すること。
② 文化財関係計画の立案に関すること。
③ 文化財に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
④ 文化財保護課の所管となる施設の企画立案及び設計計画等に関すること。
⑤ 文化財関係施設の整備運営に関すること。
⑥ 文化財保護審議会等に関すること。
⑦ 文化財所有者及び保護団体に関すること。
⑧ 文化財保護関係機関との連絡調整に関すること。
⑨ 文化財の収集、調査及び研究に関すること。
⑩ 文化財の保存及び活用に関すること。
⑪ 講演会、研究会及び展示会等の開催に関すること。
⑫ 文化財資料の利用者に対する情報提供等に関すること。
⑬ 文化財補助金に関すること。
⑭ 市史編さんに関すること。
⑮ その他文化財の管理調査に関すること。
⑯ 課の庶務に関すること。

5 木津川市の財政

目的別歳出予算(令和2年度)



教育費歳出予算(令和2年度)



教育委員会の活動状況（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

1. 教育委員について

市教育委員会は、市長が市議会の同意を得て任命した教育長、4人の委員で構成されています。

令和元年度 木津川市教育委員会教育長及び委員

役 職 名	氏 名	備 考
教 育 長	森永 重治	
教 育 長 職 務 代 理 者	有賀 やよい	
委 員	小松 信夫	
委 員	高橋 史代	
委 員	佐脇 貞憲	

2. 教育委員会の開催状況

令和元年度教育委員会会議開催状況一覧

No.	件 名	開 催 日
1	第 4回定例会	平成31年 4月22日
2	第 5回定例会	令和元年 6月 5日
3	第 6回定例会	令和元年 7月 3日
4	第 7回定例会	令和元年 7月29日
5	第 8回定例会	令和元年 8月27日
6	第 9回定例会	令和元年 9月30日
7	第 3回臨時会	令和元年10月16日
8	第10回定例会	令和元年10月21日
9	第11回定例会	令和元年11月27日
10	第12回定例会	令和元年12月23日
11	第 1回定例会	令和 2年 1月22日
12	第 2回定例会	令和 2年 2月19日
13	第 1回臨時会	令和 2年 2月28日
14	第 3回定例会	令和 2年 3月26日

【第4回定例会 平成31年4月22日】

○議 事

な し

○その他

(1)平成31年第1回木津川市議会定例会一般質問及び答弁について(3月議会)

(2)平成30年度スポーツ推進委員の活動状況について

【第5回定例会 令和元年6月5日】

○議 事

議案第16号 木津川市立学校評議員の委嘱について

議案第17号 木津川市立幼稚園評議員の委嘱について

議案第18号 木津川市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

議案第19号 木津川市文化財保護審議会審議員の委嘱について

議案第20号 木津川市歴史文化基本構想策定委員会委員の委嘱について

議案第21号 木津川市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正について

議案第22号 木津川市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について

議案第23号 木津川市第3子以降就園支援補助金交付要綱の一部改正について

議案第24号 木津川市立中学校部活動指導員の任用等に関する規則の制定に係る臨時代理について

議案第25号 木津川市食物アレルギー対応検討委員会設置要綱の制定について

議案第26号 令和元年度木津川市一般会計補正予算第1号について

議案第27号 木津川市立小中学校及び幼稚園空調設備整備PFI事業に係る契約の変更契約の締結について

○その他

(1)木津川市立木津小学校の外壁落下について

(2)図書館の本の投棄について

【第6回定例会 令和元年7月3日】

○議 事

報告第 4号 木津川市立中学校部活動指導員の任用等に関する規則の制定について

【第7回定例会 令和元年7月29日】

○議 事

議案第28号 木津川市立幼稚園条例の一部改正について

議案第29号 木津川市立幼稚園預かり保育事業実施要綱の一部改正について

報告第 5号 木津川市育英資金の交付状況について

○その他

- (1) 令和元年第2回木津川市議会定例会会派代表質問、一般質問答弁について
- (2) 学校給食センター運営委員会報告について
- (3) 東京 2020 オリンピック聖火ランナーの募集について

【第8回定例会 令和元年8月27日】

○議 事

- 議案第30号 木津川市高麗寺跡史跡整備委員会委員の委嘱について
- 議案第31号 令和元年度木津川市一般会計補正予算第2号について
- 議案第32号 令和2年度使用中学校教科用図書の採択について
- 議案第33号 令和2年度以降使用小学校教科用図書の採択について

○その他

- (1) 木津川市組織改正について
- (2) 高槻市と木津川市の包括連携協定について
- (3) 令和元年度幼稚園・小学校運動会、中学校体育大会教育委員等出席者名簿(案)について

【第9回定例会 令和元年9月30日】

○議 事

- 議案第34号 木津川市立小・中学校において使用する教材の取扱いに関する規則の一部改正について
- 議案第35号 木津川市就学援助費支給要綱の一部改正について
- 議案第36号 木津川市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部改正について
- 議案第37号 木津川市立幼稚園条例施行規則及び木津川市立幼稚園第3子以降利用者負担額の無償化に関する規則の廃止について
- 議案第38号 木津川市特定教育・保育施設に係る教育標準時間認定における利用者負担額に関する規則及び木津川市特定教育・保育施設における第3子以降利用者負担額の免除に関する規則の廃止について
- 議案第39号 木津川市立幼稚園預かり保育事業実施要綱の一部改正について
- 議案第40号 木津川市立幼稚園における副食費の免除に関する取扱要綱の制定について
- 議案第41号 木津川市教育委員会が所管する私立幼稚園に係る事項に関する規則の制定について
- 議案第42号 木津川市図書館条例施行規則の一部改正について

○その他

- (1) 令和元年第3回木津川市議会定例会の一般質問及び答弁について
- (2) 全国学力・学習状況調査及び京都府学力診断テストの結果について

- (3) 令和元年度第1回いじめ調査結果について
- (4) 令和2年度からの学校給食センターの運営について
- (5) 木津川市加茂体育館について
- (6) 城山台小学校児童の急増対策について

【第3回臨時会 令和元年10月16日】

○議 事

議案第43号 木津川市教育委員会が所管する私立幼稚園に係る事項に関する規則の制定について

【第10回定例会 令和元年10月21日】

○議 事

議案第44号 木津川市長の権限に属する事務の補助執行について

議案第45号 木津川市教育委員会規則の一部改正について

議案第46号 木津川市教育委員会事務決裁規程の一部改正について

議案第47号 木津川市立学校給食センター条例の一部改正について

○その他

- (1) 木津川市加茂体育館について
- (2) 図書館運営の見直しについて
- (3) 学校施設について

【第11回定例会 令和元年11月27日】

○議 事

議案第48号 木津川市体育施設条例の一部改正について

議案第49号 令和元年度木津川市一般会計補正予算第3号について

議案第50号 木津川市立小中学校及び幼稚園空調設備整備PFI事業に係る契約の変更契約の締結について

議案第51号 (仮称)新学校給食センター厨房機器等の購入契約の変更契約の締結について

議案第52号 (仮称)新学校給食センター調理器具等の買入れについて

【第12回定例会 令和元年12月23日】

○議 事

議案第53号 木津川市教育委員会事務決裁規程の一部改正について

議案第54号 木津川市図書館条例施行規則の一部改正について

○その他

- (1) 令和元年第4回木津川市議会定例会一般質問及び答弁について

【第1回定例会 令和2年1月22日】

○議 事

議案第 1号 木津川市体育施設条例施行規則の一部改正について

○その他

- (1) 令和元年度第2回いじめ調査について
- (2) 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果
- (3) 令和元年度幼稚園:卒園式、小中学校:卒業式 教育委員等出席者(案)

【第2回定例会 令和2年2月19日】

○議 事

議案第 2号 令和2年度木津川市一般会計予算について

議案第 3号 令和元年度木津川市一般会計補正予算第5号について

議案第 4号 会計年度任用職員制度移行に伴う関係規則の整理に関する規則について

議案第 5号 会計年度任用職員制度移行に伴う関係訓令の整理に関する訓令について

議案第 6号 木津川市社会教育関係団体事業補助金交付要綱の一部改正について

議案第 7号 木津川市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検・評価
に関する報告書について

○その他

- (1) 学校等における食物アレルギー対応マニュアルについて
- (2) 令和2年度学校教育の重点について
- (3) 令和2年度社会教育の重点について
- (4) 令和元年度幼稚園:卒園式、小中学校:卒業式 教育委員等出席者について
- (5) 令和2年度幼稚園:入園式、小中学校:入学式 教育委員等出席者(案)について

【第1回臨時会 令和2年2月28日】

○議 事

議案第 8号 令和2年度木津川市立小・中学校管理職人事について

【第3回定例会 令和2年3月26日】

○議 事

議案第 9号 木津川市立図書館協議会委員の任命について

議案第10号 木津川市スポーツ推進委員の追加委嘱について

議案第11号 木津川市教育委員会規則の一部改正について

議案第12号 木津川市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部改正につ
いて

議案第13号 木津川市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関
する規程の一部改正に係る臨時代理について

議案第14号 木津川市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について

議案第15号 木津川市立中学校部活動指導員の任用等に関する規則を廃止する規則に係る臨時代理について

議案第16号 木津川市立学校給食センター運営委員会規則の一部改正について

議案第17号 木津川市立幼稚園預かり保育事業実施要綱の一部改正について

議案第18号 木津川市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱及び木津川市第3子以降就園支援補助金交付要綱の廃止について

○その他

(1) 令和2年度幼稚園:入園式、小中学校:入学式 教育委員等出席者について

(2) 新型コロナウイルス感染防止対策についての報告

(3) 幼稚園・保育園卒園式及び小中学校卒業式等に関する請願書等について

(4) 城山台小学校に関する要望書等について

3. 教育委員会の活動状況

平成31年度 研修等参加状況

開催日	件 名	開催場所
令和元年 5月16日	山城地方教育委員会連絡協議会理事会、定期総会及び教育長部会・委員長部会合同研修会	木津川市中央図書館
5月31日	京都府市町村教育委員会連合会 定期総会・研修会	京都府 総合教育センター
7月 5日	相楽地方教育委員会連絡協議会 教育長・教育長職務代理者合同会議	木津川市中央図書館
10月11日	近畿市町村教育委員会研修大会	野洲文化ホール
10月24日 25日	近畿都市教育長協議会研究協議会	HOTEL&RESORTS NAGAHAMA
11月 1日	京都府内市町(組合)教育委員会研修会	ルビノ京都堀川
令和2年 2月5日	山城地方教育委員会連絡協議会研修会	木津川市中央図書館

令和2年度 学校教育の重点

重点目標1 質の高い学力を はぐくむ

- (1) 学びに向かう力、人間性
等の涵養と学習習慣
- (2) 基礎的・基本的な知識
・技能
- (3) 活用する力

- ① 木津川市独自の授業スタンダードの定着(1)(2)(3)
- ② ICT機器を活用したわかる授業の推進(1)(2)(3)(15)
- ③ 体験を通じた授業の工夫(1)(2)(3)
- ④ 発達段階に応じた家庭との連携強化(1)(2)
- ⑤ より円滑な接続を目指した小小連携・小中連携の推進(1)(2)(3)
- ⑥ 基礎・基本の徹底を図る個別補充学習と課題解決型学習の推進(1)(2)(3)
- ⑦ 学力診断テストの実施と分析、検証による授業改善(1)(2)(3)
- ⑧ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進(1)(2)(3)
- ⑨ 活用する力を育成する授業の実践(1)(3)
- ⑩ 高校の出前授業や、大学・研究機関との連携事業の推進(1)(3)

○ホップアップ学習（小学校補充学習）
○木津川市小学校統一学力診断テスト

○ステップアップ学習（中学校補充学習）
○木津川市立小・中学校学力充実・向上推進会議

◇やましる授業スタンダード ◇京都府小・中学校学力診断テスト ◇全国学力・学習状況調査
◇ジュニアわくわくスタディ(小学校) ◇中1振り返り集中学習「ふりスタ」(中学校) ◇中2学力アップ集中講座(中学校)

重点目標2 豊かな心と規範意識を はぐくむ

- (4) 道徳教育
- (5) 生徒指導
- (6) 読書活動

- ① 道徳科における、質の高い多様で効果的な指導方法の実践と研究の推進(4)
- ② 道徳科における、一人一人のよさを伸ばし、成長を促すための評価の充実(4)
- ③ 情報モラルと現代的課題に関する指導の充実(4)(15)
- ④ 生徒指導の機能を活かし、児童生徒の意欲を引き出す教育活動の充実(5)
- ⑤ 多様な他者を尊重する態度を育て、自己肯定感を高める指導の充実(4)(5)
- ⑥ 中学校区毎のあいさつ運動の充実(5)(21)
- ⑦ いじめ等の問題行動に対する迅速な対応及び未然防止に向けた取組の強化(5)
- ⑧ 不登校をはじめとする諸課題に対する相談体制の充実(5)
- ⑨ 就学前からの本に親しむ機会の充実(6)
- ⑩ 学校での読書活動の推進(6)

○木津川市いじめ防止等対策委員会
○木津川市不登校対策連絡協議会
○木津川市スクールカウンセラー活用事業
○学校図書館システム整備事業
○第二次木津川市子どもの読書推進計画

○木津川市いじめ防止等対策チーム
○木津川市不登校対策運営協議会
○木津川市カウンセリングルーム
○心の教育相談員
○中学校区あいさつ運動

○木津川市いじめ・生徒指導担当者会議
○不登校対策チーム
○木津川市適応指導教室(ふれあい教室)
○としょかんスタートセット
○学校司書

◇私たちの道徳 ◇京の子ども 明日へのとびら ◇読書大好きアクションプラン ◇スクールカウンセラー活用事業
◇子どもの学習・生活支援事業(まなび・生活アドバイザー)

重点目標3 健やかな体を はぐくむ

- (7) 食育
- (8) 体力
- (9) 健康

- ① 食に関する指導の充実と望ましい健全な食習慣の定着(7)(9)
- ② 地域社会や家庭と連携した食育の推進(7)
- ③ 安心・安全な学校給食の実施(7)(9)
- ④ 体力テストや運動能力の状況を踏まえた取組や授業改善の推進(8)(9)
- ⑤ 学校体育や運動部活動の充実(8)(9)
- ⑥ 中学校部活動の練習時間や休養日、適切な指導の推進(8)
- ⑦ 喫煙・飲酒・薬物乱用等の防止教育の充実(9)
- ⑧ 家庭と連携した生活習慣の確立(9)
- ⑨ 学校保健に関する現代的課題に対応する取組の推進(9)

○木津川市食育推進委員会
○給食の地産地消
○木津川市部活動指導方針
○小学生のためのメンタルヘルス教育

○5分間スタディ
○木津川市立中学校運動部活動連携事業
○中学校部活動指導員・外部指導者

○栄養教諭による出前授業
○木津川市小学校陸上運動交歓記録会
○アレルギー対応マニュアル

◇京の子ども元気なからだスタンダード ◇京都府部活動指導指針 ◇京都市「部活動サポート」事業(部活動指導員・外部指導者)

重点目標4

一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者としての必要な資質をはぐくむ

- (10) 人権教育
- (11) 特別支援教育
- (12) キャリア教育
- (13) 幼児期の教育
- (14) 貧困対策

- ① 人権教育推進体制の充実及び全体計画や年間計画・指導方法の工夫改善(10)
- ② 人権教育推進のための教職員の認識の深化と指導力向上(10)
- ③ 子どもが主体的に学ぶための教材等の開発(10)(11)
- ④ 校種間・家庭・地域・関係機関との連携を図った人権尊重の環境づくり(10)(11)
- ⑤ 「相談支援ファイル」を活用し継続した適切な支援の実施(11)
- ⑥ 木津川市教育支援委員会を中心とした就学相談体制の強化(11)
- ⑦ ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりと教育環境の充実(11)
- ⑧ 地域支援センターや相楽地方通級指導教室等との連携による支援(11)
- ⑨ 発達の段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の推進(12)
- ⑩ 進路相談体制や支援体制の充実(12)
- ⑪ 様々な人との触れ合いを通じた豊かな人間関係の構築(13)
- ⑫ 小学校教育への円滑な接続に向けた保幼小連携の推進(13)
- ⑬ 児童生徒の学習支援の充実(14)
- ⑭ 保護者への経済的支援の充実(14)

○木津川市人権教育研究会
○木津川市教育支援委員会

○相談支援ファイル
○木津川市育英資金制度

○特別支援教育支援員
○要保護及び準要保護児童生徒就学援助制度

◇KYO発見 仕事・文化体験活動推進事業 ◇親のための応援塾 ◇もうすぐ1年生 体験入学推進事業

重点目標5

社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ

- (15) 情報教育
- (16) グローバル化への対応
- (17) 環境教育

- ① 小学校におけるプログラミング教育の実施(15)
- ② 教員のICT活用指導力及び児童生徒のICT活用力の育成(1)(2)(3)(15)
- ③ 情報活用能力及び情報社会を主体的に生き抜く能力の育成(15)
- ④ 正しい知識と情報モラルを身につけるための教育の充実と教職員の研修の充実(15)
- ⑤ 小中学校の外国語教育の充実(16)
- ⑥ 国際交流等による国際感覚を磨くための取組の充実(16)
- ⑦ 環境保全に向けた自発的活動の充実(17)
- ⑧ 市内施設や企業等を活用した体験的な環境教育の推進(17)

○ICT教育推進事業
○小学校英語指導講師(JTE)

○プログラミング教育
○サンタモニカ交流事業
○外国語指導助手(ALT)
○日本語学習指導員

○ICT支援員
○英語イベントレッシン

重点目標6

魅力ある・信頼される学校・園をつくる

- (18) 学校の組織力と教職員の資質
- (19) 学校・園づくり
- (20) 教育環境

- ① 協働できる体制づくりに向けた学校組織マネジメント能力の向上(18)
- ② OJT等による教職員の資質向上に向けた取組の充実(18)
- ③ 教職員の総勤務時間縮減に向けた取組の充実(18)
- ④ 特色ある学校・園づくりの推進(19)
- ⑤ 学校・園評価(自己評価及び関係者評価)の充実による学校・園運営の改善と「開かれた学校・園」づくりの推進(19)
- ⑥ 地域の人材を活かしつつ学校を中核とした地域の絆を深める取組の充実(19)
- ⑦ 危機管理体制の整備と警察等との連携による教職員の研修の充実(20)
- ⑧ 通学路の定期的な安全点検の実施(20)
- ⑨ 実践的な防犯・安全教育の実施(20)
- ⑩ ユニバーサルデザインの視点に立った教育環境の充実(20)

○木津川市特色ある学校づくり推進事業
○木津川市通学路安全推進会議
○通学路防犯カメラ設置事業

○木津川市地域で支える学校教育推進事業
○幼稚園学校機械警備事業
○防犯研修

○危機等発生時対処要領
○学校安全マップ
○校務用PC整備事業

重点目標 7

地域の力を活かして
子どもをはぐくむ

- (21) 子育て支援
- (22) 家庭教育支援
- (23) 生涯学習環境
- (24) 安全対策

- ① 地域コーディネーターと連携した地域ぐるみで子どもを守り育てる体制の充実(21)
- ② 地域の人材を活用した教育活動の充実(21)
- ③ 各中学校区でのあいさつ運動の実施(5)(21)
- ④ 保護者への子育てに対する相談・サポート体制の充実(22)
- ⑤ 保護者が学び合える環境の整備(22)
- ⑥ 児童虐待の早期発見・早期対応の教職員研修の充実と関係機関との連携強化(22)
- ⑦ 保護者の経済的負担軽減(14)(22)
- ⑧ 地域と連携した防犯対策の充実(24)
- ⑨ ボランティア・警察・子ども110番の家等との連携による地域で見守る体制の充実(24)
- ⑩ コミュニティ・スクールについての実践研究の推進(21)

○木津川市地域で支える学校教育推進事業
○木津川市遠距離通学費補助金
○学校安全マップ

○木津川市要保護児童対策地域協議会
○木津川市通学路安全推進会議
○中学校区あいさつ運動

○木津川市育英資金交付事業
○地域見守り箱
○市立学校防災（火災）訓練

◇京のまなび教室事業 ◇親のための応援塾 ◇子育てサロン

重点目標 8

地域を学び、郷土を大切に
する心をはぐくむ

- (25) 自然・歴史についての学習
- (26) 地域資源

- ① 関係施設や関係団体との連携を図った地域の文化財を学ぶ機会の充実(25)(26)
- ② 質の高い文化・芸術に触れる機会の充実(25)
- ③ 地域と連携した自然体験学習の充実(25)
- ④ 研究所等との連携による体験的な学習の充実と子どもの科学的知識を深める取組の充実(26)
- ⑤ 研究機関や企業とのネットワークづくりの推進と子どもの知的好奇心の醸成を図る取組の展開(26)
- ⑥ 大学等との連携事業を通じた様々な体験活動の充実(25)(26)

○文化財保護課による出前授業

○わたしたちの木津川市（小学校社会科副読本）

○ふるさと学習

◇芸術演劇鑑賞事業 ◇子どもの知的好奇心をくすぐる体験授業

[凡例]

木津川市の現行及び拡充を図っていく主な施策

国及び京都府の主な施策



木津川市教育振興基本計画(後期) 平成31年3月改定

木津川市教育委員会では、本市の豊かな自然環境をはじめ、歴史、文化遺産などの地域資源や豊富な人的資源、とりわけ関西文化学術研究都市の中核地としての立地を活かした、木津川市の教育に関する総合的な計画として、「木津川市教育振興基本計画」を平成26年3月に策定しました。これまで実施してきた様々な施策の成果と課題を整理するとともに、目指す子ども像や教育の目標を明確にし、本市教育行政の基本的な方向を示す計画であります。計画策定から5年が経過し、中間見直しを行い、「木津川市教育振興基本計画(後期)」として、平成31年3月に改定しました。

基本理念

生きる力をはぐくみ
新しい時代を拓く“きづがわっ子”を目指して

目指す子ども像

共に「学び」「喜び」「成長し」未来を力強く生きる子ども

重点目標

- 1 質の高い学力をはぐくむ
- 2 豊かな心と規範意識をはぐくむ
- 3 健やかな体をはぐくむ
- 4 一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者としての必要な資質をはぐくむ
- 5 社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ
- 6 魅力ある・信頼される学校・園をつくる
- 7 地域の力を活かして子どもをはぐくむ
- 8 地域を学び、郷土を大切に作る心をはぐくむ

目指す教育の姿

子どもの力を伸ばし、
未来に向かって生きる
力をはぐくむ

一人一人が輝き、社
会の一員としての基
盤をはぐくむ

木津川市の力を結集
し、みんなで守りは
ぐくむ

- 視点 1 子どもの将来を見通す
視点 2 木津川市全体で守り育てる
視点 3 木津川市の特色や地域資源を活用する

令和2年度 重点取組事項

1 学力をはぐくむ

「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりを推進し、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」をバランスよく児童生徒にはぐくむ。



木津川市 授業スタンダード

- 授業のねらい(めあて)の明確化と振り返りの指導
- 授業はチャイムで開始、チャイムで終了
- 聞く態度と資質の育成

- 小学校「ホップアップ学習」、中学校「ステップアップ学習」等の補充学習の推進・充実

学びに向かう力・人間性等 知識・技能

- 学力調査(全国・府・市)を活用した組織的な取組の充実と授業改善

知識・技能 思考力・判断力・表現力等

- ICT機器を活用した授業の推進と児童生徒の活用力の向上

学びに向かう力・人間性等 知識・技能 思考力・判断力・表現力等

- あらゆる教育活動の場面で「ことばの力」をはぐくむ言語活動の充実

思考力・判断力・表現力等

2 豊かな心をはぐくむ

よりよい生き方についての考えを深める道徳教育、人権教育、生徒指導の推進により、主体的に未来を切り拓く豊かな心をはぐくむとともにいじめ、不登校等への対応の更なる充実を図る。

道徳教育・人権教育・生徒指導の充実

- 「考え、議論する道徳」を推進し、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、よりよく生きるための基盤となる道徳性を育成
- 互いに自己有用感を高め合える人間関係の形成を目指し、自他のよさを認め尊重できる態度を育成
- 今日的状况を踏まえた人権教育、生徒指導を推進し、一人一人が課題に向き合える実践力を育成

いじめ防止

- 児童生徒の状況を把握するためのいじめアンケート・定期的な教育相談の実施
- いじめ防止等対策チーム、いじめ・生徒指導担当者会議による早期対応の徹底
- 各学校いじめ対策委員会による早期発見・早期対応への学校内システムの確立

不登校対策

- 適応指導教室を拠点とした不登校支援事業の充実
- 不登校対策チーム、木津川市不登校対策運営協議会による不登校支援の充実

3 魅力ある学校・園づくり

地域の特色、児童生徒・園児の実態を踏まえ、校・園長のリーダーシップのもと、市内21学校・園は魅力ある学校・園づくりを推進する。

- 『特色ある学校づくり推進事業』『地域で支える学校教育推進事業』『各種研究指定事業』等を活用した特色ある教育活動の推進・充実・普及
- 地域の特性を活かした『ふるさと学習』、地域とのつながりを深める『あいさつ運動』の推進
- 校種間[保幼小中高大等]連携の推進

2 施設

(1) 木津川市立学校給食センター

◆第一学校給食センター

所在地 木津川市梅美台八丁目 2 番地 2
Tel 72-2362 Fax 72-5345

沿 革

- 令 2. 2. 21 建物竣工、第一学校給食センター新設。
学校給食衛生管理基準・HACCP に沿った施設、調理能力は副食、米飯とも 1 日 7,000 食。
- 令 2. 4. 受配校見直しにより木津小学校・相楽小学校・高の原小学校・木津川台小学校・相楽台小学校・城山台小学校・梅美台小学校・上狛小学校・棚倉小学校・木津中学校・木津南中学校・山城中学校・木津幼稚園・相楽幼稚園・高の原幼稚園に 2 献立制で完全給食を実施準備。米飯給食週 4 回。

旧木津学校給食センターから新設第一学校給食センター移転までの沿革

- 昭 35. 10. 1 共同調理場方式で木津小学校にて（鹿背山分校・梅谷分校含む）・相楽小学校の完全給食を実施。
- 昭 42. 11. 25 木津幼稚園の副食給食を実施。
- 昭 43. 4. 15 木津中学校の完全給食を実施。
- 昭 53. 3. 10 学校給食センター竣工。
米飯給食設備を備える。調理能力は、副食 1 日 3,000 食、米飯 1 日 750 食。
- 昭 53. 4. 25 相楽幼稚園の副食給食を実施。
- 昭 63. 2. 29 学校給食センター竣工。
オートメーションシステムを完備したフルドライシステムを採用。調理能力は、副食 1 日 5,000 食、米飯 1 日 2,500 食。
- 平 元. 4. 高の原幼稚園の副食給食を実施。
- 平 3. 4. 木津川台小学校の完全給食を実施。
- 平 5. 4. 相楽台小学校の完全給食を実施。
- 平 9. 4. 梅美台小学校の完全給食を実施。
- 平 19. 3. 給食配送車（保冷車）を購入、配送車は合計 4 台になる。
- 平 19. 4. 10 州見台小学校の完全給食を実施。
- 平 21. 9. 米飯給食週 3 回から週 3.5 回に増やす。
- 平 22. 4. 1 加茂学校給食センターの新設により梅美台小学校・州見台小学校の配送を加茂学校給食センターへ変更。
- 平 23. 4. 12 木津南中学校の完全給食を実施。
- 平 23. 4. 21 高の原幼稚園の副食給食を山城学校給食センターへ変更。
- 平 26. 9. 城山台小学校の完全給食を実施。
- 平 30. 4 相楽幼稚園の副食給食を加茂学校給食センターへ変更。
- 令 2. 3 木津学校給食センターを廃止し、新設第一学校給食センターへ移転。

旧山城学校給食センターから新設第一学校給食センター移転までの沿革

- 昭 39. 4. 1 全校ミルク給食（脱脂粉乳）を実施。
- 昭 40. 4. 全校生牛乳に切替える。
- 昭 42. 4. センター方式による完全給食。
- 昭 52. 5. 炊飯委託で月 1 回米飯給食の実施。
- 昭 54. 給食施設設備の改善等充実。
- 昭 63. 給食配送車を更新。

- 平 2. 4. 米飯給食週 2.5 回のうち 1 回をセンターで炊飯実施。
平 4. 4. 米飯給食週 3 回のうち 3 回ともセンターで炊飯実施。
平 14. 3 山城学校給食センター竣工。米飯給食週 3.5 回。
平 23. 4. 21 高の原幼稚園の副食給食を実施。
平 23. 7 給食配送車を購入、配送車は合計 2 台になる。
令 2. 3 山城学校給食センターを廃止し、新設第一学校給食センターへ移転。

施 設

敷地面積 14, 799. 86 m²
延床面積 3, 127. 76 m²
構 造 鉄骨造 2 階建
調理能力 1 日 7, 000 食 (副食: 2 献立制)
1 日 7, 000 食 (米飯)

輸 送

配送車 3 t 積 (パワーゲート付) 6 台、軽パネルトラック 1 台

職員数

合計 70 名

担当課長 (第一学校給食センター所長事務取扱) 1 名、主任 1 名、栄養教諭 (府職員) 3 名、
栄養士 (市会計年度任用職員) 1 名
調理配送業務委託 従業者 64 名

◆第二学校給食センター (旧加茂学校給食センター)

所在地 木津川市加茂町観音寺石部 6 1 番地 1

TEL 76-0031 Fax 76-0032

沿 革

- 平 22. 4. 1 建物竣工、加茂学校給食センター開設。
平 22. 4. 12 梅美台小学校・州見台小学校・泉川中学校に完全給食を実施。
泉川中学校については、完全給食の開始となる。米飯給食週 3.5 回。
平 23. 4. 11 単独調理場から共同調理場への移行により、加茂小学校・恭仁小学校・当尾小学校・南加茂台小学校の完全給食を実施。
平 24. 3. 31 当尾小学校閉校。
平 26. 4 城山台小学校の完全給食を実施。
平 26. 9 城山台小学校の配送を木津学校給食センターへ変更。
平 30. 4 相楽幼稚園の副食給食を実施。
令 2. 4. 1 第二学校給食センターに名称変更
令 2. 4 第二学校給食センターとして、受配校見直しにより加茂小学校・恭仁小学校・南加茂台小学校、州見台小学校、泉川中学校、木津南中学校の完全給食を実施準備。
米飯給食週 4 回。

施 設

敷地面積 2, 376. 89 m²
建物面積 1, 338. 92 m²
構 造 鉄骨造 2 階建
調理能力 1 日 2, 500 食 (副食)
1 日 2, 500 食 (米飯)

輸 送

配送車 2 t 積 (パワーゲート付) 3 台

職員数

合計 36 名

主幹（第二学校給食センター所長事務取扱） 1 名、
 栄養教諭（府職員） 1 名（市会計年度任用職員） 1 名、栄養士（市会計年度任用職員） 1 名
 調理配送業務委託 従業者 32 名

給食実施人員数

R2. 5. 1 現在

◆第一学校給食センター

名 称	児童・生徒 及び園児数	職員数	合 計	学級数	備 考
木 津 小 学 校	509	36	545	20	
相 楽 小 学 校	417	23	440	16	
高 の 原 小 学 校	295	21	316	14	
木津川台小学校	394	24	418	16	
相 楽 台 小 学 校	228	22	250	11	
梅 美 台 小 学 校	974	52	1,026	32	
城 山 台 小 学 校	988	61	1,049	33	
上 狛 小 学 校	142	15	157	7	
棚 倉 小 学 校	281	20	301	13	
木 津 中 学 校	555	34	589	15	
木津第二中学校	506	32	538	15	
山 城 中 学 校	259	14	273	10	
木 津 幼 稚 園	138	17	155	6	
相 楽 幼 稚 園	75	15	90	3	
高 の 原 幼 稚 園	106	19	125	4	
第一学校給食センター	-	70	70	-	
合 計	5,867	475	6,342	215	

◆第二学校給食センター

名 称	児童及び 生徒数	職員数	合 計	学級数	備 考
州 見 台 小 学 校	665	34	699	23	
加 茂 小 学 校	270	22	292	13	
恭 仁 小 学 校	47	12	59	7	
南加茂台小学校	158	19	177	9	
泉 川 中 学 校	276	31	307	10	
木津南中学校	823	51	874	23	
第二学校給食センター	-	33	33	-	
合 計	2,239	202	2,441	85	
全体合計	8,106	677	8,783	300	

(2) 心の教育施設

ア カウンセリングルーム

- ① 所在地 木津川市立中央図書館 2 階
- ② 設 立 平成 8 年 4 月 1 日
- ③ 目 的 学習や心身に問題を持つ児童生徒や家庭教育に悩みを持つ保護者及び教職員に対する相談活動を通じて、専門的な立場から指導または援助を行うことにより、心身ともに健全な児童生徒を育成することを目的とする。

イ 適応指導教室「キッズふれあい教室」

- ① 所在地 木津川市立木津小学校内
- ② 設 立 平成 10 年 9 月 1 日
- ③ 目 的 心理的な要因で不登校に陥っている児童生徒を対象に、学習支援を中心に相談活動を行う。また、集団生活への適応に向けて様々な体験活動を通じて社会性の育成を図るとともに、その自立を促し、学校生活への復帰を図る。

3 通学区域

学 校 名	学 校 区
木 津 小 学 校	木津町、駅前一丁目 木津のうち八ヶ坪、門樋、神田、田中前、馬ヶ瀬、西小林、大次、八後、宮ノ内、奈良道（国道 24 号以南の区域を除く区域）、清水、南垣外、殿城、雲村、宮ノ堀、天神山、馬場南、大谷、川端、小川、八色、瓦谷、西垣外 木津宮ノ裏、上戸、池田及び川原田のうち J R 関西本線以西の区域 木津片山のうち 112 番地から 126 番地の区域 市坂宮ノ内及び小谷口のうち国道 24 号以北の区域
相 楽 小 学 校	相楽及び吐師のうち近鉄京都線以西の区域を除く区域 木津のうち山田川、下川原、南後背、野色、小釜、石塚
高 の 原 小 学 校	兜台
相 楽 台 小 学 校	相楽台
木 津 川 台 小 学 校	木津川台、相楽及び吐師のうち近鉄京都線以西の区域
梅 美 台 小 学 校	梅美台、梅谷
州 見 台 小 学 校	州見台、市坂 木津奈良道のうち国道 24 号以南の区域 市坂宮ノ内及び小谷口のうち国道 24 号以北の区域を除く区域
城 山 台 小 学 校	城山台、鹿背山、木津のうち白口、今城、内田山、東小林 木津宮ノ裏、上戸、池田及び川原田のうち J R 関西本線以西の区域を除く区域 木津片山のうち 112 番地から 126 番地の区域を除く区域
加 茂 小 学 校	里、高田、観音寺、大野、法花寺野、兎並、美浪、北、銭司、山田、駅東一丁目、駅東二丁目、駅東三丁目、駅東四丁目、駅西一丁目、駅西二丁目
恭 仁 小 学 校	井平尾、岡崎、河原、西、例幣、奥畑
南 加 茂 台 小 学 校	南加茂台、岩船、東小上、東小下、南大門、北大門、西小、南下手、北下手、森、高去、勝風、大畑、辻、尻枝
棚 倉 小 学 校	綺田、平尾
上 狛 小 学 校	上狛、椿井、北河原、神童子
木 津 中 学 校	木津小学校、相楽小学校、城山台小学校の区域
木 津 第 二 中 学 校	高の原小学校、木津川台小学校、相楽台小学校の区域
木 津 南 中 学 校	梅美台小学校、州見台小学校の区域
泉 川 中 学 校	加茂小学校、恭仁小学校、南加茂台小学校の区域
山 城 中 学 校	棚倉小学校、上狛小学校の区域

4 園児・児童・生徒数

(1) 幼稚園

ア 園児数

R2. 5. 1現在 (単位:人, 学級)

園名	項目	3 歳児		4 歳児		5 歳児		計	
		園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数
木津幼稚園		20	1	65	3	72	3	157	7
相楽幼稚園		20	1	31	1	44	2	95	4
高の原幼稚園		29	2	51	2	54	2	134	6
計		69	4	147	6	170	7	386	17

イ 園児数の推移

各年 5. 1現在 (単位:人)

年 度	平成 2 5 年	平成 2 6 年	平成 2 7 年	平成 2 8 年	平成 2 9 年	平成 3 0 年	令和元年	令和 2 年
木津幼稚園	262	245	225	237	238	207	156	157
相楽幼稚園	143	126	109	105	125	111	94	95
高の原幼稚園	182	169	158	172	167	148	148	134
計	587	540	492	514	530	466	398	386

(2) 小学校

ア 児童数

R2. 5. 1現在 (単位:人, 学級)

学校名	項目	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援学級	計
木津小学校	児童数	61	77	79	97	84	106	10	514
	学級数	2	3	3	3	3	4	4	22
相楽小学校	児童数	65	73	71	76	62	61	9	417
	学級数	2	3	2	3	2	2	2	16
高の原小学校	児童数	47	50	49	40	48	57	5	296
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	14
相楽台小学校	児童数	34	39	43	30	35	36	12	229
	学級数	1	2	2	1	1	2	4	13
木津川台小学校	児童数	43	58	56	61	75	97	11	401
	学級数	2	2	2	2	3	3	3	17
梅美台小学校	児童数	132	139	163	163	162	197	23	979
	学級数	4	4	5	5	5	6	4	33
州見台小学校	児童数	110	101	86	124	103	133	14	671
	学級数	4	3	3	4	3	4	3	24
城山台小学校	児童数	212	234	181	134	110	96	24	991
	学級数	7	7	6	5	4	3	6	38
加茂小学校	児童数	47	30	49	38	44	53	10	271
	学級数	2	1	2	2	2	2	2	13
恭仁小学校	児童数	7	5	9	7	8	10	2	48
	学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
南加茂台小学校	児童数	18	26	25	30	16	36	8	159
	学級数	1	1	1	1	1	2	3	10
上狛小学校	児童数	14	23	21	19	33	24	8	142
	学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
棚倉小学校	児童数	38	47	33	52	48	54	10	282
	学級数	2	2	1	2	2	2	2	13
計	児童数	828	902	865	871	828	960	146	5,400
	学級数	31	32	31	32	30	34	39	229

イ 児童数の推移

各年 5.1現在 (単位:人)

年 度	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
木津小学校	532	494	522	529	549	546	531	514
相楽小学校	395	398	390	393	407	421	411	417
高の原小学校	383	379	365	357	333	336	308	296
相楽台小学校	242	242	246	235	228	229	233	229
木津川台小学校	684	649	620	579	529	495	446	401
梅美台小学校	837	924	1007	1035	1,080	1,054	1,018	979
州見台小学校	785	808	810	775	782	729	712	671
城山台小学校		69	188	308	432	597	828	991
加茂小学校	399	396	375	353	331	310	291	271
恭仁小学校	48	47	48	44	42	44	44	48
南加茂台小学校	228	214	222	200	181	172	167	159
上狛小学校	177	191	187	189	181	182	173	142
棚倉小学校	332	337	334	336	338	316	295	282
計	5,042	5,148	5,314	5,333	5,413	5,431	5,457	5,400

(3) 中学校
ア 生徒数

R2.5.1現在 (単位:人,学級)

項目 学校名	1 年		2 年		3 年		特別支援学級		計	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
木津中学校	199	5	195	5	153	4	14	3	561	17
木津第二中学校	155	4	174	5	167	5	14	3	510	17
木津南中学校	297	8	261	7	262	7	10	2	830	24
泉川中学校	89	3	75	3	102	3	11	4	277	13
山城中学校	87	3	90	3	73	3	3	2	253	11
計	827	23	795	23	757	22	52	14	2,431	82

イ 生徒数の推移

各年 5.1現在 (単位:人)

年 度	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
木津中学校	351	392	408	454	469	476	528	561
木津第二中学校	597	594	595	571	578	550	544	510
木津南中学校	483	551	618	673	717	755	779	830
泉川中学校	334	329	330	333	324	314	281	277
山城中学校	233	226	242	244	244	230	237	253
計	1,998	2,092	2,193	2,275	2,332	2,325	2,369	2,431

1 社会教育指導の重点

～生涯学習推進計画を着実に進めるために～

木津川市では、平成 26 年 3 月に「木津川市生涯学習推進計画～きずなプラン～」を策定しました。この計画の基本理念である「人をはぐくみ ところを結び まちを創る」の実現を目指し、年度ごとの目標や具体的施策などを社会教育関係者等に示すことを目的として、令和 2 年度「社会教育の重点」を定めます。

重点課題 1 生涯学習を支える基盤整備を行う

①学習情報の総合的な収集・整理を行い、市民に情報を提供する

- ・生涯学習関連情報の提供

②気軽に生涯学習に取り組むことができるよう機会の充実を図る

- ・夜間、休日開催講座の充実
- ・人権に関する学習機会の充実
- ・男女共同参画社会実現に向けた学習機会の充実
- ・子どもの体験活動の推進
- ・親子でふれあえる機会の拡大
- ・ニュースポーツの普及

③地域的課題や現代的課題に対応した学習内容の設定を行う

- ・地域課題解決のための支援
- ・市民の防災意識を高めるための学習機会の充実
- ・郷土への愛着を深めるための取り組み
- ・放課後の子どもたちの安全な居場所づくり

④気軽に相談を行うことができるよう相談体制の充実を図る

- ・気軽に相談ができる窓口の設置
- ・市内で活動する団体、サークルの活動状況の把握
- ・団体、サークルが求める情報の提供

⑤生涯学習施設をより利用しやすい施設とするための整備を行う

- ・利用者の声を施設運営に反映させる
- ・各施設の機能の充実を図る

重点課題 2 市民との連携・協働を図る

①学校・地域・家庭の連携・協働を促進し、地域による学校支援充実を図る

- ・放課後子ども総合プラン推進事業の充実
- ・地域学校協働本部事業の充実
- ・社会総がかりで子どもを守り、育てる体制づくりを行う

②NPOや企業・高等教育機関との連携を図る

- ・NPOや民間教育事業者等との連携を行う
- ・京都府や関係機関と連携した学習支援の充実を図る

- ・学研都市研究所等との連携を図る
- ③地域交流活動を支援し、人と人とのネットワークづくりを推進する
 - ・世代を超えた交流を図る事業への支援を行う
 - ・多くの人が参加できる催しの開催
 - ・国際理解を深めるための取り組みの推進
- ④リーダーとなる人材の発掘と育成を図る
 - ・幅広い年齢層におけるリーダーの育成を行う
 - ・特技や能力を持った人材の掘り起しと活動の場の提供に努める

重点課題３ 生涯学習推進都市を目指す

- ①講師・ボランティア情報の収集と整理を行い、市民に的確な情報を提供する
 - ・指導者、ボランティア情報の一元化を図る
 - ・登録者に講師を依頼するなど積極的な活用を図る
- ②自主グループ活動への支援を行い、地域コミュニティ活動を推進する
 - ・市民主体の地域づくりにつながる事業を推進する
 - ・地域的課題解決の支援を行う
 - ・地域子ども会の育成、支援を行う
- ③学んだ成果を発表できる場の提供や成果を活かせる機会を積極的に創出する
 - ・学びの成果を発表する機会の充実を図る
 - ・発表の場が交流の場となるよう内容の充実を図る
- ④市民の様々な活動を支援し、まちづくりへの発展を促進する
 - ・ボランティア活動に関するコーディネート機能の充実を図る
 - ・社会教育施設間のネットワーク化を図る

２ 施設

(１) 公民館

名 称	南加茂台公民館
所 在 地	南加茂台５丁目２番地３
開 館 時 間	午前９時～午後１０時（但し、水・木・日は午後５時まで）
電 話	７６－５９５９
休 館	月曜日、祝日、１２月２９日～翌年１月３日
設 備	ホール、和室、集会室、料理室、トレーニングルーム、工作室

名 称	瓶原公民館
所 在 地	加茂町岡崎考１４番地
開 館 時 間	午前９時～午後１０時
休 館	月曜日、祝日、１２月２９日～翌年１月３日
設 備	会議室大、小、和室、料理室

(２) 図書館

名 称	中央図書館
所 在 地	木津町内垣外 3 6 番地
電 話	7 2 - 2 9 8 0
資 料 数	(資料数は令和 2 年 3 月 3 1 日現在) 総合計 1 4 3, 0 0 0 冊 内 図書 1 3 1, 6 2 8 冊 (一般書 9 1, 1 9 5 冊、児童書 4 0, 4 3 3 冊) 雑誌 8, 0 7 8 冊 (タイトル 1 2 1 誌) 視聴覚資料 3, 2 9 4 タイトル (VHS・DVD・CD・カセットテープ) 新聞 9 紙
開 館 時 間	火～金曜日 午前 9 時 3 0 分～午後 6 時 土・日曜日 午前 9 時 3 0 分～午後 5 時
休 館 日	月曜日・祝日・館内整理日 (毎月最終金曜日。ただし 1 2 月のみ 2 8 日)・ 年末年始・特別整理期間
名 称	加茂図書館
所 在 地	加茂町里南古田 1 5 6 番地
電 話	7 6 - 6 4 6 6
資 料 数	(資料数は令和 2 年 3 月 3 1 日現在) 総合計 7 9, 7 5 8 冊 内 図書 7 6, 3 9 9 冊 (一般書 4 7, 5 9 9 冊、児童書 2 8, 8 0 0 冊) 雑誌 3, 0 0 1 (タイトル 7 5 誌) 視聴覚資料 3 5 8 タイトル (VHS・CD・DVD) 新聞 7 紙
開 館 時 間	火～金曜日 午前 9 時 3 0 分～午後 6 時 土・日曜日 午前 9 時 3 0 分～午後 5 時
休 館 日	月曜日、祝日、館内整理日 (毎月最終金曜日。ただし 1 2 月のみ 2 8 日)、 年末年始、特別整理期間
名 称	山城図書館
所 在 地	山城町平尾前田 2 4 番地 (山城総合文化センターアスパアやましろ内)
電 話	8 6 - 5 0 0 1
資 料 数	(資料数は令和 2 年 3 月 3 1 日現在) 総合計 1 0 6, 4 9 8 冊 内 図書 1 0 1, 2 2 4 冊 (一般書 6 7, 0 3 8 冊、児童書 3 4, 1 8 6 冊) 雑誌 3, 8 7 7 冊 (タイトル 8 7 誌) 視聴覚資料 1, 3 9 7 タイトル (VHS・DVD) 新聞 8 紙
開 館 時 間	火～金曜日 午前 9 時 3 0 分～午後 6 時 土・日・祝日 午前 9 時 3 0 分～午後 5 時
休 館 日	月曜日・祝日の翌日・館内整理日 (毎月最終金曜日。ただし 1 2 月のみ 2 8

日)・年末年始・特別整理期間

(3) 文化ホール

名 称	加茂文化センター（あじさいホール）
所 在 地	加茂町里南古田 1 5 6 番地
電 話	7 6 - 4 6 1 1
開 館 時 間	午前 9 時～午後 1 0 時
休 館 日	月曜日（祝日の場合は翌日と翌々日）、祝日の翌日 1 2 月 2 8 日～翌年 1 月 4 日
設 備	ホール、楽屋、リハーサル室、研修室、プレイルーム、展示コーナー、調理室、ランチルーム、音楽室、創作室、工作室、和室、茶室、録音室
名 称	山城総合文化センター（アスピアやましろ）
所 在 地	山城町平尾前田 2 4 番地
電 話	8 6 - 5 8 5 1
開 館 時 間	午前 9 時～午後 1 0 時
休 館 日	月曜日、祝日の翌平日（月曜日と重なる場合はその翌日） 1 2 月 2 8 日～翌年 1 月 4 日
設 備	ホール、控室、練習室、研修室、視聴覚室、和室、創作室、スクエアー、イベント広場

(4) 交流会館

名 称	中央交流会館（いずみホール）
所 在 地	木津宮ノ内 9 2 番地
電 話	7 2 - 8 8 0 0
開 館 時 間	午前 9 時～午後 1 0 時
休 館 日	月曜日、1 2 月 2 9 日～翌年 1 月 3 日
設 備	多目的ホール、研修室、クラフト室、調理教室、会議室、和室、多目的広場
名 称	西部交流会館
所 在 地	相楽高下 4 番地 9
電 話	7 3 - 6 8 8 8
開 館 時 間	午前 9 時～午後 1 0 時
休 館 日	月曜日、1 2 月 2 9 日～翌年 1 月 3 日
設 備	集会室、会議室、和室
名 称	東部交流会館
所 在 地	木津宮ノ堀 1 4 9 番地
電 話	7 1 - 8 1 3 0
開 館 時 間	午前 9 時～午後 1 0 時
休 館 日	月曜日、1 2 月 2 9 日～翌年 1 月 3 日
設 備	多目的ホール、調理教室、カルチャールーム 1・2、和室 1・2、野外広場

(5) スポーツ施設

名 称	中央体育館
-----	-------

所 在 地	木津石塚147番地
貸 出 時 間	午前9時～午後10時
休 館 日	火曜日、12月28日～翌年1月3日
名 称	市民スポーツセンター（アリーナ・テニスコート2面）
所 在 地	木津田中前40番地1
貸 出 時 間	午前9時～午後10時
休 館 日	月曜日、12月28日～翌年1月3日
名 称	木津グラウンド
所 在 地	木津川端69番地1
貸 出 時 間	午前8時～日没
休 業 日	12月28日～翌年1月3日
名 称	兜谷公園（グラウンド・テニスコート2面）
所 在 地	兜台6丁目4番地
貸 出 時 間	グラウンド 午前9時～日没 テニスコート 午前9時～午後10時
名 称	木津川台公園（グラウンド・テニスコート3面）
所 在 地	木津川台6丁目4番地3
貸 出 時 間	グラウンド 午前9時～日没 テニスコート 午前9時～午後10時
名 称	梅美台公園（テニスコート2面）
所 在 地	梅美台一丁目9番地
貸 出 時 間	テニスコート 午前9時～午後10時
名 称	加茂グラウンド
所 在 地	加茂町大野中宇称57番地
貸 出 時 間	午前8時～日没
休 業 日	12月28日～翌年1月3日
名 称	赤田川グラウンド
所 在 地	加茂町里赤田川1番地
貸 出 時 間	午前8時～日没
休 業 日	12月28日～翌年1月3日
名 称	塚穴公園（テニスコート2面）
所 在 地	南加茂台6丁目14番地
貸 出 時 間	午前9時～午後5時
名 称	不動川公園（多目的広場・テニスコート）
所 在 地	山城町平尾大谷1番地
貸 出 時 間	多目的広場 午前8時30分～午後5時 季節により時間が変わります。 テニスコート 午前9時～午後5時 季節により時間が変わります。

名 称 やすらぎタウン山城プール
 所 在 地 山城町椿井柳田 2 6 番地
 貸 出 時 間 午前 1 0 時 3 0 分～午後 8 時 3 0 分 時期により時間が変わります。

名 称 上狛駅東公園（テニスコート 3 面兼フットサルコート）
 所 在 地 山城町上狛北野田芝 6 0 番地
 貸 出 時 間 午前 9 時～午後 9 時

名 称 山城コミュニティ運動広場（グラウンドゴルフ専用）
 所 在 地 山城町上狛川原 3 番地
 貸 出 時 間 午前 8 時～日没
 休 業 日 1 2 月 2 8 日～翌年 1 月 3 日

名 称 城址公園（グラウンド・テニスコート 3 面）
 所 在 地 城山台 8 丁目 5
 貸 出 時 間 グラウンド 午前 9 時～午後 5 時
 テニスコート 午前 9 時～午後 5 時

（6）その他の施設

名 称 加茂青少年山の家（平成 3 0 年 4 月 1 日から運営停止）
 所 在 地 加茂町尻枝七辻 1 5 番地 1
 設 備 和室 3 5 畳、和室 1 5 畳 2 室、和室 1 0 畳 6 室、食堂

名 称 青少年育成施設（テニスコート・ゲートボール場）
 所 在 地 加茂町尻枝七辻 1 5 番地 1
 受 付 南加茂台公民館（電話 7 6—5 9 5 9）
 貸 出 時 間 午前 8 時～午後 1 0 時
 休 業 日 1 2 月 2 8 日～翌年 1 月 4 日

名 称 加茂青少年センター
 所 在 地 加茂町里中森 1 0 1 番地
 電 話 7 6—6 9 0 0
 開 館 時 間 午前 1 0 時～午後 1 0 時
 休 館 日 月曜日、祝日、1 2 月 2 9 日～翌年 1 月 3 日
 設 備 会議室、いこいの部屋、ふれあい室、学習室、多目的ホール

名 称 当尾の郷会館
 所 在 地 加茂町辻下垣外 1 6 番地
 電 話 7 6—2 2 3 4
 開 館 時 間 午前 9 時～午後 1 0 時
 休 館 日 月曜日、祝日、1 2 月 2 9 日～翌年 1 月 3 日
 設 備 会議室、研修室、調理室、工作室、体育館、グラウンド、サロン

1 木津川市の歴史と文化財

木津川市は、近畿地方の中心、京都府南部の山城地域に位置し、南は奈良（大和）と境界を接し、京都・大阪の中心部から30km圏内にあります。本市は北東部の山塊と南西部の京阪奈丘陵に挟まれ、中央を東西に貫流する木津川は、古来、淀川を通して瀬戸内海に入り、東アジアの国々と繋がる大和の北の玄関口として一翼を担いながら、この地に遡って流入する人や物資、文化の痕跡や大和の影響を色濃く残す特異な文化を発展させてきました。

日本の国が統一されていく時期に重要な位置を占めていた有力者の首長墓である椿井大塚山古墳（国史跡）や渡来人との関係が指摘される古代寺院の高麗寺（国史跡）などは木津川を見下ろす位置に造られています。

古代には、大和の北入口として木津川沿いに「泉津」が設けられ、都の外港として建築部材や物資の集積地となり、これが「木津」の地名の由来となっています。泉津から遡った瓶原には恭仁宮（国史跡）が造営され、短命ではありましたが、日本の首都として国政の中心となり、国分寺・国分尼寺建立の詔などもこの地で出されました。

都が平城京から平安京へ移り、この地は二都の間の地域として、水路と陸路の往還地となり、多様で豊かな農業生産が発展しました。また、大和の背後に位置する当尾地域では、浄瑠璃寺（特別名勝庭園、国宝本堂、同三重塔、同九体阿弥陀仏など）や岩船寺（重要文化財三重塔、同木造阿弥陀如来坐像など）を中心に南都仏教の修行場が形成され、北東部の山間地域においても海住山寺（国宝五重塔、重要文化財木造四天王立像など）や神童寺（重要文化財本堂、同木造愛染明王坐像ほか）が復興されています。

中世には自治的な村落ができ、米・麦などとともに、早くから茶が栽培されるようになり、交通の要衝地として商業活動も活発となりました。戦乱の世になると、この地の土豪たちを中心に起こった山城国一揆により「自治」の郷づくりをめざしました。

近世には農地も増え、綿、茶、豆類、大根、ごぼう、柿、筍など多くの作物が生産され、今日の近郊農業の基盤となりました。特に茶は幕末から明治にかけて木津川水運を利用して海外への輸出が増大し、その集散地として発展しました。また、高級麻織物である奈良晒の技術を活かした相楽木綿は京都府域最大の産地として昭和戦前まで続きました。

合併により昭和26年に木津町と加茂町が、昭和31年には山城町が成立しました。そして、平成19年には3町が合併して現在の木津川市が誕生しました。

このように、歴史に恵まれた木津川市には、国宝6件、特別名勝1件、重要文化財45件、国史跡7件のほか多数の府指定等文化財、市指定文化財があります。これらの文化財を守るために平成28年3月に木津川市文化財保存活用基本計画を策定しました。

2 木津川市の文化財保存活用基本計画の方針

文化財の保存・活用には、まず文化財の基礎調査およびその特性の研究が必要です。ここでは文化財の調査、整理、指定、管理、整備、修復、活用までの基本方針を示します。

本計画において取り扱う文化財とは、椿井大塚山古墳、高麗寺跡、恭仁宮跡（山城国分寺跡）、

奈良山瓦窯跡などの史跡や蟹満寺、浄瑠璃寺、海住山寺などが所有する国宝および重要文化財に指定された建造物や美術工芸品をはじめ、府指定・登録や木津川市指定などの有形・無形民俗文化財、地域の風土（自然）、地勢、街道、街並みなどの環境に根ざした文化財を対象とします。また、未指定である文化財も対象とします。

（１）調査・研究

第１段階は、各文化財の保存・活用の基礎となる調査を個別に行います。

既存資料を整理した上で、木津川市を構成する文化財の整理、通常職務に際しての情報把握によりその内容を充実させ、その文化財がどのような環境におかれ、歴史的な位置付けができるのか評価します。

第２段階は、認知された文化財の保護の緊急性や重要性を把握するための詳細調査を文化財個別に行います。文化財の特性を研究し把握することで、その後の保護の方向性を捉え、報告書等の作成を推進します。

なお、詳細調査は、滅失等の危険性が高い文化財の記録を優先することとし、本市にとって重要な文化財については実態の解明に努めます。

（２）整理・共有化

各文化財の調査・研究を踏まえて、文化財台帳の記録整理によりデータベースの構築を図ります。特に重要な文化財は、定期的な実態調査を実施し、文化財指定等へ向けて指定台帳等への記録に込める整理を行います。

文化財種別ごとのデータベースにより、今後の登録や指定の措置の枠組みの確保ができます。また、既存の指定・登録文化財については、将来に継承していくため所有者等との協働による市の文化財について情報の共有化を図ります。なお、多種多様な文化財については、市民等の参画による発見とモニター等の導入を検討し、本市の歴史文化の理解と維持保全に努めます。

（３）指 定

指定しようとする文化財を前もって選定することで、木津川市文化財保護審議会に対して調査案件の事前周知を図るなど、今後の計画的かつ効率的な文化財指定を目指します。

また、緊急に指定による保護が必要な物件等については、即時に諮問可能な体制が必要であり、諮問機会の増加と連携強化を図ります。多くの文化財を滅失の危機から救うと同時に、どういったものが文化財なのかを市民等に実態としてわかりやすくなります。

（４）保存管理

文化財の保護は、その特性に応じて個々に講じられるものです。文化財保護法や木津川市文化財保護条例の文化財種別の中で整備に取り組み、今後の登録や指定による保護措置の枠組みを確保します。

指定や登録された文化財は、所有者等の同意を得て着実な保護に取り組みつつ、特に土地に帰属するあるいは面的な広がりのある文化財については、保存の方針を専門家や所有者等、周辺住民をはじめとする市民等と協働で作成するなど幅広い方々の意向や創造性を取り込んだ保護を検討します。

指定文化財に限らず全ての文化財は、実態と台帳内容との齟齬（そご）を避け、その配置や形態等の変化を具体的に把握するため、所有者や地域と連携協力しながら文化財の価値を維持するための保存（予防・修復・管理計画の策定と実施）を図ります。

また、管理主体が木津川市である史跡や建造物等では地域や団体と連絡調整を行うとともに、各種関連法令等に基づき管理します。

文化財を木津川市の貴重な遺産として、将来にわたって末永く継承していくため、市民等と

市の協働によるまちづくりを展望し、多種多様の文化財の特性や現状等を常に市民と共有しておくことが求められます。

(5) 整備・活用・修復

指定された文化財は、本市の歴史文化を広く周知するために広報誌やホームページ、地域の各種団体、小中学校などへの積極的な公開を推進します。当面は庁内データベースとして関係各課によるまちづくりへの活用を要請する一方で、所有者等の理解を得ながら将来的な公開を実現します。

国指定史跡等は、本市の歴史文化の理解を深めるために関係機関との連携により必要な環境整備を検討します。修復が必要な文化財については、国・府・所有者等と調整しながら適切な処置を行います。文化財に関する講演会や展示も市広報誌やホームページ等を活用して広く市内外へ情報発信していきます。

また、地域基盤を形作った身近な文化財でも周知されていないものが多いことから、整備や修復を実施した後は公開に努めます。

3 文化財普及啓発活動の取組み

文化財を大切に作る心を育むため以下の取り組みを行います。

- ・木津川市ふれあい文化講座（年４回）
- ・学研立地企業や市内小中学校、地域への出前授業への職員派遣
- ・市内小中学校教員新規採用者への文化財現地説明
- ・市役所多目的スペース（住民活動スペースや２階エレベーター前展示ロビーなど）や市内小中学校での文化財展示事業
- ・発掘調査現場での体験学習、調査成果の公開
- ・「くにのみや学習館」、「アスピア山城」での恭仁宮跡・椿井大塚山古墳の紹介
- ・史跡恭仁宮跡公有地における花栽培
- ・文化財パンフレットの刊行・配布、旧町史など文化財書籍販売

4 施 設

名 称	文化財整理保管センター
所 在 地	南加茂台６丁目１８番地
電 話	７５－１２３２（文化財保護課）
開 館 時 間	午前９時～午後５時
休 館 日	祝日、１２月２８日～翌年１月４日
設 備	多目的室
名 称	文化財整理保管センター分室（くにのみや学習館）
所 在 地	加茂町岡崎考２８番地
電 話	７６－９２０２
開 館 時 間	午前９時～午後５時
休 館 日	月曜日（月曜日が休日の場合翌日が休館） １２月２８日～翌年１月４日
設 備	多目的室、資料展示室

No.	指定級	名 称	種 別	員 数	年 代 等	指 定 日	所有者・管理者	所 在 地
1	国 宝	銅造釈迦如来坐像	彫刻	1 軀	奈良時代	明治30年12月28日	(宗)蟹満寺	山城町綺田浜36
2		木造四天王立像	彫刻	4 軀	平安時代	明治34年3月27日	(宗)浄瑠璃寺	増長天・持国天：本堂 広目天：東京国立博物館勧告 多聞天：京都国立博物館勧告
3		木造阿弥陀如来坐像	彫刻	9 軀	平安時代	明治34年8月2日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小礼場40
1	重 要 文 化 財	厨子入木造吉祥天立像	彫刻	1 軀	建暦 2 (1212)	明治30年12月18日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小礼場40
2		木造馬頭観音立像	彫刻	1 軀	仁治 2 (1241)	明治34年8月2日	(宗)浄瑠璃寺	奈良国立博物館勧告
3		木造地藏菩薩立像	彫刻	1 軀	平安時代	明治34年8月2日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小礼場40
4		木造薬師如来坐像	彫刻	1 軀	永承 2 (1047)	明治34年8月2日	(宗)西明寺	加茂町大野大野27
5		木造薬師如来坐像	彫刻	1 軀	平安時代	明治37年2月18日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小礼場40
6		木造地藏菩薩立像	彫刻	1 軀	平安時代	明治37年2月18日	(宗)浄瑠璃寺	東京国立博物館勧告
7		木造十一面観音立像	彫刻	1 軀	平安時代	明治42年4月5日	(宗)大智寺	木津雲村42-1
8		木造十一面観音立像	彫刻	1 軀	平安時代	明治42年4月5日	(宗)法泉寺	相楽才ノ神43
9		木造十一面観音菩薩立像	彫刻	1 軀	平安時代	明治42年4月5日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
10		木造十一面観音菩薩立像	彫刻	1 軀	平安時代	明治42年4月5日	(宗)海住山寺	奈良国立博物館勧告
11		絹本着色法華経曼荼羅図	絵画	1 幅	鎌倉時代	明治42年4月5日	(宗)海住山寺	京都国立博物館寄託
12		木造不動明王及二童子立像	彫刻	3 軀	応長元 (1311)	明治43年4月20日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小礼場40
13		木造阿弥陀如来坐像	彫刻	1 軀	天慶 9 (946)	明治43年8月29日	(宗)岩船寺	加茂町岩船上ノ門43
14		厨子入木造普賢菩薩像	彫刻	1 軀	平安時代	明治43年8月29日	(宗)岩船寺	加茂町岩船上ノ門43
15		木造文殊菩薩坐像	彫刻	1 軀	鎌倉時代	大正2年4月14日	(宗)大智寺	木津雲村42-1
16		木造十一面観音坐像	彫刻	1 軀	鎌倉時代	大正2年4月14日	(宗)現光寺	加茂町北山ノ上 9
17		木造愛染明王坐像	彫刻	1 軀	平安時代	大正2年4月14日	(宗)神童寺	山城町神童子不晴谷112
18		木造不動明王立像	彫刻	1 軀	平安時代	大正2年4月14日	(宗)神童寺	山城町神童子不晴谷112
19		木造阿弥陀如来坐像	彫刻	1 軀	平安時代	大正2年4月14日	(宗)神童寺	山城町神童子不晴谷112
20		木造毘沙門天立像	彫刻	1 軀	平安時代	大正2年4月14日	(宗)神童寺	山城町神童子不晴谷112
21		木造日光月光菩薩立像	彫刻	2 軀	平安時代	大正2年4月14日	(宗)神童寺	山城町神童子不晴谷112
22		木造伎楽面	彫刻	1 面	建久 7 (1196)	大正2年4月14日	(宗)神童寺	奈良国立博物館寄託
23		石燈籠	工芸	2 基	1 基：貞治 5 (1366) 1 基：南北朝時代	昭和38年2月14日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小礼場40
24		海住山寺文書	古文書	24通・16巻	鎌倉～室町時代	昭和47年5月30日	(宗)海住山寺	京都国立博物館寄託
25		木造薬師如来坐像	彫刻	1 軀	平安時代	昭和49年6月8日	(宗)高田寺	加茂町高田奥畑54
26		三重塔初重壁面十六羅漢像	絵画	16面	平安時代	昭和52年6月11日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小礼場40
27		絹本着色仏涅槃図 附寛正三年六月施入旧裏書	絵画	1 幅・1巻	鎌倉時代	昭和52年6月11日	(宗)常念寺	京都国立博物館寄託
28		浄瑠璃寺流記 附浄瑠璃寺縁起	書籍・典籍	1 冊・1巻	南北朝時代	平成4年6月22日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小礼場40
29		木造四天王立像	彫刻	4 軀	鎌倉時代	平成9年6月30日	(宗)海住山寺	奈良国立博物館寄託

1	木造葉師如来坐像	彫刻	1 軀	平安時代	昭和58年4月15日	(宗)西念寺	鹿背山鹿曲田65
2	梵鐘	工芸	1 口	正嘉元(1257)	昭和58年4月15日	(宗)海住山寺	奈良国立博物館寄託
3	当尾磨崖仏 阿弥陀如来及両脇侍坐像 弥勒如来立像・不動明王立像	彫刻	5 軀	阿：永仁7(1299) 弥：文永11(1274) 不：弘安10(1287)	昭和60年5月15日	岩船区	加茂町岩船
4	当尾磨崖仏 不動明王立像・毘沙門天立像	彫刻	2 軀	不：正中3(1326) 毘：鎌倉時代	昭和63年4月15日	(宗)八幡宮	加茂町森陀羅尼田1
5	木造四天王立像	彫刻	4 軀	正応6(1293)	昭和60年5月15日	(宗)岩船寺	加茂町岩船上ノ門43
6	絹本着色釈迦三尊十六羅漢図 附絹本着色三千仏図	絵画	3 幅・3 幅	建武4～5 (1337～1338)	昭和61年4月15日	(宗)海住山寺	奈良国立博物館寄託
7	木造扁額「海住山寺」	工芸	2 面	1 面：承元2(1208) 1 面：鎌倉時代	平成4年4月14日	(宗)海住山寺	奈良国立博物館寄託
8	絹本着色春日宮曼荼羅十六善神図	絵画	1 幅	鎌倉時代	平成14年3月26日	(宗)海住山寺	京都国立博物館寄託
9	曳覆曼荼羅版木	歴史資料	2 枚	永和元(1375)	平成17年3月18日	(宗)西明寺	加茂町大野大野27
10	狛文書	古文書	25点	室町～江戸時代	平成24年3月23日	個人	京都府立山城郷土資料館寄託
11	埴輪(上人ヶ平古墳群・上人ヶ平埴輪窯跡群出土)	考古資料	一括(26点)	古墳時代	平成30年3月23日	木津川市	木津川市
12	木造千手観音立像 木造不空羼索観音立像 木造十一面観音立像 木造馬頭観音立像 附木造不空羼索観音立像納入品	彫刻	5 軀	鎌倉時代～南北朝時代	平成31年3月29日	一般財団法人川合 京都仏教美術財団	加茂町兔並寺山44
1	木造十王坐像 木造俱生神半跏像 木造奪衣婆坐像 当尾磨崖仏 不動明王立像	彫刻	十：10軀 俱：2 軀 奪：1 軀	文明6～8 (1474～1476)	昭和59年4月14日	(宗)常念寺	京都国立博物館寄託
2	木造日光・月光菩薩立像	彫刻	1 軀	永仁4(1296)	昭和60年5月15日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小礼場40
3	紙本着色柏秀綱像	彫刻	2 軀	永正11(1514)	昭和62年4月15日	(宗)西念寺	鹿背山鹿曲田65
4	絵仏供	絵画	1 幅	桃山時代	昭和62年4月15日	(宗)西福寺	山城町上粕良町3
5	道標(伊賀街道)	工芸	11個	室町時代～近代	昭和63年4月15日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小礼場40
1	袈裟褌文銅鐸	歴史資料	4 基	江戸時代	昭和49年6月1日	木津川市	木津川市
2	木造地藏菩薩立像	考古資料	1 口	弥生時代	昭和61年11月6日	木津川市	京都府立山城郷土資料館常設展出陳
3	袋中上人絵詞伝	彫刻	1 軀	平安時代	昭和63年3月31日	(宗)地藏院	加茂町観音寺中貝戸37
4	木造地藏菩薩坐像	絵画	2 巻	寛延2(1749)	昭和63年3月31日	(宗)薦滝寺	京都府立山城郷土資料館寄託
5	木造阿弥陀如来立像	彫刻	1 軀	平安時代	昭和63年4月1日	(宗)西教寺	木津雲村3
6	木造如来形坐像	彫刻	1 軀	鎌倉時代	昭和63年4月1日	(宗)心楽寺	梅谷南中ノ谷69
7	泉橋寺石造地藏菩薩坐像	彫刻	1 軀	奈良時代	平成6年5月6日	(宗)蟹満寺	山城町綺田浜36
8	木造牛頭天王半跏像	彫刻	1 軀	鎌倉時代	平成11年5月11日	(宗)泉橋寺	山城町上粕西下55
9	木造女神坐像	彫刻	2 軀	平安時代	平成13年4月9日	(宗)松尾神社	京都府立山城郷土資料館寄託
10	狂言福の神図並びに能狸々図絵馬	彫刻	2 軀	平安時代	平成13年4月9日	(宗)松尾神社	京都府立山城郷土資料館寄託
11	絹本着色方便法身尊像	絵画	1 面	江戸時代	平成13年4月9日	(宗)松尾神社	京都府立山城郷土資料館寄託
12	高井手瓦窯出土鬼瓦	絵画	1 幅	江戸時代	平成13年4月9日	(宗)円成寺	山城町上粕西下52
13		考古資料	4 点	奈良時代	平成13年4月9日	木津川市	木津川市

14	市 指 定	山城国相楽郡綺田村検地帳	古文書	1点	江戸時代	平成13年4月9日	木津川市	京都府立山城郷土資料館寄託
15		城州相楽郡平尾村入組片桐主膳正領分絵図	古文書	1点	江戸時代	平成13年4月9日	木津川市	京都府立山城郷土資料館寄託
16		大般若經	古文書	602巻	江戸時代	平成13年4月9日	木津川市	京都府立山城郷土資料館寄託
17		木造弁才天十五童子像	彫刻	1基	江戸時代	平成17年3月22日	(宗)玉臺寺	山城町椿井天敷堂37
18		木造地藏菩薩立像	彫刻	1軀	鎌倉時代	平成18年3月31日	(宗)泉橋寺	山城町上狛西下55
19		山城町の考古遺物	考古資料	10点	弥生～古墳時代	平成19年2月26日	木津川市	木津川市
20		木造阿弥陀如来坐像	彫刻	1軀	平安時代	平成26年3月31日	(宗)安福寺	木津宮ノ裏274
21	府 暫 定 登 録	紙本墨書岩船寺縁起	書籍・典籍	1巻	江戸時代	平成26年3月31日	(宗)岩船寺	加茂町岩船上ノ門43
22		木津浜絵馬	歴史資料	1面	文政11(1828)	平成26年3月31日	(宗)御霊神社	木津宮ノ裏285
23		紙本著色橋柱寺縁起	絵画	3巻	江戸時代	平成27年3月31日	(宗)大智寺	木津雲村42-1
24		紙本著色海住山寺縁起	絵画	2巻	江戸時代	平成27年3月31日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
25		鹿背山焼陶磁器資料	歴史資料	107件 249点	江戸～明治時代	平成29年3月24日	木津川市	木津川市
1		絹本著色地藏十王図 地藏菩薩像	絵画	1幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
2		絹本著色地藏十王図 秦広王像	絵画	1幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
3	府 暫 定 登 録	絹本著色地藏十王図 初江王像	絵画	1幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
4		絹本著色地藏十王図 宗帝王像	絵画	1幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
5		絹本著色地藏十王図 五官王像	絵画	1幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
6		絹本著色地藏十王図 閻魔王像	絵画	1幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
7		絹本著色地藏十王図 変成王像	絵画	1幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
8		絹本著色地藏十王図 泰山王像	絵画	1幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
9		絹本著色地藏十王図 平等王像	絵画	1幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
10		絹本著色地藏十王図 都市王像	絵画	1幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
11		絹本著色地藏十王図 五道輪王像	絵画	1幅	中国・元時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
12		板絵著色十一面観音来迎図	絵画	1幅	文明5(1473)年	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
13		板絵著色補陀落山浄土図	絵画	1幅	文明5(1473)年	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
14		絹本著色阿弥陀浄土図	絵画	1幅	鎌倉時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
15		紙本著色海住山寺縁起(市指定と重複)	絵画	1幅	江戸時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
16		絹本著色大威徳明王像	絵画	1幅	鎌倉時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
17		絹本著色十六羅漢図 その一	絵画	1幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
18		絹本著色十六羅漢図 その二	絵画	1幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
19		絹本著色十六羅漢図 その三	絵画	1幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
20		絹本著色十六羅漢図 その四	絵画	1幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
21		絹本著色十六羅漢図 その五	絵画	1幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
22		絹本著色十六羅漢図 その六	絵画	1幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
23		絹本著色十六羅漢図 その七	絵画	1幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20

24	絹本着色十六羅漢図 その八	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
25	絹本着色十六羅漢図 その九	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
26	絹本着色十六羅漢図 その十	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
27	絹本着色十六羅漢図 その十一	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
28	絹本着色十六羅漢図 その十二	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
29	絹本着色十六羅漢図 その十三	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
30	絹本着色十六羅漢図 その十四	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
31	絹本着色十六羅漢図 その十五	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
32	絹本着色十六羅漢図 その十六	絵画	1 幅	室町時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
33	絹本着色愛染明王像	絵画	1 幅	鎌倉時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
34	絹本着色釈迦如来像	絵画	1 幅	南北朝時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
35	絹本着色文殊菩薩像	絵画	1 幅	南北朝時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
36	絹本着色普賢菩薩像	絵画	1 幅	南北朝時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
37	絹本着色蓮華化生図	絵画	1 幅	鎌倉～南北朝時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
38	絹本着色弥勒菩薩像	絵画	1 幅	南北朝時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
39	瓦谷1号墳出土品	考古資料	鉄短甲一領、 鉄冑一頭	古墳時代	平成29年9月29日	(宗)現光寺	奈良国立博物館寄託
40	灰釉羊硯 樋ノ口遺跡出土	考古資料	一点	奈良時代	平成29年9月29日	木津川市	木津川市
41	海住山寺文書	古文書	一括	鎌倉時代～明治時代	平成29年9月29日	木津川市	木津川市
42	鹿背山区有文書	古文書	一括	江戸～昭和	平成29年12月27日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
43	観音寺区有文書	古文書	一括	江戸～昭和	平成29年12月27日	鹿背山区	鹿背山鹿曲田77
44	三十八神社棟札類	古文書	一括	永正5 (1508) 年～ 昭和60 (1985) 年	平成29年12月27日	観音寺区	加茂町観音寺中貝戸37垣添4の1
45	大般若経	書籍・典籍	599帖	平安～南北朝時代	平成29年12月27日	観音寺区	加茂町観音寺中貝戸37垣添4の1
46	般若心経 (千部心経)	書籍・典籍	98巻	鎌倉時代	平成30年3月23日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
47	紺紙金字般若心経	書籍・典籍	7 巻	鎌倉時代	平成30年3月23日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
48	般若心経 (五卷本)	書籍・典籍	5 巻	鎌倉時代	平成30年3月23日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
49	般若心経 (紙背消息本)	書籍・典籍	1 巻	鎌倉時代	平成30年3月23日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
50	鉄板 西山古墓出土	考古資料	2 点	奈良時代	平成30年3月23日	木津川市	木津川市
51	弥生土器 砂原山墳墓出土	考古資料	2 点	弥生時代	平成30年3月23日	木津川市	木津川市
52	甲冑形埴輪 瓦谷遺跡2号埴輪窯出土	考古資料	1 点	古墳時代	平成30年3月23日	木津川市	木津川市
53	三彩小壺 樋ノ口遺跡出土	考古資料	1 点	奈良時代	平成30年3月23日	木津川市	木津川市
54	変形四首鏡 瓦谷古墳第2主体部出土	考古資料	1 面	古墳時代	平成30年3月23日	木津川市	木津川市
55	六獻形鏡 内田山B 1号墳出土	考古資料	1 面	古墳時代	平成30年3月23日	木津川市	木津川市
56	紙本金地著色西王母献桃図・紙本金地著色明皇	絵画	1 双	桃山時代	令和2年3月27日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
57	紙本金地著色明皇撃梧桐図模	絵画	4 面	桃山時代	令和2年3月27日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
58	紙本墨画淡彩西湖図	絵画	4 面	桃山時代	令和2年3月27日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20

府 暫 定 登 録

● 建造物の部

No.	指定級	名 称	員 数	概 要	年 代 等	指 定 日	所有者・管理者	所 在 地
1	国 宝	浄瑠璃寺三重塔（九体寺三重塔）	1 基	三間三重塔 婆、檜皮葺	平安時代	昭和30年12月28日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小札場40
2		浄瑠璃寺本堂（九体寺本堂）	1 棟	一重、寄棟 造、本瓦葺	嘉承 2 (1107)	昭和30年12月28日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小札場40
3		海住山寺五重塔	1 基	三間五重塔 婆、本瓦葺	建保 2 (1214)	明治31年12月28日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
1	重 要 文 化 財	五輪塔	1 基	石造、総高 3.47m	正応 5 (1292)	昭和32年2月19日	木津川市	木津清水27
2		岩船寺三重塔 附隅木受飾束	1 基・1個	三間三重塔 婆、本瓦葺	嘉吉 2 (1442)	明治32年4月5日	(宗)岩船寺	加茂町岩船上ノ門43
3		海住山寺文殊堂	1 棟	一重、寄棟 造、銅板葺	鎌倉時代	明治34年3月27日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
4		相楽神社本殿	1 棟	三間社流造、 檜皮葺	室町時代	明治44年4月17日	(宗)相楽神社	相楽清水 1
5		松尾神社本殿 附拝所、棟札	1 棟	一間社春日 造、檜皮葺	文化 5 (1808)	大正2年4月14日	(宗)松尾神社	山城町椿井松尾41
6		御霊神社本殿	1 棟	三間社流造、 檜皮葺	室町時代	大正10年4月30日	(宗)御霊神社	加茂町兎並寺山41
7		神童寺本堂 附棟札、銘札、旧鬼瓦	1 棟	一重、寄棟 造、本瓦葺	応永13(1406)	大正12年3月28日	(宗)神童寺	山城町神童子不晴谷112
8		十三重塔	1 基	石造	永仁 6 (1298)	昭和12年7月29日	千日墓地管理組合	加茂町辻三田25番地の 1
9		岩船寺十三重塔	1 基	石造	鎌倉時代	昭和27年11月22日	(宗)岩船寺	加茂町岩船上ノ門43
10		岩船寺石室	1 棟	石造仏龕	応長 2 (1312)	昭和27年11月22日	(宗)岩船寺	加茂町岩船上ノ門43
11		石造岩船寺五輪塔	1 基	石造	鎌倉時代	昭和27年11月22日	(宗)岩船寺	加茂町岩船上ノ門43
12		白山神社本殿 附棟札	1 棟	一間社春日 造、檜皮葺	嘉吉 2 (1442)頃	昭和28年3月31日	(宗)白山神社	加茂町岩船上ノ門94
13		五輪塔	2 基	石造	鎌倉時代	昭和31年6月28日	木津川市	加茂町西小 長尾共同墓地
14		泉橋寺五輪塔	1 基	石造、高さ 2.36m	室町時代	昭和32年2月19日	(宗)泉橋寺	山城町上粕西下55
15		天神社十三重塔	1 基	石造	建治 3 (1277)	昭和32年2月19日	(宗)天神神社	山城町神童子不晴谷177
16		小林家住宅 附家之普請合力覚、古図	1 棟	切妻造、茅葺	寛文 5 (1665)	平成15年12月25日	個人	山城町上粕東林 1 番地 1
1	府 指 定	旧松原家住宅主屋	1 棟	平屋建、瓦葺	明治42 (1819)	平成31年3月29日	個人	山城町上粕学校 7
1		小林家住宅長屋門・土蔵	2 棟	切妻造、檜瓦 葺	享保 6 (1721)	平成4年4月14日	個人	山城町上粕東林 1 番地 1
2		不動川砂防施設	1 構	石積堰堤 8 基	明治時代	平成9年3月14日	国土交通省	山城町平尾
3		岡田鴨神社本殿・撰社天満宮本殿・末社金刀比 羅神社本殿	3 棟	一間社春日 造、檜皮葺	江戸時代	平成30年3月23日	(宗)岡田鴨神社	木津川市加茂町北鴨村44
4		天王神社本殿	1 棟	間社春日 造、銅板葺	江戸時代	平成30年3月23日	(宗)天王神社	木津川市木津清水1

1	天神神社本殿	1 棟	切妻造、銅板葺 拝：切妻造、 棧瓦葺 御：一間社春日造、檜皮葺 日造、四脚門、切妻造、本瓦葺	室町時代	昭和58年4月15日	(宗)天神神社	山城町神童子不晴谷177
2	松尾神社拜殿・境内社御霊神社本殿・表門	3 棟		拝：慶長12(1607) 御：江戸時代 門：元和3(1617)	昭和58年4月15日	(宗)松尾神社	山城町椿井松尾41
3	和伎座天乃夫岐壳神社本殿 附棟札	1 棟	三間社流造、銅板葺 一間社春日造、檜皮葺	元禄5(1692)	昭和58年4月15日	(宗)和伎座天乃夫岐壳神社	山城町平尾里屋敷54
4	相楽神社末社若宮神社本殿	1 棟	一間社春日造、檜皮葺	室町時代	昭和60年5月15日	(宗)相楽神社	相楽清水1
5	白山神社春日社本殿 附棟札	1 棟	造、檜皮葺 本：一間社春日造、檜皮葺	江戸時代	昭和62年4月15日	(宗)白山神社	加茂町岩船上ノ門94
6	岡田国神社本殿・拜殿・舞台・南北氏子詰所	6 棟	日造、檜皮葺 拝：一重、切妻造、本瓦葺 舞：方一間、切妻造、棧瓦葺 氏：一重、切妻造、棧瓦葺 本：入母屋造、本瓦葺 庫：入母屋造、棧瓦葺 鐘：一重、切妻造、本瓦葺 門：切妻造、本瓦葺	本：安永3(1774) 拝：元和6(1620) 舞：江戸時代 氏：明治時代	昭和63年4月15日	(宗)岡田国神社	木津大谷1
7	大智寺本堂・庫裏・鐘楼・表門	4 棟		本：寛文9(1669) 他：江戸時代	平成10年3月13日	(宗)大智寺	木津雲村42-1
8	春日神社本殿 附棟札	1 棟	一間社春日造、銅板葺	弘化2(1845)	平成18年3月17日	(宗)春日神社	加茂町銭司宮小谷36の4
1	涌出宮石灯籠	2 基	石造	南北朝時代	昭和49年6月1日	(宗)和伎座天乃夫岐壳神社	山城町平尾里屋敷54
2	神童寺護摩堂	1 棟	方三間方形造、本瓦葺	江戸時代	昭和58年4月1日	(宗)神童寺	山城町神童子不晴谷112
3	泉橋寺表門	1 棟	一間棟文切妻造、本瓦葺	元禄2(1689)	平成6年5月6日	(宗)泉橋寺	山城町上狛西下55
4	神童寺表門	1 棟	切妻造、本瓦葺	江戸時代	平成13年4月9日	(宗)神童寺	山城町神童子不晴谷112
5	和伎座天乃夫岐壳神社表門	1 棟	四脚門、切妻造、本瓦葺	室町時代	平成13年4月9日	(宗)和伎座天乃夫岐壳神社	山城町平尾里屋敷54
6	和伎座天乃夫岐壳神社拜殿	1 棟	切妻造、棧瓦葺	江戸時代	平成17年3月22日	(宗)和伎座天乃夫岐壳神社	山城町平尾里屋敷54

府 登 録

市 指 定

1	府	岡田国神社摂社恵美須神社本殿	1棟	二間社流見世 棚造、椀皮葺	江戸時代中期	平成29年9月29日	(宗)岡田国神社	木津大谷1
2	府	海住山寺本堂	1棟	一重、入母屋 造、本瓦葺	明治17 (1884)	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
3	府	海住山寺鐘楼	1棟	一重、切妻 造、本瓦葺	寛文3 (1663)	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
4	府	海住山寺春日社	1棟	一間社春日 造、椀瓦葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
5	府	海住山寺天満宮	1棟	一間社春日見 世棚造、椀瓦 葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
6	府	海住山寺稲荷社	1棟	一間社春日見 世棚造、椀瓦 葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
7	府	海住山寺中門	1棟	四脚門、切妻 造、本瓦葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
8	府	海住山寺山門	1棟	四脚門、切妻 造、本瓦葺	享保3 (1718)	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
9	府	国栖神社本殿	1棟	一間社春日 造、銅板葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗)国栖神社	加茂町辻下垣外21
10	府	恭仁神社本殿	1棟	一間社春日 造、椀皮葺	天保5 (1844)	平成29年9月29日	(宗)恭仁神社	加茂町西宮ノ東35
11	府	現光寺本堂	1棟	一重、入母屋 造、椀瓦葺	文化15 (1819)	平成29年9月29日	(宗)海住山寺	加茂町北山ノ上9
12	府	御霊神社本殿	1棟	一間社流造、 銅板葺	享保15 (1730)	平成29年9月29日	(宗)御霊神社	木津宮ノ裏285
13	府	西念寺本堂	1棟	一重、寄棟 造、椀瓦葺	宝永3 (1730)	平成29年9月29日	(宗)西念寺	鹿背山鹿曲田65
14	府	西念寺薬師堂	1棟	一重、寄棟 造、本瓦・椀 瓦葺	江戸時代初期	平成29年9月29日	(宗)西念寺	鹿背山鹿曲田65
15	府	西明寺本堂	1棟	一重、入母屋 造、本瓦葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗)西明寺	加茂町大野大野27
16	府	相楽神社山門	1棟	四脚門、切妻 造、本瓦葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗)相楽神社	相楽清水1
17	府	正覚寺本堂	1棟	一重、入母屋 造、本瓦葺	寛政10 (1798)	平成29年9月29日	(宗)正覚寺	木津町西垣外85
18	府	正覚寺観音堂	1棟	一重、入母屋 造、本瓦葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗)正覚寺	木津町西垣外85
19	府	浄瑠璃寺大日如来灌頂堂	1棟	一重、入母屋 造、椀瓦葺	慶安5 (1652)	平成29年9月29日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小礼場40
20	府	八幡宮本殿	1棟	二間社流造、 椀皮葺	江戸時代	平成29年9月29日	(宗)八幡宮	加茂町森陀羅尼田1

●無形民俗文化財の部

No.	指定級	名	員数	年代等	指定日	所有者・管理者	所在地
1	国指定	涌出宮の宮座行事			昭和61年1月14日	涌出宮宮座行事 保存会	山城町平尾・綺田
1	府指定	相楽の御田と正月行事			昭和59年4月14日	相楽神社宮座	相楽清水1

1	府 登 録	岩船のおかげ踊				昭和59年4月14日	岩船おかげ踊 保存会	加茂町岩船
2		西教寺六斎念仏				昭和60年5月15日	西教寺六斎念仏講	木津雲村3
3		上狛の精霊踊				昭和60年5月15日	しょうらい踊り 保存会	山城町上狛
4		仏生寺六斎念仏				昭和60年5月15日	仏生寺六斎念仏 保存会	加茂町仏生寺
5		銭司の獅子舞・田楽・相撲				昭和62年4月15日	銭司宮座行事 保存会	加茂町銭司
1	市指定	木津御輿太鼓祭				平成14年10月18日	木津御輿太鼓 運営委員会	木津・木津町

●有形民俗文化財の部

No.	指定級	名 称	員 数	年 代 等	指 定 日	所有者・管理者	所 在 地
1	府 登 録	泉川座人形浄瑠璃用具	118点	明治時代	平成3年4月19日	木津川市	木津川市
2		おかげ踊絵馬	1点	慶応4(1868)	平成12年4月17日	(宗)春日若宮社	加茂町里口薬井17
3		おかげ踊絵馬	1点	明治元(1868)	平成12年4月17日	(宗)白山神社	加茂町岩船上ノ門94
1	府 登 暫 定 録	木津の渡し船	1隻	明治時代	平成29年9月29日	木津川市	木津南垣外110番9
2		涌出宮の踊図絵馬	1点	江戸時代	平成29年9月29日	(宗)和伎座天乃 夫岐売神社	山城町平尾里屋敷54

●史跡名勝天然記念物の部

No.	指定級	名 称	種 別	員 数	年 代 等	指 定 日	所有者・管理者	所 在 地
1	国 指 定	浄瑠璃寺庭園	特別名勝	11,505.04㎡	平安時代	昭和60年1月18日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小礼場40
1		恭仁宮跡(山城国分寺跡)	史跡	266,298.39㎡	奈良時代	昭和32年7月1日 平成19年2月6日 平成20年7月28日 平成22年2月22日 平成27年3月10日 平成29年3月10日 平成30年2月13日 平成31年2月26日	木津川市他	加茂町例幣・河原・岡崎他
2		高麗寺跡	史跡	20,100.50㎡	飛鳥時代	昭和15年8月30日 平成22年2月22日	木津川市	山城町上狛
3		浄瑠璃寺庭園	史跡	11,505.04㎡	平安時代	昭和40年11月12日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小礼場40
4		奈良山瓦窯跡	史跡	39,918.41㎡	奈良時代	平成22年8月5日 平成28年3月1日	木津川市・奈良市 市坂・相楽台・州見台・梅美台・ 城山台・奈良市中山町・奈良市歌姫 町	市坂・相楽台・州見台・梅美台・ 城山台・奈良市中山町・奈良市歌姫 町
5		石のカラト古墳	史跡	4,925㎡	奈良時代	平成8年7月16日	木津川市・奈良市	兜台2・奈良市神功1
6		椿井大塚山古墳	史跡	15,715.89㎡	古墳時代	平成12年9月6日	木津川市他	山城町椿井
7	府 指 定	神雄寺跡	史跡	399,918.41㎡	奈良時代	平成27年3月10日 平成29年2月9日	木津川市	城山台13丁目4番地他
1		銭司遺跡	史跡	418㎡	奈良時代	昭和59年4月14日	個人	加茂町銭司金鑄山23-1
2	府 指 定	当尾の豊岡柿	天然記念物		明治時代	平成2年4月17日		加茂町大畑柘榴谷

1	市 指 定	上泊環濠集落 (環濠・大井戸・郷井戸)	史跡		室町時代	昭和49年6月1日	山城町上泊良町・巽町・埤町・乾町
2		稻荷山	史跡		室町時代	昭和49年6月1日	山城町北河原北谷
3		鷲ヶ城跡	史跡		室町時代	昭和49年6月1日	山城町神童子横峰
4		弁天山	名勝		室町時代	昭和49年6月1日	山城町椿井天敷堂
5		泉橋寺境内	史跡	976㎡	奈良時代	平成11年5月11日	山城町上泊西下54・55-1・55-2
1	府 登 暫 定	岩船寺境内	史跡・名勝		室町時代	平成29年12月27日	加茂町岩船上ノ門43番
2		神童寺境内	史跡		室町時代	平成29年12月27日	山城町神童寺不晴谷112番

●環境保全地域・地区の部

No.	指定級	名 称	員 数	年 代 等	指 定 日	所有者・管理者	所 在 地
1	府 決 定	京都府歴史的的自然環境保全地域 (当尾)	196,800㎡		昭和60年12月20日		加茂町西小・岩船
1		天神神社文化財環境保全地区			昭和58年4月15日	(宗)天神神社	山城町神童子不晴谷177
2		松尾神社文化財環境保全地区			昭和58年4月15日	(宗)松尾神社	山城町椿井松尾41
3		和伎座天乃夫岐壳神社文化財環境保全地区			昭和58年4月15日	(宗)和伎座天乃夫岐壳神社	山城町平尾里屋敷54
4		相楽神社文化財環境保全地区			昭和60年5月15日	(宗)相楽神社	相楽清水42番 1
5		当尾磨崖仏文化財環境保全地区			昭和60年5月15日	岩船区	加茂町岩船
6		白山神社文化財環境保全地区			昭和62年4月15日	(宗)白山神社	加茂町岩船上ノ門94
7		岡田国神社文化財環境保全地区			昭和63年4月15日	(宗)岡田国神社	木津大谷105番
8		八幡宮文化財環境保全地区			昭和63年4月15日	(宗)八幡宮	加茂町森・高去

●文化財件数
国指定文化財

国 宝 ・ 重 要 有 形 文 化 財												重要民俗文化財				史跡名勝天然記念物				計
美 術						工 芸 品			建 造 物			無 形 有 形		史 跡 名 勝		天 然 記 念 物				
絵 画	彫 刻	工 芸 品	書 籍 典 籍	古 文 書	考 古 資 料	歴 史 資 料														
3	26(3)	1	1	1																

※上段が国指定文化財、下段が国登録文化財である。()内は重要文化財内の国宝数及び史跡名勝天然記念物内の特別指定数である。
※史跡数には2府県にわたるもの2件を含む。

府指定・登録文化財

有 形 文 化 財												民俗文化財				史跡名勝天然記念物				計	
美 術						工 芸 品			建 造 物			無 形		有 形		史 跡		名 勝			天 然 記 念 物
絵 画	彫 刻	工 芸 品	書 籍 典 籍	古 文 書	考 古 資 料	歴 史 資 料															
2	5	2		1	1	1						4		1		1				1	
1	3	1										8		5		3					
41			5	4	8							20				2		1		1	

※上段が指定文化財数、中段が登録文化財数、下段が暫定登録文化財数である。

市指定文化財

有 形 文 化 財												民俗文化財				史跡名勝天然記念物				計		
美 術						工 芸 品			建 造 物			無 形		有 形		史 跡		名 勝			天 然 記 念 物	
絵 画	彫 刻		工芸品	書籍典籍	古文書	考古資料	歴史資料	建造物														
5	10			1	3	3	3	6										4		1		
																						37

木津川市立木津幼稚園



木津幼稚園園歌

作詞 K T S (木津幼稚園職員)
作曲 尾上昭典

一、お庭に咲いてる きれいな花も
ランランみんな おともだち
げんきな笑顔で あそびましょう
たのしいたのしい 木津幼稚園

二、お空でうたう かわいい小鳥
ランランみんな おともだち
大きな声で 歌いましょう
たのしいたのしい 木津幼稚園

三、赤いほっぺの きみとぼく
ランランみんな おともだち
きょうも仲良く 手をつなごう
たのしいたのしい 木津幼稚園

郵便番号 6 1 9 - 0 2 1 4
所 在 地 京都府木津川市木津田中前 3 0 番地
電 話 (0 7 7 4) 7 2 - 0 1 0 1
F A X (0 7 7 4) 7 2 - 0 8 0 0
E m a i l kizu-yo@city.kizugawa.lg.jp

1. 園の沿革

- 昭32. 3. 12 園舎落成
4. 8 木津小学校附属幼稚園として発足。初代園長 竹田正司（小学校兼務）
33. 「幼児の健康教育について」研究発表会開催
39. 「視聴覚経験を生かした効果的な保育について」研究発表会開催
40. 1. 23 放送教育研究発表会開催
41. 3. 17 昭和40年度学校安全努力園として表彰を受ける
42. 4. 4 創立10周年記念挙行
11. 25 完全給食実施
44. 園舎増築工事地鎮祭
4. 1 二年保育実施
5. 30 園舎増築完成
46. 「社会領域におけるの各年令ごとの重点的な指導のねらいと内容について」
京都府教育委員会指定研究発表（第一年次）
49. 11. 1 「豊かな心情をめざし生き生きとしたことばを育てる指導」
京都府教育委員会指定研究発表（第二年次）
50. 10. 23 「豊かな心情をめざし生き生きとしたことばを育てる
一発展的な遊びの経過を通して一」第2年次研究発表会開催
51. 11. 20 関西幼稚園連合会教育研究大会で研究発表（同上テーマについて）
52. 3. 1 創立20周年記念式及び記念行事生活発表会挙行。園歌作成。
4. 12 園舎増築工事（プレハブ教室2教室及び倉庫）及び旧倉庫撤去工事完成
6. 1 三地区（鹿背山、梅谷、市坂）の園児送迎の通園バス運行実施
9. 18 創立20周年記念バザーとよい子のまつり開催
53. 3. 園舎一部改造（給食準備室、資料室）
4. 完全給食再実施
54. 9. 水洗便所増設
55. 5. 10 小プール設置（中嶋哲太郎氏寄贈）
57. 4. 1 専任園長制となる
9. 22 新園舎起工式
58. 2. 28 新園舎工事完成
3. 2 新園舎へ移転
3. 9 園舎竣工感謝のつどい
3. 30 プール工事完成
59. 11. 1 山城地方公立幼稚園教育研究会指定研究発表会
「心を動かす子どもをもとめて」一こどもの思いを正しく理解し育てるためには一
61. 11. 12 創立30周年記念式挙行 30年のあゆみ刊行 園歌入り額作成
62. 5. 19 「なかよし号」新規購入・運行
- 平元. 4. 1 園名 木津幼稚園と変更
11. 30 平成元年度歯科指導努力園として表彰を受ける
3. 10. 23 山城地方公立幼稚園教育研究会指定研究発表会
「一人一人が自己充実し感性を豊かにするには」
6. 4. 園児送迎の通園バス町運営となる
8. 11. 24 創立40周年記念式典挙行 40年のあゆみ刊行

- 10. 8. 4 平成10年度幼稚園教育課程京都府研究大会発表
- 11. 4. 1 3年保育実施（1学級20名）
- 13. 4. 1 文部科学省調査研究委託 木津町教育委員会研究指定（13・14年度）
幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究事業指定（2年間）
- 14. 4. 1 幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究事業指定（2年間）
- 15. 2. 21 文部科学省委託「幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究」
発表会「豊かな心のはぐくみをめざして」ーやさしく・たくましく・いきいきとー
- 15. 11. 7 第53回全国学校保健研究大会 課題別研究協議会発表（青森大会）
「幼稚園における心の健康づくりをめざす教育活動について」
- 16. 8 園舎増築（2教室）
- 17. 7. 30 第52回全国国公立幼稚園教育研究協議会（埼玉大会）
ポスターセッション展示発表
「豊かな心のはぐくみをめざして」
- 18. 7 園児用トイレ改修工事
- 18. 10. 15 創立50周年記念式挙行 50年のあゆみ刊行
50周年記念植樹「きんもくせい」
- 19. 3. 12 木津川市誕生により木津川市立木津幼稚園と改称
- 21. 1. 26 平成20年度山城地方学校安全研究協議会実践発表
「幼児が安全で伸びやかに活動できる環境や援助とは」
- 23. 8. 26 平成23年度幼稚園教育課程理解推進事業京都府研究大会発表
- 26. 10. 23 平成26年度全国国公立幼稚園長会特別事業近畿ブロック研修会発表
- 28. 12. 10 創立60周年記念行事挙行
- 30. 11. 7 京都府公立幼稚園こども園教育研究会指定研究発表
「心豊かに育ち合う子どもの育成～身近な人とのつながりを通して～」
- 令元. 11. 16 第121回 関西幼稚園・こども園連合会教育研究大会 京都大会発表

2. 教育

（1）幼稚園教育目標

やさしさ・豊かさ・たくましさをもった子どもの育成

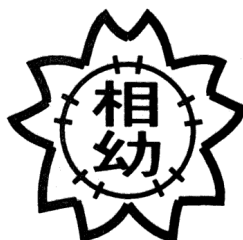
（2）本園のめざす幼児像

- ・心も身体も健康な子
- ・互いの良さを認め合える子
- ・夢中になって遊べる子
- ・やさしさ、思いやりのある子

（3）教育方針

- ・身近な環境に興味関心をもち、自己を発揮しながら主体的に行動する力をはぐくむ。
- ・身近な人とかかわりを通して、互いの良さや違いを認め合い、信頼や思いやりの気持ちををはぐくむ。
- ・友達と一緒に工夫したり、協力したりする経験の積み重ねを大切にし、満足感や達成感をはぐくむ。
- ・経験したことや考えたことを自分なりに表現したり、絵本に親しんだりする中で、豊かな感性や表現力を養う。
- ・小学校教育への円滑な接続に向けて、子どもの学びや生活の連続性を踏まえた連携を図る。

木津川市立相楽幼稚園



相楽幼稚園園歌

作詞 吉岡 守
作曲 吉中 俊道

一、おそらにおひさまぽつかぽか
おはなもゆれてるにっこにこ
みんななかよしたたのしいな
さがなかさがなかようちえん

二、おにわにぶらんこぎっこぎこ
すーべりだいたすなやまだ
みんなげんきなこたのしいな
さがなかさがなかようちえん

三、おへやにせんせいおともだち
おはなしおゆうぎターランラン
みんなかんがえるたのしいな
さがなかさがなかようちえん

郵便番号	619-0222
所在地	京都府木津川市相楽清水1番地
電話	(0774) 72-1822
FAX	(0774) 72-0666
E mail	saga-yo@city.kizugawa.lg.jp

1. 園の沿革

- 昭52. 4. 15 相楽小学校附属幼稚園として開園
- 53. 4. 25 完全給食実施
- 54. 4. 5 園舎増築（プレハブ1教室）
- 8. 23 京都府教育課程研究発表
「幼児に自発的・自主的な活動を促すためには、どのように環境を構成し、どのような指導上の配慮や工夫が必要か。」
- 57. 2. 27 園舎新築完成
- 4. 1 専任園長制となる
- 11. 5 第30回京都府美術教育研究大会
「自分の目と心と頭と手を通してつくるよろこびを、ゆたかな創造性とたしかな表現をめざして」
- 62. 1. 26 山城地方学校安全研究協議会提案
「幼児の安全能力を育てる－自分で判断し機敏に行動できる子をめざして－」
- 2. 25 創立10周年記念式挙行
- 3. 1 高の原地区の園児送迎の通園バス運行
- 11. 11 山城地方公立幼稚園教育研究会指定園研究発表
「環境を生かし精一杯とりくむ子どもを育てよう」
- 平元. 3. 31 高の原幼稚園開園のため通園バス運行中止
- 4. 1 園名 木津町立相楽幼稚園と変更
- 6. 4. 1 吐師・木津川台地区の園児送迎の通園バス運行
- 7. 5 京都府公立幼稚園PTA連絡協議会・山城地方公立幼稚園PTA連絡協議会、総会並びに研修会開催
- 9. 2. 1 創立20周年記念式挙行
- 4. 1 3年保育試行実施（1学級20名）
- 10. 4. 1 3年保育試行2年目実施（1学級20名）
- 11. 4. 1 3年保育実施（1学級20名）
- 13. 4. 1 歯・口の健康づくり推進事業指定（3年間）
- 15. 10. 23 歯・口の健康づくり推進事業指定研究発表会（公開保育・実践発表）
- 16. 4. 1 幼稚園評議員制度実施（2名に委嘱）
- 11. 12 全国学校歯科保健研究大会 幼稚園・保育園部会で実践報告
「しなやかな心と体の健康をはぐくむ」
- 18. 12. 5 創立30周年記念式挙行
- 19. 3. 12 木津川市誕生により木津川市立相楽幼稚園と改称
- 20. 10. 29 平成19・20年度京都府公立幼稚園教育研究会研究指定園、研究発表
「自分が好き 友達が好き 幼稚園が好き」
- 26. 10. 23 全国公立幼稚園長会特別事業近畿ブロック研修会発表
- 27. 1. 26 山城地方学校安全研究協議会実践発表
- 29. 1. 10 創立40周年記念式典挙行

2. 教育

「やさしさ」と「豊かさ」そして「たくましさ」をもった子どもの育成をめざし、友だちとともに生活する楽しさを味わわせながら、人格形成の基礎を培う。

(2) めざす幼児像

さわやかなあいさつをする子

がんばりぬく子

なかよくできる子

かんがえる子

のびのびと行動できる子

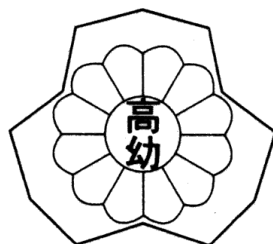
こころもからだも丈夫な子

(3) 基本方針(指導の重点)

◆幼児期の特性を踏まえ、遊びを通して総合的な指導を進める。

- ・基本的な生活習慣や態度を育て、しなやかな心と体を育てる。
- ・多様な体験や遊びを通して、自らやろうとする意欲や豊かな心情など生きる力の基礎を培う。
- ・自然体験や動植物との触れ合いを通して命の大切さや道徳性の芽生えを培う。
- ・人とかかわりに重点をおき、幼児期における人権感覚や人権意識の芽生えに努める。
- ・「聞く」「話す」「伝え合う」ことの喜びを味わえるような体験を充実し、コミュニケーション能力の育成に努める。
- ・家庭や地域との連携を密にし、信頼関係を深める。
- ・小学校への円滑な接続に向けた保幼小連携教育の推進を図る。

木津川市立高の原幼稚園



高の原幼稚園園歌

作詞 丹田長史
作曲 森本陽三郎

一、さんさんおひさま あかるいこ

うたうのだいすき おはなしだいすき

いいな いいな おともだち

えがおがいっぱい たかのはらようちえん

二、みどりのそよかぜ やさしいこ

おはなもだいすき ことりもだいすき

いいな いいな おともだち

えがおがいっぱい たかのはらようちえん

三、あおぞらひろびろ げんきなこ

かけっこだいすき あそぶのだいすき

いいな いいな おともだち

えがおがいっぱい たかのはらようちえん

郵便番号 619-0224
所在地 京都府木津川市兜台4丁目4番地2
電話 (0774) 72-6658
FAX (0774) 72-6647
Eメール taka-yo@city.kizugawa.lg.jp

1. 園の沿革

- 平成 1. 4. 1 木津町立高の原幼稚園設置
平成 1. 4. 12 開園式
第 1 回入園式挙行（園児数 192 名）
平成 3. 7. 園舎増築（4 学級増）
平成 5. 6. 30 木津町立高の原幼稚園 P T A 発足
平成 6. 4. 6 相楽台地区の園児送迎の通園バス運行
平成 8. 11. 1 平成 7・8 年度 京都府公立幼稚園教育研究会研究指定園
[研究発表会]
研究課題「幼児が自ら環境に関わって、充実した生活を展開していくためには、環境をどのように構成すればよいか」
平成 9. 7. 4 園歌発表会
平成 11. 2. 23 10 周年記念式典挙行
平成 11. 4. 1 3 年保育実施（2 学級 40 名）
平成 13. 1. 29 山城地方学校安全研究協議会提案発表
平成 13. 4. 1 「幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究」
事業指定（13 年度・14 年度）
平成 15. 2. 21 文部科学省委託
「幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究」
事業指定園研究発表会
平成 19. 3. 12 木津川市誕生により木津川市立高の原幼稚園と改称
平成 20. 11. 28 20 周年記念式典挙行
平成 26. 10. 23 平成 26 年度全国国公立幼稚園長会特別事業近畿ブロック研修会発表
平成 30. 7. 21 創立 30 周年記念事業
平成 31. 1. 10 創立 30 周年記念式典

2. 教 育

（1）教育目標

やさしさ、豊かさ、たくましさをもった子どもを育成する。（からだ・あたま・こころづくり）

（2）めざす幼児像

たくましいところとからだの子

かんがえる子

のびのび表現できる子

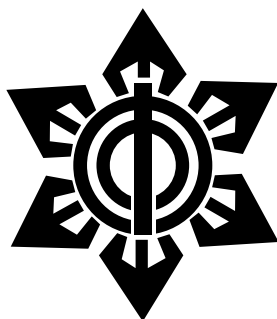
はきはきあいさつする子

らんらん仲良くできる子

（3）基本方針（指導の重点）

- （1）様々な遊びや体験を通して、環境や自然に主体的にかかわろうとする意欲や態度を培い、自然・人・社会とつながる喜びを味わえるような遊びの充実を図る。
- （2）温かな心や感性をはぐくみ、やさしさ・おもいやり・たくましさを合わせもった豊かで人間性あふれる子どもの育成を図る。
- （3）「聞く」「話す」「伝え合う」ことの喜びを味わえるような体験を充実させる。
- （4）いきいきとした感動を体験し、思ったことや感じたことを表現したり、絵本や物語に親しみ、豊かな感性や表現する力を養い、想像力を豊かにする。
- （5）発達や学びの連続性を見通して、小学校と円滑な接続を図る。

木津川市立木津小学校



木津小学校校歌

作詞・作曲 桜井武雄

一

歴史にかおる 山城の
ぼくたち 木津の小学生
大地をふんで 胸はって
明るく強く 育ちます
木津 木津 木津
木津小学校

二

木津川鹿背山 友として
わたしら 木津の小学生
朝夕かよう この道に
木津小学校 待ってます
木津 木津 木津
木津小学校

三

平和の鐘の 鳴りひびく
木津の子どもは 日本の子
仲よく笑って 手をつなぎ
元気に今日も 学びます
木津 木津 木津
木津小学校

郵便番号	619-0217
所在地	京都府木津川市木津町内垣外95
電話	(0774) 72-0038
FAX	(0774) 72-3852
E-mail	kizu-es@kizu.ed.jp
HP URL	http://www.kizu.ed.jp/kizu-es

1. 沿革

明治 5 木津小学校として創立

15 木津尋常小学校と改称

28 鹿背山及び梅谷分教場設置

34 高等科を併置し木津尋常高等小学校と改称

大正 11 講堂新築

昭和 9 木造 2 階建本館落成

16 木津国民学校と改称

22 木津小学校と改称、両分教場を鹿背山・梅谷分校と改称

23 学校給食開始

29 創立 80 周年記念式典挙行

32 木津小学校附属幼稚園開園 鉄筋南校舎落成式

33 第 7 回保健体育優良校として表彰される

障害児学級開設

36 全日本健康優良学校府代表として表彰される

39 学校給食優良校として文部大臣表彰

40 健康教育及び理科教育により学研教育賞を受ける

42 府道徳研究発表会開催

43 文部省指定道徳教育研究発表会開催

44 トランペット鼓隊、万国博エキスポランドに特別出演

48 創立 100 周年記念式典挙行

52 道徳教育研究発表会開催（文部省）

本館増改築により鉄筋 3 階校舎竣工

53 京都府学校安全優良校として表彰される

学校安全優良校として文部大臣表彰を受ける

日本 P T A 全国協議会長賞受賞

54 金銭教育研究校の委嘱を受ける（～55 年）

優良「子ども銀行」として大蔵大臣及び日本銀行総裁表彰

健康安全教育研究発表会開催（府教育委員会委嘱）

東校舎新築

56 体育館及び屋上プール竣工

57 優良 P T A として文部大臣表彰を受ける

59 みどりの広場（中庭）造園完成

62 交通安全優良校として府交通安全協会より表彰される

府教育委員会より小学校教育実践推進校（図工）の指定を受ける

63 国体なぎなた競技開会式にマーチングバンド、カラーガーズ等出場

- 平成元 梅谷分校休校
- 2 府社会福祉協議会より社会福祉協力校の指定を受ける（～4年）
 - 4 府小学校教育研究会生活科研究大会開催
 - 6 全国都市緑化京都フェアオープニングパレードに金管バンド出場
 - 7 京都小学校金管バンドフェスティバルに参加
梅谷分校閉校式並びに記念碑除幕式
金銭教育研究校の指定を受ける（～9年）
中国天津市より友好使節団来校
 - 8 本館2階にコンピュータ室開設、児童用コンピュータ20台設置
相楽郡通級指導教室開設
 - 9 ひまわり学級2学級に増設
 - 10 府教育委員会指定「教育実践パイロット校（情報教育）」研究発表会開催
校門改装
 - 11 よい歯の表彰を受ける
 - 13 21世紀記念航空写真撮影
 - 15 国際理解教育学校公開実施
 - 16 校区安全対策協議会（ネットワーク）発足
 - 17 町指定国際理解教育（英語活動）学校公開実施
 - 18 文部科学省より「人権教育総合推進地域事業」の指定を受ける
木津川市誕生に伴い木津川市立木津小学校と改称する（19. 3. 12）
 - 19 「人権教育総合推進地域事業」・「心の教育実践研究校」中間報告会開催
 - 20 人権教育総合推進地域事業「人権教育研究大会」開催
 - 21 文部科学省指定「道德教育実践研究事業」推進校
木津川市教育委員会指定「道德教育研究推進校」中間発表会開催
南校舎耐震工事完了
 - 22 文部科学省指定「道德教育実践研究事業」
木津川市教育委員会指定「道德教育研究推進校」研究発表会開催
 - 23 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
相楽地方通級指導教室西部分室開設
 - 24 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
京都府教育委員会「京の未来創造校」指定校
 - 25 京都府教育委員会「京の未来創造校」指定校
木津川市 ICT 機器研究指定校
 - 26 城山台小学校開校に伴い、鹿背山分校閉校
市教育委員会指定「教育実践推進校」公開授業実施
 - 28 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
 - 29 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
 - 30 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
- 令和元 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
- 令和2 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校

2. 教育

(1) 教育目標

「たくましく心豊かに生きぬく児童の育成」

(2) 目指す児童像

- よくかんがえる子
- なかよくする子
- たくましい子

(3) 本年度最重点課題

- ◎ 学級の安定並びに主体的な学習習慣の形成と各教科の特質に応じた言語活動の充実及び質の高い学力の定着と向上

(4) 学校経営方針（中期経営目標）

- 京都府教育振興プランの三つのはぐくみたい力と本校のめざす児童像との関係を「展望する力」＝「よく考える子」、「つながる力」＝「なかよくする子」、「挑戦する力」＝「たくましい子」とする。具体的には、木津川市教育振興基本計画にある「共に『学び』『喜び』『成長し』未来を生きる子ども」を育むことを念頭に、常に夢や希望を持ち、自分や他者を大切にし、どんな困難な状況にあっても、共に粘り強く対処し、未来を切り拓いていくことのできる「生きる力」にあふれた“木津小っ子(きっづ)”を育成する。
- 新しい学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動を展開する。
- 児童の学力及び生活の実態を踏まえ、学級の安定化を図るとともに、指導方法の工夫改善（主体的・対話的で深い学び）により基礎学力の確実な定着及び向上と活用力の伸長を図る。
- 教職員の資質・能力の向上のために、「教師力」（学級経営力・授業力・生徒指導力等）の育成を目指した組織的な取組を推進する。特に、教員に必要な5つの力である「気づく力」「伸ばす力」「展望する力」「つながる力」「挑戦する力」をそれぞれのキャリアステージに応じて、その資質や能力を発揮できるよう努める。
- ユニバーサルデザインによる教育をさらに推し進めることにより、学習規律及び生活規律を確立する。
- 学校だよりやHPによる情報発信及び学校地域支援本部事業との連携することにより、保護者・地域社会との一層の連携を強め、期待に応える学校づくりを目指す。
 - ア 未来を切り拓く教育の推進（展望する力）
 - イ 社会の一員としての自覚を促す教育の推進（つながる力）
 - ウ 健康でたくましく生きる力を育成する教育の推進（挑戦する力）
 - エ 教師力の向上と協働体制の確立
 - オ 家庭・地域社会との連携強化

(5) 学校経営の重点

- 教職員が一体となった取組の展開による質の高い学力の向上
 - ア 学習状況の的確な把握と指導方法の工夫改善を行う。
 - ・ 学力診断テスト（国・府）、市学力統一テスト等により、児童の学力実態を把握・分析するとともに、明確化された課題の確実な定着のための指導の徹底を図る。
 - ・ 日常の授業において、児童の実態に即した創意工夫ある授業を展開する。特に、「木津川市授業スタンダード」や「やましろ授業スタンダード」を授業のベースに据えるとともに、主体的・対話的で深い学びを目指した授業を創造する。
 - ・ 全ての教科・領域等において、特質に応じた「言語活動」を展開した取組を進める。
 - イ 特別な支援を必要とする児童への支援方策を明らかにし、個に応じたきめ細かな指導を行う。
 - ウ 「きっづをはぐくむ家庭の力」を基に、家庭との連携を大切にし、発達段階に応じた学習習慣の確実な定着を図る。
- 道徳教育、生徒指導を中心とした心の教育の充実
 - ア 児童と教職員の信頼関係づくりに努める。
 - イ 仲良く助け合い、支え合い、高まることの素晴らしさや楽しさを体験させ、互いの良さを認め合う児童相互の人間関係づくりに努める。
 - ウ 発達段階に即した計画的な人権教育の推進に努める。
 - エ 人権意識の涵養を図り、児童間の好ましい人間関係を築くことにより、いじめ等の人権問題の未然防止に努める。
 - オ 特別な教科「道徳科」の趣旨である「考え、議論する道徳」を踏まえた授業を展開する。道徳の時間では、効果的な資料の活用や体験活動を通し、児童の心に響く授業を展開することにより、道徳的な心情、道徳的判断力、実践意欲と態度を養い、道徳的实践力の醸成に努める。
 - カ 休み時間等も活用し、読書量を増やすとともに、L読書の取組を進め、読書習慣を定着させる。

○健康で安全に生きぬく実践力の育成

- ア 健康な体づくりに意欲を持たせ、体育的行事やクラブ活動、地域の大会などへの積極的に参加する児童の育成に努める。また、日常の遊び等を通して、運動能力を育成する。
- イ 豊かな運動体験や望ましい食習慣の形成など体力づくりの工夫に努める。
- ウ 日常的、系統的な保健教育と保健管理を徹底し、自ら健康的な生活を営むべく望ましい行動への変容を図る。
- エ 自ら安全な行動がとれる能力と態度の育成のための取組を推進する。
- オ 児童の目線に立った校舎・遊具等施設の安全確保のための日常的な点検と安全指導を実施する。
- カ 教職員の危機管理意識の向上を図り、危機管理マニュアルに基づき、日頃から適切な対応ができるように努める。

○一人一人の個性を伸ばし、社会の形成者としての資質をはぐくむ教育の推進

- ア 発達障害を含め、障がいのある児童個々の教育的ニーズに応じた適切な教育課程を編成し実施するとともに、適切な支援を行う。
- イ ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を行い、誰にでもわかりやすく、安心して参加できる教育環境をつくる。
- ウ 人間としての生き方にかかわる指導を基盤として、児童の目的意識を高め、望ましい職業観・勤労観を身に付けさせるため、働くことの体験や様々な仕事の見学など発達段階に即した体験活動を展開する。

○社会変化に対応し、未来を確かに生きぬく力をはぐくむ教育の推進

- ア 教職員の情報活用能力を高め、魅力ある授業づくりや授業改善を行う。
- イ 教育活動全体を通じて、環境教育を計画的、組織的に進める。
- ウ 各教科、領域等における国際理解に関わる指導内容を踏まえ、組織的・計画的な実践を行う。

○魅力ある・信頼される学校づくり

- ア 不断の研鑽と組織的な教育実践により、学校としての「教師力」（学級経営力・授業力・生徒指導力等）の育成を目指した組織的な取組を推進する。
- イ 学校教育目標の実現に向け、設定した自己目標の具現化を図る。
- ウ 計画的な教育実践に努める。
- エ 学校だよりやHPによる情報発信を積極的に行い、保護者・地域社会との一層の連携を強める。

○地域の力を活かして子どもをはぐくむ教育の推進

- ア 家庭及び地域に開かれた学校を目指し、地域の人材・施設・環境を生かした特色ある学校づくりを推進する。
- イ 地域学校協働活動推進事業を積極的に推進するとともに、地域人材や施設の積極的な活用を図る。

○地域を学び、郷土を大切にする心をはぐくむ教育の推進

- ア 各教科・領域等で、地域学習を年間計画に位置付け、郷土の自然、伝統、文化について学習を進める。
- イ 近隣の学校や幼稚園、保育園との協力・連携を図り、地域に根ざした学校づくりを推進する。

(6) 本年度重点研究

テーマ

「考え、練り合い、高め合う『学びの力』の育成」

～ICT等を活用した話し合い活動の充実による「主体的・対話的で深い学び」の実現～

【研究教科・領域】生活科 理科

木津川市立相楽小学校



相楽小学校校歌

作詞 嶋 原 一 穂
作曲 前 田 卓 央

一
晴れた空から 小鳥の歌だ
歌に合わせて 跳ねて踊れば
相楽校は 花咲く園だよ
ああ 明るい

二
雪に嵐に 鍛えて練って
強い身体で 勉め学ぶよ
相楽の子は 伸び行く若木よ
ああ 楽しい

三
胸に太陽 しっかりと抱いて
歩む足並 とりあう手から
相楽の子に ひらける未来だ
ああ 明るい

郵便番号 619-0222
所在地 京都府木津川市相楽清水1番地
電 話 (0774) 72-0221
FAX (0774) 72-0280
E-mail saganaka-es@kizu.ed.jp

1. 沿革

- 明治 6 初めて校舎を相楽郡吐師村小字郷和田に設立
- 9 大字里に相楽校を開校
- 22 町村制度の実施に伴い従来の吐師校を廃止して相楽校に合併する
相楽尋常小学校と改称
- 29 校舎改築竣工 現在地（小字清水 1）に移転
- 昭和 4 中校舎竣工
- 12 講堂新築
- 16 相楽国民学校と改称
- 22 相楽村立相楽小学校と改称
- 26 町村合併により木津町立相楽小学校と改称
- 33 新校舎改築竣工（鉄筋二階建、木造二階建、南校舎移転）
- 34 歯科治療器設置
- 35 プール竣工、完全給食開始（A 型）
- 42 交通安全優良校受賞（府交協）、第 12 回学研教育賞受賞、優良児童会受賞（消防庁長官）
- 43 歯の健康について研究発表（全学歯大会）、優良育友会受賞（府 P 連）
- 44 5 年連続よい歯の学校表彰受ける（日学歯会）
歯の健康について研究発表（全学歯大会）
- 45 優良育友会受賞（文部大臣）、講堂移転、体育倉庫新築、全国特選健康優良校受賞
- 46 奥村賞受賞
- 47 第 2 回京都府小学校図書館教育研究大会開催
- 48 文化財愛護図画習字コンクールで学校賞受賞（山城文化財愛護協議会）
創立百周年記念祝賀式挙行（記念碑設立、記念植樹八重桜 20 本）
- 49 10 年連続よい歯の学校受賞、第 38 回全国学校歯科保健大会開催
全国花いっぱいコンクール優良賞受賞
- 50 昭和 50・51 年度道德教育共同推進校指定（文部省）
- 51 校地を拡張し南校舎竣工（鉄筋二階建、普通教室 5・特別教室 3）
学校保健講習会で研究発表、家庭科研究発表大会開催（府小教研）
- 52 道德教育研究発表大会開催（文部省・京都府）、台北市教育視察団学校訪問
- 53 本館（北校舎）と南校舎間に中校舎竣工（鉄筋三階建、普通教室 10、特別教室 5）
障害児学級（2 学級）開設、体育館完成
- 56 プール竣工（6 コース・低学年用プール）
- 60 北校舎木造 4 教室改築 59 年 7 月着工、2 月完成
- 61 正面拡張改修 61 年 8 月 25 日完成 社会福祉協力校（福祉教育実践校）
- 62 子ども銀行、日銀総裁大蔵大臣賞受賞、保健室改修 社会福祉協力校 2 年次（福祉教育実践校）
- 63 社会福祉協力校 3 年次（福祉教育実践校）、用務員室・教職員更衣室改修
- 平成元 北校舎改修及び改築 ふるさと交流学習促進事業 1 年次（文部省委嘱）
図書館教育研究大会（府小教研）
- 2 ふるさと交流学習促進事業 2 年次（文部省委嘱）第 7 回京都府歯科保健文化賞受賞
- 3 よい歯の表彰及び動物愛護賞受 3・4 年度心身障害児理解推進校指定
- 4 文部省指定「心身障害児理解推進校研究発表会」、観察池・放送設備全面改修
交通安全運動及びよい歯の表彰受ける

- 5 よい歯の表彰受賞、心身障害児理解推進校視察来校多数、心身障害児理解推進校の取組について文部省より感謝状を受ける
ふるさと交流学習として、6年修学旅行で丹後町間人小学校訪問開始
南山城養護学校との交流教育継続
- 6 学校文化芸術祭・小中学校音楽フェスティバル出演（住友ホール）よい歯の表彰受賞
南山城養護学校との交流教育継続
- 7 プール浄化装置改修、塗装（全面塗装）運動場全面改修（総合遊具設置）
南山城養護学校との交流教育
- 8 コンピュータ教室の設置
- 9 中国天津市児童使節団来校
- 10 平成10・11年度京都府教育委員会指定教育実践パイロット校（生活科）
- 11 平成10・11年度京都府教育委員会指定教育実践パイロット校（生活科）研究発表会
平成11年度木津町教育委員会指定国際理解教育交流発表会
南山城養護学校との交流教育
- 12 木津町PTA会長校となる
- 13 平成13・14年度文部科学省歯・口の健康づくり研究推進指定校
南山城養護学校との交流教育
- 14 健やか賞受賞（京都府教育委員会）
- 14 文部科学省歯・口の健康づくり研究発表会（於：本校）にて授業公開
- 15 健康教育推進学校優良校表彰（日本学校保健会）
- 15 創立130周年記念事業・式典開催
- 16 京都府キャリア教育推進地域指定
- 16 お話ルーム設置
- 17 平成17年度「人権の花」運動実施校
- 18 人権教育総合推進地域事業推進協力校（～20年度）
キャリア教育実践に関わる文部科学省表彰 キャリア教育実践報告会開催
- 19 木津川市誕生に伴い、木津川市立相楽小学校と改称
- 20 人権教育総合推進地域指定事業発表会開催
- 21 よい歯の表彰受賞（京都府歯科医師会）
第73回全国学校歯科保健研究大会で本校の取組発表
山城地方PTA連絡協議会会長校となる
- 22 第27回京都府歯科保健文化賞受賞
歯科保健文化賞に伴う府歯科医師会から感謝状受賞 よい歯の表彰受賞（京都府歯科医師会）北校舎耐震工事・飼育小屋の設置、緑化推進事業を受け、植樹
- 23 中校舎・体育館耐震工事よい歯の表彰受賞（京都府歯科医師会）
- 25 木津川市PTA会長校となる140周年記念航空写真を撮影
第24回相楽地方小学校体育連盟駅伝（持久走）大会 優勝
- 26 第25回相楽地方小学校体育連盟駅伝（持久走）大会 優勝
第9回やましろ未来っ子小学校EKIDEN 優勝
- 27 相楽小学校区保幼小接続推進会議発足 保幼小連携接続カリキュラムを作成
- 28 第55回全日本学校歯科保健優良校 奨励賞受賞
令和元 京都府教育委員会指定校「課題解決型授業（アクティブラーニング）推進事業」

2. 教 育

(1) 学校教育目標

「創造性にあふれ、心豊かで主体的に生き抜く児童の育成」

(2) 目指す児童像

『考える子』

『思いやりのある子』

『たくましい子』

(3) 努力目標

- ・ 時間を守る
- ・ 気持ちの良いあいさつ
- ・ 学校を美しく

(4) 研究主題

「自ら学び、共に学ぶ児童の育成」

～国語科を中心とした主体的・対話的で深い学びのある授業の追究～

(5) 学校経営方針

ア 新しい時代を拓く教育の推進

国際化、高度情報化、少子高齢化など急激な社会の変化に対して、自ら柔軟かつ的確に対応できる「生きる力」（確かな学力、豊かな人間性、健康な体）の育成、及びはぐくみたい力の育成に努める。

イ 学習指導要領の趣旨に基づく教育活動の展開

新学習指導要領の趣旨を理解し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す取組を組織的に進め、教育活動全体において質の高い学力の育成を進めるとともに、一人一人の個性を伸ばす教育を一層推進する。

ウ 教育目標の具現化

教育目標の具現化に向けて、各教育活動における評価計画をもち、その達成状況を点検しながら進める。

エ 協働体制の確立

教職員一人一人が人事評価制度の活用などを通して自己の資質能力の向上に努め、適正やよさを十分発揮するとともに、全教職員一体となって課題解決に努める。（チーム相楽）

オ 特色ある学校づくり

伝統や文化、校風、ふるさと相楽を大切にしつつ、校区の持つ良さを積極的に生かした特色ある学校づくりを進め、教育の活性化を図る。

カ 家庭・地域社会との連携強化

学校、家庭、地域社会との連携で教育機能を高め、開かれた学校、信頼される学校づくりを推進する。

(6) 重点目標

ア 質の高い学力の育成

- ・国語科において深い学びのある授業を目指した工夫改善を進め、児童自らが課題を見つけ解決していこうとする授業を創る。
- ・教師の授業力の向上を図り、学力向上に結びつける。
- ・理科の専科指導（４・５・６年）を行い、理科に対する意欲の向上や、知識・思考力の育成を図る。
- ・家庭との連携をすすめ、学習習慣の定着を図る。

イ 豊かな心の育成

- ・特別活動並びに道徳科を核として、学級・学年の集団づくりをすすめるとともに豊かな心とあたたかな児童相互の人間関係を育成する。

ウ 特別支援教育の充実

- ・個別の課題を的確に把握し一人一人の教育的ニーズに応じた指導と支援を行う。
- ・交流及び共同学習を進め、児童の相互理解にもとづく豊かな人間関係を築く。

エ 地域に根ざした開かれた学校

- ・地域の自然、文化や歴史を大事にし、地域の学校として家庭や地域社会と連携を図り、ふるさとに誇りと愛着を持つ児童を育てる。

(7) 具体的方針

ア 質の高い学力をはぐくむ

- ・児童一人一人に「質の高い学力」を育成するために、基礎・基本の徹底を図るとともに、個に応じたきめ細かな指導の充実に努める。
(全国学力・学習状況調査や京都府学力診断テスト等の学力分析を適切に行い、研修及び実践の場で活用する)

イ 豊かな心と規範意識をはぐくむ

- ・児童の心に響く道徳科の学習を目指し、魅力的な資料の活用や指導方法の工夫により、児童の道徳的実践力を育成する。
- ・児童の個性の伸長と社会的資質・能力・態度の育成を図るため、校内指導体制を確立し、組織的・計画的指導を推進する。
- ・教職員と児童及び児童相互の心のふれあいを大切にし、深い信頼関係、好ましい人間関係の育成に努める。
- ・読書活動を充実させ、読書意欲の向上や読書習慣の形成に努めるとともに、学習・情報セン

ターとしての学校図書館の有効な活用を図る。

ウ 健やかな体をはぐくむ

- ・食に関する指導を通して、望ましい食習慣の形成や人間関係の育成を図る。
- ・健康の保持増進にかかる取組を推進するため、組織体制を整備し、現代的課題の対応を含む保健管理と保健教育を推進する。

エ 一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者としての必要な資質をはぐくむ

- ・地域や学校の実態を踏まえた人権教育推進計画を策定し、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題についての正しい理解と人権についての実践的態度を育成する。
- ・特別な教育的支援を必要とする児童の教育的ニーズに対応できる特別支援教育の推進を目指して、指導方法の工夫に努め、全教職員の共通理解のもとで取組を進める。
- ・特別活動の時間を核として、児童一人一人の発達段階に応じた、組織的系統的なキャリア教育を推進する。
- ・子どもを取り巻く環境を的確に把握し、生活習慣や学習習慣の確立を図る。

オ 社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ

- ・教育活動全体を通じて、情報活用能力の育成を図るとともに、プログラミング教育を推進する。
- ・各教科、道徳、総合的な学習の時間、外国語等における国際理解にかかわる指導内容を踏まえ、グローバル化に対応できる実践を行う。
- ・身近な環境や環境問題に関心を持ち、日常生活の中で活かせるよう環境教育を計画的に推進する。

カ 魅力ある・信頼される学校・園をつくる

- ・経験及び職能に応じた研修を進めるとともに、教職員がより協働できる体制づくりを推進する。
- ・教育目標や経営方針を教職員が理解するとともに、学校評価の充実を図り、評価項目の重点化と継続的な評価・改善を推進する。
- ・避難訓練や各種の防犯、防災学習の充実を図り、児童一人一人の危機管理能力を育成する。安全教育や危機管理マニュアルに基づく取組を推進する。

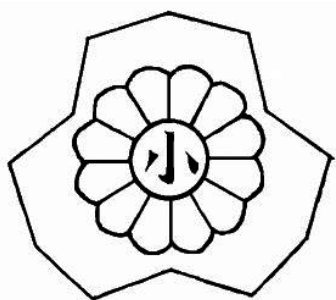
キ 地域の力を活かして子どもをはぐくむ

- ・学校、家庭、地域社会との連携で教育機能を高め、開かれた学校、信頼される学校づくりを推進する。

ク 地域を学び、郷土を大切に作る心をはぐくむ

- ・地域の自然や歴史・伝統について学び、地域資源の活用を図る。

木津川市立高の原小学校



高の原小学校校歌

作詞 木村良子
作曲 石崎照代

一、流れも清き 木津川を
はるかにのぞむ この丘に
夢と希望を 語りつつ
心豊かに 伸びていく
高の原小学校

二、明るい声の ひびき合う
木せいとおる 学び舎に
人の真実を 求めつつ
技をみがきて 育ちゆく
高の原小学校

三、輝く太陽 そよぐ風
緑あふれる この道に
世界の友と はげみつつ
歴史と文化 創りゆく
高の原小学校

郵便番号	6 1 9 - 0 2 2 4
所在地	京都府木津川市兜台四丁目 4 番地 1
電 話	(0 7 7 4) 7 2 - 8 7 3 7
F A X	(0 7 7 4) 7 2 - 8 7 3 9
E m a i l	takanohara - es@kizu.ed.jp

1. 沿革

昭 61.	4.	1	木津町立高の原小学校開校（児童数 58 名）
62.	3.	20	第 1 回卒業証書授与式（卒業生 11 名）
平元.	1.	10	京都府学校給食優良校努力校受賞
	2.	3. 26	北校舎 9 教室増築
	2.	9. 20	歯の健康診断優良校受賞
	2.	11. 1	学校給食文部大臣賞受賞
	2.	11. 20	京都府教育実践推進校指定 学校給食研究発表会
	3.	1. 25	京都府学校給食優良学校賞受賞
	3.	3. 1	高の原小学校校歌制定
	5.	3. 31	木津町立相楽台小学校開校に伴い児童 132 名転学
	7.	4. 1	P T A 発足
	7.	11. 18	創立 10 周年記念式典挙行
	8.	5. 16	中国天津市児童使節団との交流学习
	9.	10. 9	コンピュータールーム設置（21 台設置）
10.	1.	19	京都府学校安全努力学校受賞
	4.	1	障害児学級「ねむの木」開設
12.	4.	1	木津町国際理解推進事業指定校
13.	2.	8	国際理解教育学校公開
13.	4.	1	平成 13・14 年度小学校教育実践パイロット校（道徳）指定
13.	6.	1	創立 15 周年記念航空写真撮影
14.	2.	1	小・中学校教育実践パイロット校教育局別実践交流会（於 本校）にて 授業公開
14.	4.	1	障害児学級「ねむの木 2 組」（情緒障害児学級）開設
14.	11.	16	平成 14 年度「さわやか賞」受賞
14.	11.	26	京都府教育委員会教育実践パイロット校「道徳教育」並びに木津町教育 委員会研究指定校「道徳教育」研究発表会
15.	3.	31	「道徳教育の展開」出版
15.	7.	22	京都中央信用金庫「かがやき賞」受賞
15.	12.	5	「道徳教育」授業研究会
16.	12.	24	「高の原子ども安全ネットワーク会議」発足
17.	2.	26	創立 20 周年記念事業バザー
17.	6.	15	創立 20 周年記念航空写真撮影
17.	11.	12	創立 20 周年記念行事
17.	12.	1	木津町教育委員会研究指定校 算数科授業公開・研究協議会
18.	11.	2	京都府健康教育推進優良校「健やか奨励賞」受賞
19.	1.	25	木津町教育委員会研究指定校 算数科授業公開・研究協議会
19.	3.	12	木津川市誕生により、木津川市立高の原小学校に改称
19.	4.	1	京の子ども夢・未来校（「やましろ未来っ子」研究推進校）指定
19.	4.	1	木津川市教育委員会研究指定校
19.	11.	1	山城地方夢・未来教育実践交流会 公開授業
20.	4.	1	全国学力・学習状況調査等を活用した学校改善の推進に係る実践研究校
20.	10.	23	京の子ども夢・未来校（「やましろ未来っ子」研究推進校）並びに木津川 市教育委員会研究指定校 研究発表会
21.	4.	1	第 2 期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成 21 年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
22.	4.	1	第 3 期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成 22 年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
22.	6.	9	創立 25 周年記念航空写真撮影
22.	11.	30	木津川市教育委員会研究指定校 国語科授業公開・研究協議会
23.	4.	1	第 4 期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成 23 年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定

24.	4.	1	第5期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成24年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
25.	4.	1	第6期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成25年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
26.	4.	1	第7期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成26年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
27.	4.	1	第8期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成27年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
27.	5.	11	木津川市特色ある学校づくり推進校指定
28.	4.	1	第9期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成28年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
29.	4.	1	第10期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成29年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定 山城地方学校力向上トライアル校指定
29.	5.	11	木津川市特色ある学校づくり推進校指定
30.	4.	1	第11期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成30年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
31.	4.	1	第12期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成31年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
令 2.	4.	1	第13期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 令和2年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定第

2. 教育

(1) 教育目標

「ひとりだち」
—変化の激しい社会に対して、自ら柔軟かつ的確に対応できる「生きる力」の育成—

(2) 目指す児童像

か し こ く (知)	学力の充実・向上
や さ し く (徳)	豊かな人間性と社会性の育成
た く ま し く (体)	健やかな体づくりの推進

(3) 教育方針

- ア 児童一人一人が主体的・対話的に学び、深め合う力の育成と質の高い学力の定着
- イ 思いやりの心を持ち、感動や喜びを素直に表現できる心豊かな児童の育成
- ウ 心身ともに健康でたくましい児童の育成と健康安全教育、及び安全管理体制の充実
- エ 一人一人の教育的ニーズに応じた個別の指導と個別の教育支援による特別支援教育の充実
- オ 地域に開かれた、魅力ある・信頼される学校づくりの推進
- カ 教職員の資質向上と業務改善の推進

(4) 本年度重点研究課題

「言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力の育成」
～大事なことを落とさずに読む、話す、聞く、書く力を鍛えるための手立ての研究～

(5) 本年度の努力点

- 児 童 挨拶、掃除、廊下歩行、時間を守る
- 教 師 児童とともに行動、率先垂範、優しさと厳しさのある指導

(6) 指導の重点

- ア 質の高い学力をはぐくむ
 - (ア) 学びに向かう力・人間性等の涵養
 - ・外部の専門家や地域資源を活用した本物と出合う授業、体験を重視した授業やICT機器等を活用した効果的な授業の推進
 - (イ) 主体的に学ぶ習慣の定着
 - ・「家庭学習の手引き」の活用啓発、家庭学習がんばり週間の設定等、家庭との連携による学習習慣・生活習慣の定着と、自主学習の指導による自ら学ぶ学び方の定着
 - ・「オレンジ・キッズ」「オレンジ・ティーチャー」による学習に向かう心構えの醸成と「高の原スタンダード」による授業の流れの確立
 - (ウ) 基礎的・基本的な知識・技能の定着
 - ・朝学習の時間を有効に活用した基礎学力定着の学習と月曜補習等による個別指導の取組の充実
 - (エ) 活用する力の充実
 - ・言語活動の充実と児童が国語で正確に理解し、適切に表現する力を育成する重点研究の充実
- イ 豊かな心と規範意識をはぐくむ
 - (ア) 道徳科の授業・評価の充実
 - ・道徳科の教科書や「京の子ども 明日へのとびら」をはじめとした資料と学校行事等との関連をもたせた効果的・実践的な活用や、体験活動を活かした多様な指導による心の教育の充実及び道徳科の授業や評価の研修
 - (イ) 生徒指導の充実
 - ・児童の自己有用感の育成のため、生徒指導の3機能（自己存在感、共感的人間関係、自己決定）を生かした指導を学校の全教育活動で推進
 - ・社会や学校生活上のルールや基本的なモラルを守ることの意義や重要性について、全職員同じ意識での取組や指導の徹底

- ・一人一人の児童理解に努め、学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめ等の問題事象の未然防止、早期発見、早期対応に向けた取組の推進
- (ウ) 読書活動の充実
 - ・読書タイムの設定、校内の読書週間の取組等による本に親しむ習慣と豊かな心の育成
 - ・学校図書館司書や図書館ボランティアとの連携による、効果的な読書活動の充実
- ウ 健やかな体をはぐくむ
 - (ア) 食育の推進
 - ・食に関する指導計画に基づき、教科等とも関連させて望ましい食習慣の確立等の食育の推進
 - (イ) 体力の向上
 - ・体力テストの結果分析による体育の授業、運動に関する行事の工夫による体力・運動能力向上に向けた継続的な取組の充実
 - (ウ) 健康の保持増進
 - ・命の大切さを知り、自分の健康や身の安全を自分から守ろうとする意識や実践力を身に付ける教育活動の推進
 - ・心身ともに健康で安全に生活しようとする意欲と知識、行動力を育てる教育活動の推進
- エ 一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者として必要な資質をはぐくむ
 - (ア) 人権教育の充実
 - ・人権教育年間指導計画に基づいた計画的な指導を通して、思いやりのある人権感覚豊かな心と人権尊重の態度や実践力の育成、及び人権意識を育てる取組の充実
 - ・人権教育推進のための教職員の認識の深化と指導力の向上
 - (イ) 特別支援教育の充実
 - ・校内委員会の活性化や特別な支援を必要とする児童一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導・支援・就学相談等のための校内体制の整備
 - ・全教職員で研修を深め、障害者理解教育、インクルーシブ教育の推進
 - ・ユニバーサルデザインの視点に立った授業改善と教育環境の充実
 - (ウ) キャリア教育の推進
 - ・全教育活動を通して、児童のよさや可能性を認め、将来にわたってよりよい生き方をしようとする意欲を育むキャリア教育の推進
- オ 社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ
 - (ア) 情報教育の推進
 - ・教員がＩＣＴ活用指導力を磨き、児童のＩＣＴ活用力の育成及びプログラミング教育の実施
 - (イ) グローバル化への対応
 - ・英語に親しみ、外国語科の授業及び外国語活動を通じたコミュニケーション能力の向上
 - ・各教科の中で、諸外国の伝統や文化、ニュースに関心を持たせ、対話的な学習を通して異文化を理解し尊重するグローバルな視点の育成
 - (ウ) 環境教育の推進
 - ・身近な環境や環境問題に関心を持ち、人と環境のかかわりについて理解を深める教育の推進
- カ 魅力ある・信頼される学校・園をつくる
 - (ア) 学校の組織力と教職員の資質向上
 - ・全教職員が課題と成果を共有し、教職員相互の協働と、報告・連絡・相談・確認の徹底による、迅速で効果的な組織運営の実践
 - ・全教職員の知と技を活かし、ＯＪＴ等によって互いに学びあう中で、若手教職員への教育文化の継承と教職員それぞれのステージに応じた資質の向上による学校力の向上
 - ・教職員一人一人が公務員としての高い倫理観を持ち、社会的責任を自覚したコンプライアンス行動実践の推進
 - (イ) 魅力ある学校づくり
 - ・家庭の教育力、人材活用など地域の教育力を生かした魅力ある教育活動の推進
 - ・学校だよりやホームページ等を通しての積極的な情報公開をはじめ、家庭や地域との連携を充実させるための広報活動の推進
 - (ウ) 教育環境の整備
 - ・常に危機意識を持ち、事故災害情報を共有化することにより、事故災害の未然防止・教訓化・

再発防止等の取組による組織的対応力の強化

キ 地域の力を活かして子どもをはぐくむ

(ア) 子育て支援

・地域人材の活用、地域活動への参加等、地域の資源を活用した教育活動の充実

(イ) 家庭教育支援

・児童虐待の早期発見・早期対応とともに、保護者支援に必要な関係機関との連携強化

(ウ) 安全対策

・ボランティア・PTA・地域関係諸機関・団体との連携による、学校・家庭・地域で子どもを見守る体制を継続・発展させる学校としての取組の充実

ク 地域を学び、郷土を大切にすることをはぐくむ

(ア) 自然・歴史についての学習の充実

・「私たちの木津川市」の積極的な活用やフィールドワーク等の体験的な学習を通して、地域の自然や歴史にふれ、地域に愛着を持ち、主体的に地域に貢献する意欲や態度を育てる地域学習の推進

(イ) 地域資源の積極的な活用

・研究機関や企業、関係施設等と連携を図ったタイムリーで体験的な学習活動の推進
・保幼小連携、小小連携、小中連携の充実及び小高連携への発展

ケ その他

(ア) 人材育成

・京都府教師力養成講座担当校として、教師を目指す学生の育成に全教職員が関わることを通して、教職員の人材育成への意識、技能の向上
・若手教員を抜擢した校務分掌、中堅教員やベテラン教員が若手教員を指導し、支える学年経営等による人材育成の推進

(イ) 職員研修

・新学習指導要領に沿った指導と評価の在り方、今日的な教育課題等について各部が中心となる主体的に学ぶ職員研修の場の充実

(ウ) 業務改善

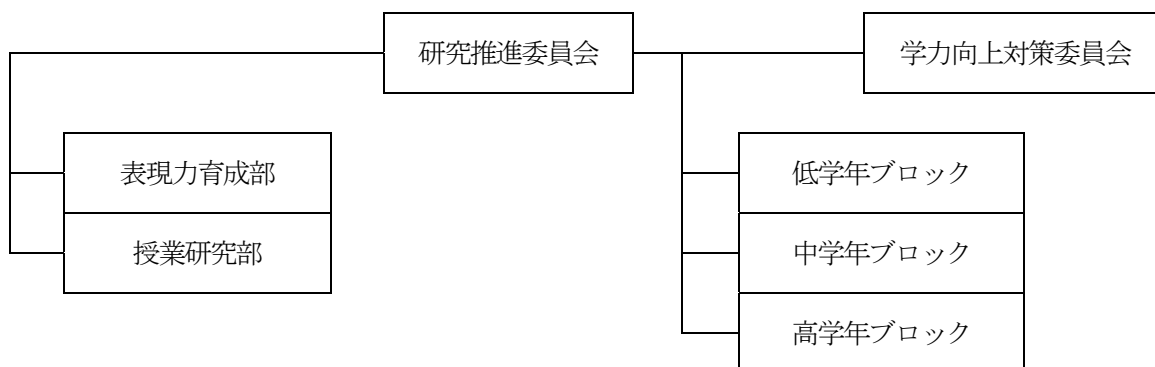
・ライフワークバランスのとれた勤務時間の適正化、高学年を中心とした交換授業等、活力のある職場作りを目指した業務改善の組織的な取組の推進

(7) 重点研究

ア 重点領域 国語科

イ 研究主題 「言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力の育成」
～大事なことを落とさずに読む、話す、聞く、書く力を鍛えるための手立ての研究～

ウ 研究組織 研究推進委員会を中心に、専門研究部（全校的な取組）及び低・中・高学年ブロック（授業研究）を編成し取組を進める。



エ 重点課題

- ・大事なことを落とさずに読む力の育成と、それに伴った授業改善
- ・系統性の明確化
- ・豊かな表現力を育成するための全校的な取組の推進
- ・語彙力や表現力を磨き、豊かな心を育てるための読書活動

木津川市立相楽台小学校



相楽台小学校校歌

作詞 西田義忠
作曲 森本陽三郎

一 ふるさとの

はるかな歴史 しのばせて
木犀かおる 木津の野辺
心とからだ すこやかに
みんな仲よく 学びます
わたくしたちの 相楽台
相楽台小学校

二 夢うかべ

千古の流れ とうとうと
水面きらめく 木津の川
共に手を取り おおらかに
真実の道を 歩みます
わたくしたちの 相楽台
相楽台小学校

三 あたらしい

世紀に映える けいはんな
文化学術 拓くまち
未来をになう よろこびに
理想の花を 咲かせます
わたくしたちの 相楽台
相楽台小学校

郵便番号 619-0223
所在地 京都府木津川市相楽台5丁目17番地1
電話 (0774) 72-4005
FAX (0774) 72-4400
E-mail saganakadai-es@kizu.ed.jp

1. 沿革

- 平 5. 4. 1 木津町立高の原小学校より、分離・独立し、開校する（4月5日開校式）
5. 4. 1 平成5・6・7年度国際理解教育推進モデル校として指定を受ける（京都府教育委員会、木津町教育委員会）
5. 4. 7 第1回入学式（入学生39名）児童数 190 名
- 5.10. 8 アメリカ、オレゴン州教育視察団学校訪問
6. 3.12 近畿テレビ「教育の窓」で本校の国際理解教育放映
6. 3.19 第1回卒業式（卒業生28名）
6. 5.25 中国、天津市少年宮学校訪問
- 6.11.20 よい歯の学校表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
- 7.11 よい歯の学校特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
8. 3. 国際理解教育3年間のまとめ冊子刊行
- 8.11.6, 14 第1回国際理解教育授業研究自主発表会
- 8.12.12 中国教育視察団学校訪問
9. 5.16 英国教育視察団学校訪問
9. 6.11 校歌発表会
- 9.10.16 全日本よい歯の学校表彰受賞（社団法人日本学校歯科医会）
- 9.11.12 第2回国際理解教育授業公開
10. 1.19 京都府健康優良学校努力校受賞
- 10.10.27 府小研国語部研究協力校として実践発表
11. 4. 1 平成11・12年度教育実践パイロット校（総合的な学習について）指定を受ける（京都府教育委員会）
- 12.11.14 教育実践パイロット校「総合的な学習」研究発表会（京都府教育委員会・木津町教育委員会）
13. 4. 1 国立教育政策研究所指定
平成13年度教育課程研究指定校の委嘱を受ける（「総合的な学習の時間」）
木津町教育委員会研究指定（3年次）（「総合的な学習の時間」）
- 13.11.27 「総合的な学習の時間」研究発表会
14. 2. コンピュータ42台設置
14. 5. 「人権の花」運動実施校委託（京都地方法務局・京都府人権擁護委員連合会）
14. 8.27 学校歯科保健優良校表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
14. 9. 1 学校評議員制度発足
- 14.11. 6 創立10周年記念植樹 14.11.16 創立10周年記念式典
15. 3.14 「人権の花」運動感謝状伝達式
16. 2.27 木津町地域イントラネット基盤整備完了
16. 4. 木津町地域イントラネット一部運用開始
16. 4. 1 平成16・17年度京都府教育委員会指定「京都夢・未来校」の指定を受ける（「理科」）
- 16.10.21 「京都夢・未来校」指定1年次授業公開（「理科」）

- 17. 11. 10 「京都夢・未来校」理科教育研究発表会
- 18. 11. 18 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
- 19. 3. 12 木津川市誕生に伴い、木津川市立相楽台小学校と改称
- 19. 8. 24 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
- 19. 11. 17 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
- 20. 8. 22 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
- 20. 11. 15 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
- 21. 8. 20 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
- 21. 11. 14 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
- 22. 8. 21 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
- 22. 11. 13 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
- 23. 8. 19 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
- 23. 11. 12 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
- 24. 4. 1 木津川市「栄養教諭を中核とした食育推進事業」実践中心校
- 24. 11. 10 ファミリー参観（国語科を中心とした伝え合う力を育む学習や取組）
- 25. 4. 1 「土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業」土曜教育実践研究指定校（～平成 30 年）
- 25. 5. 29 「測量の日」記念事業「測量体験学習」実施（一般社団法人 京都府測量設計業協会）
- 25. 11. 9 ファミリー参観（国語科を中心とした伝え合う力を育む学習や取組）
- 26. 4. 1 平成26・27年京都府学校給食研究会研究推進委嘱校
- 26. 11. 9 ファミリー参観（食育を中心とした「食 Smile・Powerful」発表会）
- 27. 4. 1 平成26・27年京都府学校給食研究会研究推進委嘱校
- 27. 11. 7 土曜活用授業日・「食 Smile・Powerful」発表会
- 27. 11. 17 平成27年京都府学校給食研究会京都府学校給食研究発表会
- 28. 11. 26 土曜活用授業日・「ことはぐ発表会」（～令和元年）
- 29. 4. 1 平成29・30年度京都府教育委員会指定「学力向上システム開発校」
文部科学省「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」研修協力校
- 30. 1. 20 創立25周年記念行事
- 30. 3. 6 創立25周年記念植樹
- 31. 1. 29 平成29・30年度京都府教育委員会指定「学力向上システム開発校」研究発表会
- 令 1. 10. 26 土曜授業日・「ことはぐ発表会」

2. 教 育

(1) 教育方針

学習指導要領、「京都府教育振興プランーつながり、創る、京の知恵ー」及び「学校教育の重点」に基づき、「展望する力」「つながる力」「挑戦する力」の3つの調和を大切に、はぐくみたい力として位置付け、京都にはぐくまれた知恵を「つなぎ」「創る」ことができる人間の育成に努める。

(2) 教育目標

豊かな教育活動を通して、実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育み、児童に「生きる力」を培う。

ア 深く考え、主体的に見通しを持って学習に取り組むとともに、創造性あふれる児童を育成する。

イ やさしい心と豊かな感性をもち、なかよく助け合い、励まし合う児童を育成する。

ウ 何事にも責任をもって、ねばり強く最後までやりぬく児童を育成する。

エ 生命の尊さを自覚し、自他の健康安全の維持管理に努める児童を育成する。

オ 豊かな自然や文化と伝統を尊重するとともに、国際感覚を身に付けた児童を育成する。

(3) めざす児童像

ーかしこく やさしく たくましく 一生懸命やりぬく子ー

○深く考える子 ○やさしい子 ○元気な子 ○ねばり強くたくましい子

(4) めざす教師像

○愛情と厳しさをもち、児童に信頼され親しまれる教師

○健康で明るく、活動性に富んだ教師

○信頼と協調で結ばれた組織的な教師

○常に研究と修養に励み、保護者や地域社会の信託に応える教師

(5) 経営方針

ア 基本方針

児童にとっては魅力ある学校、家庭及び地域社会にとっては開かれた学校を目指すとともに、特色ある学校づくりを通して教育の活性化を図り、「展望する力」「つながる力」「挑戦する力」の育成に努める。

【こんな学校に～今年度の重点事項～】

- | | |
|-----------|-------|
| ◎ 笑顔で挨拶 | 明るい学校 |
| ◎ 進んで学習 | 楽しい学校 |
| ◎ きれいにお掃除 | 美しい学校 |

イ 本年度の重点

(ア) 授業改善を推進し、児童に基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせ、確かな学力の充実を図るとともに、個性を生かす教育の充実を努める。

(イ) 生命を大切にする心や他人を思いやる心など豊かな人間性をはぐくむ「心の教育」の充実を図る。

(ウ) 食への関心を持ち、心身ともに健康で安全に生き抜く、たくましい実践力を身に付けた児童を育成する。

(エ) 一人一人の個性や能力を大切に伸ばし、社会の形成者としての資質を身につけさせるとともに各家庭への様々な支援を行う。

- (オ) 教職員一人一人の能力や特性を生かし、「チーム相楽台」という組織の一員として経営参画し、協働体制で指導力を発揮させる。また、教職員の働き方にも工夫改善を図る。
- (カ) 「相楽台子ども安全・安心ネットワーク会議」や放課後子どもプラン「ほっぷ広場」と連携し、あらゆる教育活動や学校生活、放課後等において開かれた学校づくりを進めるとともに児童の安全確保に努める。また、子ども達自身で命を守る大切さを学ばせる。

ウ 本年度重点研究テーマ

仲間とのコミュニケーションを大切にしたプログラミング的思考の育成

～Let's start プログラミング教育～

(6) 指導の重点

[質の高い学力をはぐくむ]

- ア 児童が自らの学習を調整しようとする授業改善に取り組み、「主体的に学習に取り組む態度」を適切に評価する。(学びに向かう力、人間性等の涵養と学習習慣)
- イ 各教科等の学習過程を通して習得させるとともに、朝学習や特色ある教育活動「ことはぐタイム」を活用し、習熟を図る。(基礎的・基本的な知識・技能)
- ウ 思考力・判断力・表現力を必要とする課題を設定し、体験活動やICT機器を効果的に活用するなど、学ばせ方を工夫する。(活用する力)

[豊かな心と規範意識をはぐくむ]

- ア 「考え、議論する」ための中心発問や評価を軸に、多面的・多角的に自己の生き方について考えを深める授業改善を行う。(道徳教育)
- イ 望ましい集団活動を通して他者との信頼関係を気づき、自らの課題を解決する意欲と実践力を育成する。(生徒指導)
- ウ 学校図書館を学習情報センターとしても機能させるとともに、教科書で紹介されている図書を活用した読書活動を行う。(読書活動)

[健やかな体をはぐくむ]

- ア アレルギーのある児童に配慮しながら、日常的な給食指導や給食週間等の取組を通して、食に対する意識を高める。(食育)
- イ 年間指導計画に沿って体育科のすべての領域を計画的・段階的に指導することを通して、バランスよく体力を付けさせる。(体力)
- ウ 日常指導やメンタルヘルス教育等を通して、自分の心身の健康に関心を持ち、自発的に健康を守ろうとする態度を養う。(健康)

[一人一人の個性を伸ばし、社会の形成者としての資質をはぐくむ]

- ア 人権週間を始めすべての教育活動において、互いの個性や価値観の違いを認め、自他を尊重する態度や実践力を養う。(人権教育)
- イ 特別な支援を必要とする児童に適切な教育課程を編成するとともに、通常の学級におけるユニバー

サルデザイン化を推進する。（特別支援教育）

ウ 学級活動を要とし、キャリアパスポートを活用して、児童に学ぶことと自己の将来とのつながりを見通させる。（キャリア教育）

エ 各幼保こども園と連携し、児童理解を深めスタートカリキュラムの改善に努める。児童の些細な変化に留意する。（幼児期の教育・貧困対策）

[社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ]

ア プログラミング教育と連動させ、児童・教職員のＩＣＴ活用能力を高めるとともに、情報モラルに対する正しい認識を育てる。（情報教育）

イ 昨年度までの重点研究を生かし、評価を含めた外国語科・外国語活動の指導を行うとともに、異文化に対する学習を深める。（グローバル化への対応）

ウ 校内の美化作業やゴミの分別などを通して、環境問題を身近な問題としてとらえさせる。市こどもエコクラブと連携する。（環境教育）

[魅力ある・信頼される学校をつくる]

ア 毎週金曜日に打ち合わせの時間を設け、ブロック学年や校務分掌等でＰＤＣＡサイクルによる取組推進が行えるようにする。（学校の組織力と教職員の資質）

イ 地域学校協働本部や放課後子ども教室の力も生かしながら、「一生懸命やりぬく子」を育てる豊かな教育活動を展開する。（学校づくり）

ウ 毎月の点検を軸に安全な環境の維持・改善に努めるとともに、児童とともに学習の場としての学校環境を整備する。（教育環境）

[地域の力を活かして子どもをはぐくむ]

ア 必要に応じて、関係機関と連携し情報共有するとともに、保護者にスクールカウンセラーや学び・生活アドバイザー等の相談窓口を紹介する。（子育て支援）

イ 「家庭学習の手引き」や学校・学級だより、ＨＰ、学級・個人懇談会等を通して、家庭教育に係る情報を提供する。（家庭教育支援）

ウ 相楽台子ども安全・安心ネットワーク会議や学校評議員会、地域委員会等の開催を通して、地域ぐるみの安全対策を講じる。（安全対策）

[地域を学び、郷土を大切に作る心をはぐくむ]

ア 校区や市について教職員がまず学び、実施した地域と連携した学習について、記録に残して次年度に引き継ぐ。（自然・歴史についての学習）

イ 新たな地域資源や人材等についての情報提供を、機会を捉えて保護者や地域の方々に依頼しておく。（地域資源）

木津川市立木津川台小学校



木津川台小学校校歌

作詞 丹田長史
作曲 坂元秀樹

一、豊かな自然 輝く文化

希望に満ちた 木津川台は
みんな仲良く はげみ合い
明るく強く すくすく伸びる
未来を見つめ 学ぼう共に

二、明日を開く 輝くいのち

楽しさ一杯 木津川台は
みんな一緒に 助け合い
明るく強く 元気に育つ
やさしい友と 学ぼう我ら

三、真理を求め 輝くところ

歴史を創る 木津川台は
みんな元気に 鍛え合い
明るく強く 豊かに生きる
世界の友と 学ぼう共に

郵便番号 619-0225
所在地 京都府木津川市木津川台2丁目4番地
電話 (0774) 73-2418
FAX (0774) 73-2420
E mail kizugawadai-es@kizu.ed.jp

1. 沿革

平成3年	4月	1日	木津町立木津川台小学校開校 児童数 56名
4年	3月	7日	前庭時計台設置
	5月	1日	児童数 87名
5年	5月	1日	児童数 97名
6年	2月	26日	校歌発表会開催
	5月	1日	児童数 126名
7年	4月	1日	ふるさと交流学習促進事業1年次 (文部省委嘱、京都府教育委員会指定校)
	5月	1日	児童数 151名
	8月	6日	丹後町立竹野小学校との宿泊交流(於竹野小学校)
8年	4月	1日	ふるさと交流学習促進事業2年次 (文部省委嘱、京都府教育委員会指定校)
	5月	1日	児童数 155名
	7月	22日	丹後町立竹野小学校との宿泊交流(於木津川台小学校)
	11月	1日	コンピュータ22台設置
	11月	29日	国際理解促進事業として留学生と交流
9年	3月	6日	国際理解促進事業として留学生と交流
	5月	1日	児童数 199名
10年	4月	1日	国際理解教育推進事業(木津町教育委員会指定校)
	5月	1日	児童数 251名
11年	2月	18日	国際理解教育交流発表会開催
	2月	26日	全国教育美術展地区学校賞受賞
	5月	1日	児童数 307名
12年	4月	1日	特別支援学級設置
	5月	1日	児童数 338名
	11月	18日	創立10周年記念式典
13年	3月	31日	特別支援学級廃止
	5月	1日	児童数 368名
14年	5月	1日	児童数 428名
15年	4月	1日	特別支援学級設置 木津町教育委員会指定教育実践研究校(国際理解教育) 豊かな体験活動推進事業(「地域間交流」)として京都府より 委託、地域交流推進校として指定(15・16年度)
	5月	1日	児童数 465名 全国JA小中学校交通安全ポスターコンクールで学校賞受賞
16年	4月	1日	京都府豊かな体験活動推進事業地域交流推進校指定(2年次) 国際理解教育推進事業(木津町教育委員会指定校)
	5月	1日	児童数 499名
	11月	26日	「英語活動」研究発表会開催
17年	5月	1日	児童数 543名
18年	4月	1日	人権教育総合推進地域事業推進協力校(文部科学省指定)
	5月	1日	児童数 599名

19 年 3 月 12 日	三町合併による木津川市移行のため、 「木津川市立木津川台小学校」に名称変更
4 月 1 日	人権教育総合推進地域事業推進協力校（2 年次）
5 月 1 日	児童数 620 名
10 月 25 日	平成 19 年度学校安全優良校表彰
12 月 8 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
20 年 4 月 1 日	人権教育総合推進地域事業推進協力校（3 年次）
5 月 1 日	児童数 625 名
12 月 6 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場（4 位入賞）
21 年 5 月 1 日	児童数 650 名
12 月 5 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
22 年 3 月	増築校舎完成
5 月 1 日	児童数 672 名
11 月 12 日	創立 20 周年記念学習発表会
12 月 4 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
23 年 5 月 1 日	児童数 682 名
12 月 3 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
24 年 5 月 1 日	児童数 674 名
25 年 5 月 1 日	児童数 683 名
12 月 7 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
26 年 5 月 1 日	児童数 649 名
12 月 6 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
27 年 5 月 1 日	児童数 620 名
8 月 31 日	体育館天井耐震工事終了 児童トイレ洋式化工事終了
11 月 12 日	創立 25 周年航空写真撮影
12 月 5 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場（優勝）
28 年 5 月 1 日	児童数 579 名
12 月 3 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
29 年 5 月 1 日	児童数 529 名
30 年 5 月 1 日	児童数 495 名
令和元年 5 月 1 日	児童数 446 名
2 年 5 月 1 日	児童数 401 名

2 教育

(1) 教育目標

「明るく 強く 心豊かに生きる子の育成」

- ア 質の高い学力を身に付け、主体的に学ぶ児童を育てる。
- イ 心身共に健康でたくましい児童を育てる。
- ウ 豊かな感性をもち、創造性あふれる心豊かな児童を育てる。
- エ 生命と自然を大切にし、文化と伝統を尊重する児童を育てる。
- オ 個人の尊厳と人権を尊重し、国際性豊かな児童を育てる。

(2) めざす児童像

- ア よく考える子・・・質の高い学力。自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力など
- イ たくましい子・・・心身の健康。たくましい体や体力、行動力など
- ウ 心の豊かな子・・・生命を尊重する心、思いやりや正義感。豊かな人間性や社会性、国際性など

(3) めざす学校像

- ア 明るく楽しい学校・・・児童が教職員や友達と明るく触れ合いながら、互いに個性を発揮して意欲的に学び、自己実現のできる学校
- イ 夢と希望のある学校・・・児童が将来の夢や希望をもち、自らよりよい生き方を考え、自ら学び、主体的に行動する学校
- ウ 美しく魅力のある学校・・・児童が愛着をもち、誇りをもって学ぶ学校。児童の感性や好奇心・探究心に働きかけて、豊かな情操を育み、児童の学ぶ意欲や自発的な活動呼び起こす学習環境の学校
- エ 創意あふれる元気な学校・・・児童と教職員が共に元気で、何事にも創意工夫して積極的に取り組む活発な学校
- オ 特色ある開かれた学校・・・保護者や市民の信託と期待に応える教育活動を展開する特色のある開かれた学校
家庭や地域と強く連携し、教育的な機能を相互に補完しあい共に子どもを育てていく学校

(4) めざす教師像

- ア 心身ともに健康で、互いに連携し、協働する教師
- イ 人間性豊かで、教育への創意と情熱に溢れる教師
- ウ 使命と責任を自覚し、不断の研さんに努める教師
- エ 家庭や地域との連携に努めきめ細かく対応して児童・保護者から信頼される教師

(5) 学校経営方針

学習指導要領、京都府教育委員会「京都府教育振興プラン」及び木津川市教育振興基本計画に基づき、児童の実態等を把握し、家庭や地域社会との連携を深めて本校教育のより一層の充実に努める。

- ア すべての教育活動を通して、「生きる力を育み、新しい時代を拓く」児童の育成に向け、学校教育目標やめざす児童像等の具現化を図る。
- イ 基礎・基本の徹底と言語活動の充実につとめ、学力の充実・向上と個性を伸ばす教育を推進する。

- ウ 豊かな人間性をはぐくむ教育を推進する。
- エ 社会の変化に対応する教育を推進する。
- オ 教職員の連携・協働体制を確立して教育活動の活性化を図り、「生きる力」の育成に努めて特色ある学校づくりを推進する。
- カ 開かれた学校を目指して家庭や地域社会との連携を一層推進する。
- キ 学校評価・教職員評価を、日常の教育活動の活性化に結びつけるとともに、教職員の資質向上を図る。

(6) 本年度の努力点

- ア 学習指導要領の趣旨に基づく教育活動の充実
授業の改善を図り、指導と評価の一体化を目指した取組を進め、質の高い学力の充実・向上に努める。
- イ 国語科における「聴く・話す力」と「思考スキル」の育成の研究・実践の深化
 - ① 「声を育てる」こと共に、話し合いに積極的に参加し、自分の考えを深める児童を育成する。
 - ② 地域や児童の実態等に応じ、各学年間の系統性や発展性を踏まえ、学校として一貫性のある体系的な学習活動の展開に努める。
- ウ 人権教育の推進
あらゆる教育活動を通して、規範意識や基本的人権を尊重する心をはぐくむとともに、将来を展望する力の育成に努める。
- エ 特別支援教育の推進
 - ① 特別な支援が必要な児童の個々のニーズに応じた指導を図る。
 - ② 理解教育を推進するとともに校内や南山城支援学校等との交流教育を推進する。

(7) 本年度の指導の重点

《基礎・基本の徹底による学力の充実・向上と個性を伸ばす教育の充実》

- ア 学習指導
基礎学力の充実を図り、体験的な学習や問題解決的な学習などを通して児童自らが主体的に学ぶ意欲を育てるとともに、個に応じた指導など指導方法の工夫改善に努める。
 - ① 学習状況の的確な把握と指導目標の明確化による授業改善に取り組み、基礎学力の充実に努める。各教科や各領域において話し合い活動の場を設け、言語活用能力の充実に努める。
 - ② 児童一人一人のよさや可能性を伸ばす授業を追究する。
 - ③ 授業研究を通じた研修の充実を図り、学力の充実・向上に向けた指導体制の確立を図る。
 - ④ 読書活動を教育活動の中に適切に位置付け、読書活動の充実を図る。
 - ⑤ 体力づくりを通して心身の健康の増進を図る。
- イ 進路指導
望ましい職業観や勤労観を身に付け、自らの進路を主体的に切り拓く能力の基礎を培う。
 - ① 人間としての生き方にかかわる指導を基盤にして、自己の特性に気づかせながら将来の希望を育てる。
 - ② 児童一人一人が将来どのような社会人、職業人として生きるかを、教科、道徳、特別活動などあらゆる分野で意識させるようにする。
 - ③ 進路に関する指導力を高めるための研修を推進する。
- ウ 特別支援教育
障害のある児童個々の教育ニーズに応じた教育課程を編成し、教育実践を進め、心豊かでたくましく生きる力を培うとともに、すべての児童の社会性を養い、好ましい人間関係を育

てるための交流教育を推進する。

- ① 特別支援学級の児童における個別の指導計画による個に応じた指導内容と指導方法の工夫改善を図る。
- ⑥ すべての児童が障害のある人について正しく理解するため、相互理解に基づく交流教育を学校の教育活動全体の中に位置付けて進める。
- ⑦ 特別な教育支援を必要とする児童の理解を深め、校内体制の整備と個に応じた指導方法の工夫改善を図る。
- ⑧ 特別支援教育に関する教職員研修の充実を図るとともに、関係機関との連携による相談を重視した就・修学の指導に努める。

《豊かな人間性をはぐくむ教育の推進》

エ 道徳教育

生命を大切にする心、他人を思いやる心など豊かな人間性をはぐくむ「心の教育」のかなめとして、児童の実態を考慮しながら、教育活動全体を通じて道徳性の育成を図る。特に、人権教育との繋がりを図りながら、児童の道徳的な心情を豊かにし、判断力を高め、実践意欲と態度の向上を図ることによって道徳的実践力の育成に努める。

- ① 道徳教育の全体計画、学級における指導計画及び道徳の時間の年間指導計画に基づき、児童の心に響く指導の徹底に努める。
- ② 豊かな体験活動及び豊かな心を育てる読書活動などを展開し、児童の道徳性を育てる。
- ③ 授業公開などを通して、学校における道徳教育に対する保護者や地域社会の理解を深める。

オ 人権教育

教育活動全体に人権教育を適切に位置付け、児童の実態を的確に把握して基本的人権や同和問題をはじめとするさまざまな人権問題についての正しい理解や認識の基礎と、互いの個性や価値観の違いを認め、自己を尊重し他者を尊重する態度や実践力を育てる。

- ① 「新京都府人権教育・啓発推進計画」並びに京都府教育委員会並びに木津川市教育委員会の「学校教育の重点」を踏まえた人権教育推進計画を策定し、全校体制を整え、日常的な点検をしながら実践に努める。
- ② 人権教育の推進に当たっては、これまでの同和教育の中で積み上げられてきた成果と手法への評価を踏まえ、すべての人の基本的人権を尊重する心をはぐくむとともに、同和問題を人権問題の重要な柱として位置付け、あらゆる人権問題の解決に向けた実践的態度の育成を図る。
- ③ 個々の課題に即した指導による基礎学力の定着・向上に努めるとともに身近な問題について、自ら気づき、主体的に考え、解決しようとする態度を育成する。
- ④ 学校・家庭・地域が一体となった人権教育を進めるとともに、校種間の連携及び学校間の交流を強化し、児童の発達段階に即し、道徳の時間との繋がりを図りながら体系的・計画的な人権教育を推進する。
- ⑤ 研修は日常的・系統的に進め、認識の深化と指導力の向上に努める。

カ 生徒指導

人間の尊厳という観点に立ち、教育活動全体を通じて、児童の個性の伸長と社会性の育成を図り、よりよい人格の形成を促す。そのため、児童一人一人の生活実態の把握や内面理解に努め、個々の課題の解決を図るとともに、望ましい集団活動を通して、人間としての生き方を自覚して実践する力を育てる。

- ① 基本的な生活習慣を確立するとともに発達段階に応じた判断力や自律心を育成し、児童が自ら学校生活について考え、存在感や充実感をもった楽しい学校生活を送るための取組を進める。
- ② 学校行事や児童会の集会活動、ボランティア活動等を通じて心の触れ合いや信頼関係の

大切さと集団の規律を自覚させ、自主性や社会性を育てる。

- ③ 不登校やいじめなどについては、教育相談機能を充実させるとともに、問題事象に対応する指導体制を確立し組織的に問題解決にあたる。また、問題事象の未然防止に努める。

キ 健康安全教育

生命の尊重を基盤とし、健康に関する総合的な認識を高めながら、基本的生活習慣を確立させ、生涯を通じて心身ともに健康で安全に生きるたくましい実践力を身につけた児童を育成する。

- ① 健康安全教育の推進体制を機能させ、発達段階に応じた指導内容や指導方法を工夫し、系統的・総合的・組織的に取り組む。
- ② 喫煙・薬物乱用などの防止及び歯の健康や生活習慣病の予防についての理解を深め、食生活を自己管理する能力と態度を育成する。
- ③ 危機管理体制を整備・充実し、日常的な安全指導と安全管理を徹底し、校内及び登下校の安全確保と不審者対応の確立に努める。

《社会の変化に対応する教育の推進》

ク 国際理解教育

国際社会に主体的に生きる日本人としての基礎的資質を養うため、人権尊重の精神を基盤にして、我が国の文化と伝統等を尊重するとともに、諸外国の文化や伝統を理解し尊重する態度を育成する。

- ① 国際理解教育に関する年間指導計画を充実させ、教育活動全体を通じて組織的・計画的な実践に努める。
- ② 広い視野を持ち、自分や相手のよさを認めあい、異なる文化を持つ人々と共に生きていく資質や能力を育てる。
- ③ 自分の考えを持ち、相手に伝わるように表現する態度を養うとともに、外国の人々とのコミュニケーション能力の育成に努める。

ケ 環境教育

身近な環境や環境問題に関心を持ち、人間と環境とのかかわりについて理解を深め、環境の保全やよりよい環境の創造のために主体的に行動する実践的態度や能力の育成に努める。

- ① 環境教育に関する各教科等の指導内容との関連を明確にした年間指導計画に基づき、教育活動全体を通じて計画的・総合的・系統的な指導に努める。
- ② 身近な環境に意欲的にかかわり、問題を見だし、考え、判断して、よりよい環境づくりや環境の保全にすすんで参加しようとする実践的態度を養う。
- ③ 環境教育関連活動として、特別活動や総合的な学習の時間での取組の充実を図るとともに、学校、家庭、地域社会等との連携を図り、循環型社会を目指した環境教育の推進に努める。

コ 情報教育

情報化社会の進展に伴い、情報及び情報手段を主体的に選択し、活用する能力と態度を育成する。

- ① 教育活動全体を通じて情報教育が推進できるよう、各教科等の関連性を図りながら、年間指導計画に位置づける。
- ② 児童の興味・関心に応じた主体的な学習を展開するなど、指導方法の工夫改善に努める。
- ③ コンピュータ等を身近な道具として慣れ親しみ、抵抗感なく使いこなせる能力と態度を育成するとともに、情報の価値についての理解を深め、情報モラルに関する指導に努める。

【重点研究】「主体的に学び、自分の思いや考えを豊かに表現できる児童の育成」

－「聴く・話す力」を高める思考スキルを活用した実践を通して－

木津川市立梅美台小学校



梅美台小学校校歌

一 緑も豊かな高台に

ゆかしく香る梅の花

楽しく学ぼう 手を取りあつて

瞳がきらきら 明るい子

望みを高く 明日を拓き

さあ 未来へ 翔こう

二 小鳥もさえずる学び舎に

うす桃色の花水木

仲良く遊ぼう 肩くみあつて

いつでも輝く 元気な子

夢みる翼 大きく広げ

さあ 世界へ 翔こう

作詞	宇田 弘一
作曲	巽 稔史
	森本 陽三郎

郵便番号	619-0215
所在地	京都府木津川市梅美台四丁目26番地
電話	(0774) 73-6421
FAX	(0774) 73-6423
E-mail	umemidai-es@kizu.ed.jp

1 沿革

- 平 9. 4. 1 学研都市の建設に伴い「木津小学校梅谷分校」を廃し、旧分校校区と梅美台・州見台地域を校区として開校（児童数 112 名）
- 10. 5. 26 中国天津市児童使節団来校
- 11. 4. 1 京都府小学校教育研究会図書館教育の研究協力校（平成 11 年度～平成 12 年度）
- 5. 29 P T A 発足に伴い P T A 設立総会開催
- 12. 11. 16 京都府小学校教育研究会図書館研究大会を本校で開催
- 13. 4. 1 特別支援学級開設、「たんぽぽ学級」と命名
- 5. 28 中国天津市児童使節団来校
- 6. 24 読書活動の優秀実践校として文部科学大臣表彰受賞
- 14. 2. 8 木津町指定国際理解教育実践発表会を開催
- 9. 1 学校評議員設置
- 15. 2. 28 校歌制定
- 16. 11. 1 児童数の増加に伴い、仮設校舎（2 階建て、普通教室 5 室）建設
- 17. 10. 26 京都教育大学現代 G P 「知的財産創造・活用力を育成する教員の養成」事業において実施する小学校における知的財産創造・活用力育成のための教材化モデル及び授業パッケージ開発のための研究協力校（先端技術領域）
- 18. 4. 1 児童数の増加に対応するため、多目的ホールを普通 2 教室に改装
- 11. 25 創立 1 0 周年記念行事開催
- 19. 3. 12 木津川市誕生に伴い、木津川市立梅美台小学校と改称
- 19. 4. 1 州見台小学校を分離（全 11 学級、児童数 2 5 6 名となる）
- 20. 9. 26 「やましろ地域学習推進研究協力校」（平成 2 0 年度・2 1 年度）
- 11. 15 京都教育大学現代 G P 事業研究協力校最終年度発表
- 21. 4. 1 児童数増加に対応するため、プレハブを教室として使用
- 1. 14 京都府山城教育局指定「やましろ地域学習推進研究協力校」実践発表会
- 22. 2. 1 京都府山城教育局指定「育ちと学びをつなぐ実践交流会」実践発表
- 23. 4. 1 京都府総合教育センター「ユニバーサルデザイン授業」の研究協力校
- 24. 4. 1 児童数の増加に対応するため、6 教室を増築
- 京都府総合教育センター「ユニバーサルデザイン授業」の研究協力校（2 年次）
- 25. 4. 1 児童数の増加に対応するための新校舎 4 階建 1 6 教室増築に伴う、プレハブ校舎 4 教室を使用
- 26. 4. 1 新校舎 4 階建 1 6 教室使用開始、プレハブ校舎 4 教室解体
- 京都府教育委員会「教師力向上」教育実践力継承事業協力校
- 28. 5. 25 創立 20 周年記念航空写真撮影
- 30. 11. 6 京都府山城教育局主催「山城地方教育実践フォーラム」での公開授業

2 教 育

(1) 学校教育目標

「豊かな心と優れた感性を持ち、心身ともに健やかに、ひとり立ちできる児童の育成」

(2) めざす児童像

- なかよく
優しく思いやりがあり、感謝できる子
- かしこく
めあてを持ち、すすんで学ぶ子
- たくましく
元気で、くじけず、やり抜く子

(3) 学校経営方針

- ア 京都府教育振興プランの3つのはぐくみたい力と本校のめざす児童像との関係を「展望する力」＝「かしこく」、「つながる力」＝「なかよく」、「挑戦する力」＝「たくましく」とする。
具体的には、木津川市教育振興基本計画にある「共に『学び』『喜び』『成長し』未来を生きる子ども」をはぐくむことを念頭に、いつも夢を持ち、自分や他者を大切に、どんな困難な状況にあっても、共に粘り強く対処し、未来を切り拓いていくことのできる「生きる力」にあふれた、“梅美台っ子”を育成する。
- イ 児童の学力及び生活の実態を踏まえ、学級の安定化を図るとともに、指導方法の工夫改善を図ることにより学力の確実な定着及び向上を図る。
- ウ 教職員の資質・能力の向上のために、「教師力」（学級経営力・授業力・生徒指導力等）の育成を目指した組織的な取組を推進する。
- エ ユニバーサルデザインによる教育をさらに推し進めることにより、学習規律及び生活規律を確立するとともに、「学び方を学ばせる」教育を推進する。
- オ 学校だよりやHPによる情報発信及び地域学校協働本部事業、「きずなプロジェクト」と連携することにより、保護者・地域社会との一層の連携を強め、期待に応える学校づくりを目指す。

(4) 経営の重点

- ア 質の高い学力をはぐくみ、個性や能力の伸長を図る教育の推進
- (ア) 学習状況の的確な把握と指導方法の工夫改善を行う。
- ・ 学力診断テスト（国・府）、市統一学力テスト等により、児童の学力実態を把握・分析するとともに、明確化された課題の確実な定着のための指導の徹底を図る。
 - ・ 日常の授業において、児童の実態に即した創意工夫ある授業を展開する。
 - ・ 全ての教科、領域等において「聴く」「読む」「書く」「話す」等の「各教科の特質に応じた言語活動」を充実し児童の言語能力を育成する活動を積極的に取り入れ、児童の表現力を育成する。これまでの取組である「話し合い活動」も継続する。
- (イ) 特別な支援を必要とする児童への支援方策を明らかにし、個に応じたきめ細かな指導を行う。
- (ウ) 「家庭学習の手引き」を基に、家庭との連携を大切に、発達段階に応じた学習習慣の定着を図る。
- イ 規範意識や人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ教育の推進
- (ア) 児童と教職員の信頼関係づくりに努める。
- (イ) 仲良く助け合い、高め合うことの素晴らしさや楽しさを体験させ、互いの良さを認め合い支え合う児童相互の人間関係づくりに努める。
- (ウ) 発達段階に即した計画的な人権教育の推進に努める。
- (エ) 人権意識の涵養を図り、児童間の好ましい人間関係を築くことにより、いじめ等の人権問題の未然防止に努める。
- (オ) 道徳科では、効果的な資料の活用や体験活動を通し、児童の心に響く授業を展開することにより、道徳的な心情、道徳的判断力、実践意欲と態度を養い、道徳的实践力の醸成に努める。
- (カ) 明るく優しさのある教育環境の維持、向上に努める。

ウ たくましく健やかな身体をはぐくむ教育の推進

- (ア) 「体力テスト」の結果分析を行い、児童の実態を踏まえた体育科の授業や行事を行う。
- (イ) 健康な体づくりに意欲を持たせ、体育的行事やクラブ活動、地域の大会などへ積極的に参加する児童の育成に努める。
- (ウ) 豊かな運動体験や望ましい食習慣の形成など体力づくりの工夫に努める。
- (エ) 計画的な保健指導の実施に努める。
- (オ) 自ら安全な行動がとれる能力と態度の育成に努める。

エ 安全・安心な環境づくりの推進

- (ア) 児童の目線に立った校舎・遊具等施設の安全確保のための日常的な点検と安全指導を実施する。
- (イ) 安全マップの見直しを図るとともに、通学路の安全点検と安全指導を実施し、児童の安全確保に努める。
- (ウ) 危機管理マニュアルに基づき、日頃から適切な対応ができるように努める。

＜安全ファイルの活用＞

オ 保護者や地域との連携の深化

- (ア) 家庭及び地域に開かれた学校を目指し、地域の人材・施設・環境を生かした特色ある学校づくりを推進する。
- (イ) 地域学校協働本部事業及び「きずなプロジェクト」との連携を推進し、地域人材・施設及び地域資源の積極的な活用を図る。
- (ウ) 安全ボランティアやPTAの協力による安全な登下校のための取組を推進する。

カ 教職員の資質能力の向上

- (ア) 不断の研鑽と組織的な教育実践により、学校としての「教育力」（学級経営力・授業力・生徒指導力等）の育成を目指した組織的な取組を推進する。
- (イ) 学校教育目標の実現に向け、設定した自己目標の具現化を図る。
- (ウ) 計画的な教育実践に努める。
- (エ) 教員に必要な5つの力の充実を目指す
 - ・ 気づく力・・・児童一人一人を深く理解し、寄り添った指導ができるよう、小さな変化にも気づくことができる力
 - ・ 伸ばす力・・・豊かな人間性と高い専門性に基づく優れた指導力を有し、児童一人一人が豊かな未来を切り開いていけるような、それぞれの個性や能力を最大限に伸ばすことができる力
 - ・ 挑戦する力・・・探究心や自立的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を高めながら諸課題の解決に向け、挑戦することができる力
 - ・ つながる力・・・他の教職員、保護者、地域社会、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携、分担しながら、組織的、協働的に諸課題を解決するため、チームの一員としてつながることができる力
 - ・ 展望する力・・・時代を担う人材に必要な学びを提供できるよう、広い視野で時代や社会、環境の変化を的確につかみ取り、未来を展望することができる力
- (オ) 教職員一人一人が公務員としての高い倫理観を持ち、社会的責任を自覚したコンプライアンス行動実践の取組を推進する。

(5) 重点研究内容

ア 研究領域	算数科
イ 研究主題	主体的に学び合う児童の育成 ～聞いてわかる、読んでわかる、考えたことを表現する～

木津川市立州見台小学校



州見台小学校校歌

作詞 尾崎 昌功
作曲 森本 陽三郎

一 光さす 色あざやかな 学び舎に
笑顔と元気が 満ちあふれ
州見の丘に はずんでる
やさしさ ぬくもり
みんなで 広げよう
今 心の歌を 奏でよう

二 風が吹く 緑も豊かな 学び舎に
夢と希望が 満ちあふれ
州見の空に 届いてる
未来の 扉を
みんなで 開こう
今 心の歌を 響かせよう

郵便番号	619-0216
所在地	京都府木津川市州見台一丁目32番地
電話	(0774) 72-9237
FAX	(0774) 72-9244
E mail	kunimidai-es@kizu.ed.jp
HP URL	http://www.kizu.ed.jp/kunimidai-es/

1. 沿革

平成19年 4 月	木津川市立木津小学校・梅美台小学校から分離し、 独立校として開校
	第1回入学式（入学生114名 全17学級 児童数510名）
平成20年 3 月	校歌制定
	第1回卒業証書授与式（卒業生 62名）
平成20年 4 月	第2回入学式（入学生138名 全19学級 児童数600名）
	親のための応援塾開催
平成21年 3 月	第2回卒業証書授与式（卒業生 62名）
平成21年 4 月	第3回入学式（入学生134名 全23学級 児童数659名）
平成22年 3 月	第3回卒業証書授与式（卒業生 79名）
	児童数増加に伴い、新校舎（2階建普通教室6室）建設
平成22年 4 月	第4回入学式（入学生135名 全26学級 児童数719名）
平成23年 3 月	第4回卒業証書授与式（卒業生 98名）
平成23年 4 月	第5回入学式（入学生118名 全27学級 児童数745名）
	中校舎にエレベーター設置
	京都府小学校教育研究会情報教育研究部研究協力校
平成24年 3 月	第5回卒業証書授与式（卒業生102名）
平成24年 4 月	第6回入学式（入学生144名 全27学級 児童数796名）
平成24年11月	京都府小学校教育研究会情報教育研究部研究協力校 中間発表会
平成25年 3 月	第6回卒業証書授与式（卒業生122名）
平成25年 4 月	第7回入学式（入学生118名 全27学級 児童数785名）
平成25年11月	京都府小学校教育研究会情報教育研究部研究協力校 研究大会
平成26年 3 月	第7回卒業証書授与式（卒業生137名）
平成26年 4 月	第8回入学式（入学生153名 全27学級 児童数810名）
平成27年 3 月	第8回卒業証書授与式（卒業生137名）
平成27年 4 月	第9回入学式（入学生137名 全27学級 児童数810名）
平成28年 3 月	第9回卒業証書授与式（卒業生 137名）
平成28年 4 月	第10回入学式（入学生104名 全26学級 児童数775名）
平成29年 3 月	第10回卒業証書授与式（卒業生 123名）
平成29年 4 月	第11回入学式（入学生127名 全27学級 児童数782名）
平成30年 3 月	第11回卒業証書授与式（卒業生 140名）
平成30年 4 月	第12回入学式（入学生92名 全27学級 児童数729名）
平成31年 3 月	第12回卒業証書授与式（卒業生 121名）
平成31年 4 月	第13回入学式（入学生105名 全26学級 児童数712名）
令和2年 3 月	第13回卒業証書授与式（卒業生 148名）
令和2年 4 月	第14回入学式（入学生111名 全24学級 児童数671名）

2. 教育

(1) 経営方針

学習指導要領(新学習指導要領)、京都府教育振興プラン、木津川市教育振興基本計画の趣旨を踏まえ、保護者・地域の願いや児童の実態を把握し、家庭や地域社会との連携、協働を深めながら学校教育目標の実現をめざす。

- ア 基礎・基本の定着及び主体的で対話的な深い学びの充実
- イ 人権感覚、自尊感情(自己効力感、自己有用感)を育成し望ましい人間関係の構築
- ウ 基本的生活習慣の確立と望ましい食習慣の形成及び安全に関する意識の向上
- エ 家庭や地域との連携や校種間の円滑な接続を推進し、特色のある教育活動の展開
- オ 学校評価や自己評価等を活かし、社会のニーズに応じた教職員の資質・能力の向上

(2) 経営方針の柱

全教職員の協働体制のもと一人一人を大切にしている教育活動を推進する。

◎ キーワード「理解」「主体」「協働」

- ア 理解とは:児童の実態、保護者や地域の願い、環境や社会、必要な資質・能力に対する理解に努める。
- イ 主体とは:本校教員としての自覚と誇りを持ち、指導力を高めるために自ら学び判断し実践する。
- ウ 協働とは:州見台の子は、全ての教員で見るという認識のもと、学年集団を核として、組織的な関わりと連携を大切にする。

(3) 教育目標

「自ら進んで学び、優しい心と豊かな感性を持ち、人とのかかわりの中でよりよく生きようとする児童の育成」

- かしこく …… めあてをもち、進んで学ぶ子ども
- やさしく …… 優しく思いやりがあり、感謝できる子ども
- すこやかに …… 元気で、くじけず、やり抜く子ども

(4) 本年度の分野別指導観点

- ア 質の高い学力を身に付け、主体的、協働的に学べる児童の育成
 - (ア) 自分の考えを持ち、他者と考えを伝えつなげ合いながら学びを深める授業を創造する。
 - (イ) 基礎・基本の定着や学習習慣の確立を図り、学力の土台づくりを推進する。〔学力診断テスト等の分析と活用の活性化を図る。やれることは最後までやりきらせる。(粘り強さ、根気強さの育成)〕
 - (ウ) 個に応じた指導方法や指導体制を工夫し、授業スタンダードの実践を日常化し、さらなる授業改善を推進する。
 - (エ) ことばの力をはぐくむため、全教育活動を通して言語活動を充実させる。

イ あたたかい居場所と自主性、主体性のある学校・学級づくり

- (ア) 児童一人一人の多様性を尊重し、公正、公平に指導する。
- (イ) 自己と他者の「心と体」を傷つける言動や行動は許さない指導を徹底する。
- (ウ) 学校や学級生活のきまりごとを習慣化し、学習や生活の手順を見える化して「やらなければならないこと」を明確化する。その際、ルールを守ることの心地よさを体感させる。
- (エ) 教師の適切な指導の下、児童の自主的、主体的な活動を活性化させる。(特別活動の充実)

ウ 道德教育の充実

- (ア) 道德教育の要となる道德科における授業改善を推進する。
- (イ) 家庭や地域との連携を深めながら、道徳的実践の場としての体験的な活動や奉仕活動を活発に行う。
- (ウ) 異年齢集団との関わりやボランティア活動を通して、多くの人と関わりを持ち、自己効力感や自己有用感を高めることで自尊感情の育成を図る。
- (エ) 読書活動や植物の栽培などの実践活動や季節感や学びにつながる学校環境を整えることを通して、豊かな創造力や命を大切にする心の育成を図る。

エ 特別支援教育の充実

- (ア) 個々の児童の特性や特別支援教育についての正しい理解や認識を深め、指導の充実を図る。
- (イ) 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や、必要な支援を行うための校内体制の整備充実、活用を図る。
- (ウ) 障害のある児童等に対する個別の指導計画や教育支援計画の活用と指導方法の工夫改善を図る。

オ 人権教育の推進

- (ア) 教育活動全体に人権教育を適切に位置づけ、児童の実態を的確に把握し、教育の機会均等を図り、学力の充実・向上や進路保障に努めるなど、一人一人を大切にした教育の推進を図る。
- (イ) 部落差別や障害者差別、ヘイトスピーチなど様々な人権問題についての正しい理解と認識を深め、自己や他者を尊重する態度や実践力を培う。

カ 生徒指導の充実

- (ア) 「あいさつをする」「時間を守る」「場をきれいにする」などの基本的な社会性を身につけさせ、児童の実態に応じた積極的で計画的な生徒指導を推進する。
- (イ) 児童の発達の段階や成育歴、環境等を理解し、鋭い人権感覚を持ち、共通理解の下、徹底した丁寧な指導を心がける。

- (ウ) 不登校やいじめの問題については、教育相談やアンケート等を積極的に活用し、未然防止、早期発見、早期対応に努める。また、問題事象には報告、連絡、相談を徹底し、組織的かつ迅速に対応する。
- (エ) 家庭や地域社会、関係諸機関との連携を密にし、児童のボランティア活動への参加を促すなど、地域総がかりで子どもの健全な育成をめざす。

キ 健康安全教育の推進

- (ア) 心身の健康の基礎となる基本的な生活習慣を形成する能力と態度を育成する。
- (イ) 身の回りの危険に気付き、自ら安全な行動がとれる能力と態度を育成する。
- (ウ) 学校における児童の安全確保を図るため、施設・設備の安全点検、安全指導及び職員研修等に関する学校安全計画を策定し実施する。また、「危機管理マニュアル」の検証と改善に努める。
- (エ) 望ましい食習慣を身に付けた健康的な生活を自ら実践する能力と態度を育成する。
- (オ) 食物アレルギーに対する正しい認識と児童の実態を把握し、日常から連絡、調整、確認を密におこない迅速に対応する。

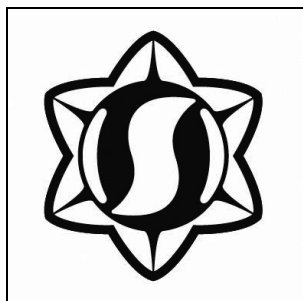
ク 国際理解教育・外国語活動・外国語科の推進

- (ア) 我が国の文化と伝統を理解し尊重するとともに、他の国の文化を理解し尊重する態度を育成する。
- (イ) 外国語活動及び外国語科を充実させ、コミュニケーション能力の素地の育成を図る。

ケ 情報機器、教具の効果的な活用

- (ア) ICT機器を効果的に活用し「わかる」「できる」授業の創造につなげる。
- (イ) ネットワーク基盤などのICT活用を通して児童の情報リテラシーを向上させるとともに、プライバシーの保護や著作権などの基礎的な情報モラルやマナーを育成する。
- (ウ) 学習意欲の向上につながる教具の活用、開発を推進する。
- (エ) 児童も教師もわくわくするプログラミング教育を推進し、プログラミング的思考力の向上を図る。

木津川市立城山台小学校



城山台小学校校歌

作詞 安倉晃一
作曲 内海貞嘉

一 大空ひろき みのりの丘に

明日を照らす 溢れる笑顔

交わす言葉も 晴れやかに

喜び満ちて 育ちゆく

城山台 輝いて

二 遠くに望む 泉の流れ

真理を求め 見つめる瞳

夢と希望を 膨らませ

仲間を信じ 進みゆく

城山台 羽ばたいて

三 風爽やかな 鹿背の山並み

共に鍛えし 心と身体

確かな未来 切り拓き

新たな歴史 創りゆく

城山台 永遠に

郵便番号
所在地
電話
FAX
E-mail
HP

619-0218
京都府木津川市城山台六丁目1番地1
(0774) 71-3900
(0774) 71-3901
shiroyama-es@kizu.ed.jp
<http://www.kizu.ed.jp/shiroyamadai-es/>

1 沿 革

- 平 26. 4. 4 開校式
- 平 26. 4. 8 平成 2 6 年度入学式
- 平 27. 3.20 平成 2 6 年度卒業証書授与式
- 平 27・28 年度京都府学力向上システム開発校指定
- 平 27 年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 平 27. 4. 7 平成 2 7 年度入学式
- 平 28. 2. 9 京都府学力向上システム開発校 1 年次発表
- 平 28. 3.18 平成 2 7 年度卒業証書授与式
- 平 28 年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 平 28. 4. 7 平成 2 8 年度入学式
- 平 28.11. 1 京都府学力向上システム開発校 2 年次発表
- 平 29. 3.17 平成 2 8 年度卒業証書授与式
- 平 29 年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 平 29. 4. 7 平成 2 9 年度入学式
- 平 30. 2. 9 第 3 回研究発表会
- 平 30. 3. 20 平成 2 9 年度卒業証書授与式
- 平 30 年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 平 30. 4. 9 平成 3 0 年度入学式
- 平 30.11.8 第 4 回研究発表会
- 平 31. 3. 20 平成 3 0 年度卒業証書授与式
- 令元年度京都府学びの深化プロジェクト実施校指定
- 令元年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 平 31. 4. 9 平成 3 1 年度入学式
- 令 2. 1. 31 第 5 回研究発表会
- 令 2. 3. 19 令和元年度卒業証書授与式
- 令 2 年度京都府学びの深化プロジェクト実施校指定
- 令 2 年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 令 2. 4. 7 令和 2 年度入学式

2 教 育

(1) 学校教育目標

豊かな感性と知力を培い、意欲的に生きる子どもの育成

(2) 目指す児童像

明るい子(明るく素直な心)

考える子(主体的な行動力)

たくましい子(心と体)

(3) 重点研究テーマ

各教科等における「思考ツール」を活用した授業改善

～考えることを楽しむ児童を育てる～

(4) 学校経営方針

豊かな心の育成

豊かな人間関係を通じて自己肯定感を高め、全教育活動を通じて「心の教育」の充実を図り、自然・人・社会とつながり共生できる力の育成に努める。

学力の充実と向上

授業改善を推進し、児童に基礎的・基本的な内容を身に付けさせ、確かな学力の充実を図るとともに、個性を活かす教育の充実に努め、学力向上に繋げていく。

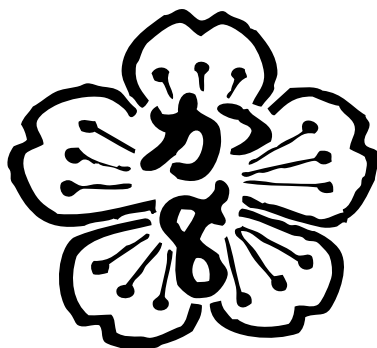
体力の向上と忍耐力の育成

心身ともに健康で安全に生き抜く、たくましい実践力を身に付け、失敗を恐れず積極的に、最後まで物事に取り組むことができる力の育成に努める。

教師力の育成・向上と組織的な協働体制の確立

教職員一人一人の能力や特性を活かし、学校経営に参画し、協働体制で指導力の向上を図る。

木津川市立加茂小学校



加茂小学校校歌

桜井 武雄 作詞作曲

一

加茂の子どもは明るい子
なかよくすなおなよい子ども
鹿背山木津川友として
学びにはげむ小学生
ぼくたち加茂の小学生

二

加茂の子どもは元気な子
教えの庭のあたたく
山ふところにいだかれて
ゆたかにのびる小学生
わたしら加茂の小学生

三

加茂の子どもは日本の子
日本の子どもは世界の子
みんなでつくるよい国の
平和な町の小学生
ぼくたち加茂の小学生

郵便番号
所在地
電 話
F A X
E-mail

6 1 9 - 1 1 5 2
京都府木津川市加茂町里西上田 1 1 番地 1
(0 7 7 4) 7 6 - 2 1 0 2
(0 7 7 4) 7 6 - 8 0 0 2
kamo-es@kizu.ed.jp

1 沿革

明治	8年	2月	加茂町大字里に里村小学校として創立
	20年	7月	加茂尋常小学校と改称
	21年	8月	相楽郡第四高等小学校併設
	32年	5月	加茂町尋常高等小学校と改称
	36年	10月	加茂町大字里小字東上田一番地に校舎新築
昭和	16年	4月	国民学校令により加茂国民学校と改称
	22年	4月	法律並びに文部省令により加茂町立加茂小学校と改称
	29年	10月	中校舎、木造二階建8教室改築竣工
	31年	9月	南校舎、木造二階建8教室改築竣工
	34年	2月	校旗、児童会旗新調、新校歌制定
	34年	8月	給食調理室竣工、9月より完全給食実施
	35年	11月	京都府より昭和35年度健康優良特選校受賞
	37年	12月	京都府より昭和37年度健康優良校受賞
	38年	3月	京都府より昭和37年度安全優良校受賞
		8月	毎日放送より学校教育テレビ協力感謝状受賞
		9月	学校給食優良校として文部大臣表彰受賞
		10月	育友会活動優良に付き京都府PTA協議会長、全国PTA協議会長、文部大臣表彰受賞
		12月	昭和38年度健康優良校として京都府及び朝日新聞社より受賞
	40年	4月	障害児学級併設
		11月	学校図書館優良学校として文部大臣表彰受賞
	41年	3月	学校基本調査優良学校として文部大臣表彰受賞
	42年	10月	小学校教育課程、国語科京都府実践学校の指定をうけ研究発表
		11月	学校図書館優良学校受賞 全日本歯の優良校受賞
	44年	10月	学校給食京都府実践学校の指定をうけ研究発表
	45年	10月	学校給食京都府実践学校として44年度に引き続いて指定をうけ研究発表 同和補習学級開設
	47年	3月	本館、並びに体育館改築竣工
	49年	3月	創立百周年記念行事を行う
	54年	2月	京都小学校お話コンクール、最優秀学校賞受賞
	56年	12月	京都小学校社会科研究大会を行う
	58年	6月	現在地に新校舎新築移転、プール竣工（7月）運動場整備（8月）
	60年	9月	よい歯の学校特別表彰
	62年	3月	学校農園設置
	63年	11月	優良子ども銀行で大蔵大臣・日銀総裁表彰を受ける
平成	元年	1月	府小教研・府教育実践校、特別活動研究発表会開催
		7月	中庭整備
	3年	1月	視聴覚室整備 京都府小学校視聴覚教育研究大会開催

	5月	京都府交通安全優良学校として受賞
	8月	観察池設置
4年	5月	校長室エアコン設置
6年	3月	研究紀要「かもの教育」第1号発刊 職員室・保健室エアコン設置
	11月	創立120周年記念行事を行う
7年	3月	研究紀要「かもの教育」第2号発刊
	11月	学校給食優良校として文部大臣表彰受賞
8年	1月	学校給食優良校として京都府教育長表彰受賞
		学校給食優良校文部大臣・京都府教育長表彰受賞記念式典を行う
	3月	研究紀要「かもの教育」第3号発刊
	4月	平成8、9年度統計教育研究指定
9年	3月	研究紀要「かもの教育」第4号発刊
	4月	平成9、10年度小学校教育課程研究指定校（文部省）
10年	3月	研究紀要「かもの教育」第5号発刊
	10月	平成9、10年度小学校教育課程研究発表会開催
11年	3月	研究紀要「かもの教育」第6号発刊
	4月	社会福祉協力校指定
12月	3月	研究紀要「かもの教育」第7号発刊
	4月	平成12、13、14年度食生活に関する教育実践事業指定校（文部省）
	9月	耐震補強工事、コンピュータ教室完成
13年	3月	研究紀要「かもの教育」第8号発刊
	11月	平成12、13年度食生活に関する教育実践事業研究発表会開催
15年	3月	研究紀要「かもの教育」第9号発刊
	4月	障害児学級（情緒）併設
17年	4月	文部科学省より3年間の学力向上拠点形成事業の指定を受ける
19年	3月	木津川市誕生に伴い、木津川市立加茂小学校と改称
19年	4月	木津川市教育委員会より「教育実践研究校」の指定を受ける
19年	11月	文部科学省指定「学力向上拠点形成事業」・木津川市教育委員会指定「教育実践研究校」の研究発表会開催
22年	3月	新校舎増築
23年	4月	センター給食開始（木津川市立加茂学校給食センター（現）木津川市立第二学校給食センター）
24年	11月	優良PTA文部科学大臣表彰受賞
27年	11月	相楽地方小学校駅伝（持久走）大会優勝
30年	4月～	京都府小学校教育研究会体育科研究部研究協力校を委嘱される。（3カ年）研究テーマ「児童が教え、認め、高め合う中で運動する充実感と自己肯定感が高まる体育授業を目指して」
令和元年	10月	京都府小学校教育研究会体育科2年次研究協議会開催

2 教育

(1) 教育目標

力強く未来に羽ばたく児童の育成

ア 展望する力・つながる力・挑戦する力の調和を図り、かけがえのない生命や基本的人権を尊重する人間性豊かな児童を育成する。

イ 個性の伸長を図り、基礎学力を充実させ、生涯にわたり主体的に逞しく生き抜く児童を育成する。

(2) 目指す児童像

ア 自ら考える子 イ 挑戦できる子 ウ 周りを大切にできる子

【児童のめあて】

- ・ 進んで勉強する子
- ・ 友達と仲良くする子
- ・ 最後までがんばる子
- ・ 命を大切にする子

(3) 目指す学校像

「一人一人が大切にされる、一人一人を大切にできる加茂小学校」

(4) 目指す教師像

ア 子ども理解に努め、子どもの思いを汲み取ることができる教師。

イ 楽しく、わかる授業を目指し、授業で勝負できる教師。

ウ 常に課題を持ち、自らを高める教師。

エ 多様な集団と関わりながら、自らを高める教師。

オ 教育の動向を把握し、教育課題に対応しようとする教師。

(5) 学校経営方針

京都府教育振興プラン・学校教育の重点、木津川市教育振興基本計画・学校教育の重点に則り、基礎基本の徹底、個性や能力を伸ばす教育の充実を図るとともに、変化の激しい社会に主体的に対応できる心豊かな児童の育成

ア 生涯にわたり主体的に学んでいける児童の育成

イ 何事にも一生懸命努力する人間性豊かな児童の育成

ウ 地域に開かれ、地域とともに成長する開かれた学校の創造

エ 豊かな人間性と広い社会性、高い専門性を持った教師集団の育成

(6) 具体的方針

(ア) 質の高い学力をはぐくむ

ア これからの時代に求められる資質・能力を身につけさせるために「主体的・対

話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を充実する。

イ 学習指導要領に示された目標・内容に基づいた学習指導を展開する。

ウ 探究のプロセスを指導内容に位置付けた学習活動を展開する。

エ 「家庭学習の手引き」の効果的な活用を図り、家庭学習の定着を図る。

オ 学力診断テスト等を活用し、客観的な学力の把握と分析を行い、一人一人の学力状況に応じた学習支援及び授業改善を推進する。

(イ) 豊かな心と規範意識をはぐくむ

ア 「特別の教科 道徳」を要として、組織的・系統的及び計画的に道徳教育を推進する。

イ 生徒指導の3機能をふまえ、児童自身が判断しその場にふさわしい適切な言動ができる規範意識の育成及びその充実を図る。

ウ いじめ、不登校の未然防止に努め、早期発見・早期対応を徹底するとともに児童支援及び家庭支援に努める。

エ 「みそあじ運動」の徹底を通して正義の雰囲気醸成を図る。

オ 自然に触れる体験活動や文化に親しむ機会を推進する。

カ 読書に親しむ機会の充実に努める。

(ウ) 健やかな身体をはぐくむ

ア 食育の推進を図り、望ましい食生活の定着を図る。

イ 楽しく、安心して運動に取り組める教育環境を整備し、体力の向上に努める。

ウ 喫煙、飲酒、薬物乱用等の防止教育を行い、生涯にわたって健康の保持・増進に努める。

(エ) 一人一人の個性を伸ばし、社会の形成者としての資質をはぐくむ

ア 共生社会の実現を目指した人権教育を推進する。

ア) 互いの個性や価値観の違いを認め、自分と他者の人権を大切にする教育を推進する。

イ) 人権問題について正しい理解と認識を深める人権学習を推進する。

ウ) 人権問題を自分自身の課題として捉え、解決に向けて実践する意識、意欲、態度の育成に努める。

イ 一人一人の自立や社会参加を目指した特別支援教育を推進する。

ア) 児童個々の課題に応じた支援と指導体制の充実を図る。

イ) 支援の必要な児童への方策の明確化と改善を図る。

ウ) 支援体制と校内委員会の充実を図る。

ウ 夢を追い求め、将来を展望できるキャリア教育を推進する。

ア) 特別活動を要としつつ、教育活動全体を通して「組織的かつ計画的な指導を展開する。

イ) 「キャリアパスポート」を活用し、継続的・連続的な指導を展開する。

エ 幼児期の教育・保育との円滑な接続を推進する。

(オ) 社会の変化に対応し、未来をたしかに生きる力をはぐくむ

ア 質の高い学力を身につけさせるために、ＩＣＴ機器等の活用を推進する。

イ 情報モラルの向上を図る指導を推進する。

ウ 外国語教育の充実を図り、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成する。

エ 環境問題や環境保全についての理解と実践力をはぐくむ。

(カ) 魅力ある・信頼される学校をつくる

ア 学校の組織力と教職員の資質向上のための研究・研修に努める。

イ カリキュラム・マネジメントの充実に努める。

ア) 学校教育目標の実現に向けて、すべての教職員が校務分掌に基づいた役割を分担をしつつ、相互に連携しながらカリキュラム・マネジメントを行う。

ウ 開かれた学校づくりに向けた取組を推進する。

エ 近隣の保育園・小学校・中学校と連携を図り、連続性を重視した教育活動を推進する。

オ 安全・安心なよりよい教育環境の整備に努める。

ア) 安全管理や危機管理への対策を徹底する。

イ) 危機対応能力を身につけさせるための安全教育を推進する。

(キ) 地域の力を活かして子どもをはぐくむ

ア 「木津川市地域で支える学校教育推進事業」を適切に活用する。

イ 親の学びや子育てのための支援と相談体制の充実に努める。

ウ 地域ボランティアの協力のもと、子どもの安全対策に取り組む。

(ク) 地域を学び、郷土を大切に作る心をはぐくむ

ア 地域に貢献する態度をはぐくむために、地域資源を活用した教育活動を推進し年間計画に適切に取り入れる。

イ ふるさとを学ぶ教材（地域の自然・文化・歴史・産業等）についての研究に努める。

木津川市立恭仁小学校



恭仁小学校校歌

作詞 辰巳 利治
作曲 中原 郁男

一、みどりの山を めぐらして
風さわやかな ふるさとは
恭仁の京の 宮どころ
昔しので 学ぶ子の
楽しい恭仁の 小学校
希望が窓に あふれてる

二、泉の流れ 清らかに
ふたぎの野辺を ゆくほとり
心ゆたかに ほがらかに
いつも元気に はげむ子の
明るい恭仁の 小学校
大きな夢を そだててる

三、さやかに晴れた 山川の
歴史はかおる みかの原
ここに巣立って たくましく
あすをになって 進む子の
仲よし恭仁の 小学校
かがやく未来 待っている

郵便番号
所在地
電話
FAX
E-mail

619-1106
京都府木津川市加茂町例幣中切31・32番地
(0774) 76-2103
(0774) 76-8230
kuni-es@kizu.ed.jp

1. 沿革

明治 6 年 5 月 1 日	創立 相楽瓶原小学校と称す 教科課程を上等下等の二等とする
〃 6 年 8 月	恭仁小学校と改称
〃 14 年	教科課程を初等中等高等の三等に改める
〃 20 年 7 月	恭仁尋常小学校と改称、高等科は加茂当尾両村と合併、加茂尋常小学校の一部をこれにあて、相楽郡第四高等小学校と称する
〃 22 年 11 月	相楽郡第四高等小学校の分教室を併置
〃 24 年 4 月	尋常小学校の分教室を併置
〃 24 年 8 月	尋常小学校の終業年限を 4 年と定める
〃 25 年 10 月	恭仁高等小学校を併置す 11 月同校の終業年限を 4 年に定める
〃 32 年 3 月 8 日	全校舎落成移転（小字 中切）
〃 32 年 6 月	恭仁尋常高等小学校と改称
〃 37 年 3 月	校章制定
〃 39 年 8 月 15 日	校章改訂並びに校旗新調
大正 12 年 5 月 1 日	創立 50 周年記念式を挙行 以後 3 月 1 日の改築記念日を廃し、5 月 1 日を創立記念日に制定する
昭和 11 年 3 月 20 日	校地拡張 現在地に全校舎を改築
〃 22 年 4 月 1 日	法律並びに文部省令により瓶原村立恭仁小学校と改称
〃 22 年 4 月	恭仁育友会設立
〃 26 年 4 月	町村合併により加茂町立恭仁小学校と改称
〃 28 年 8 月	講堂拡張
〃 29 年 6 月	学校放送施設完成
〃 30 年 4 月	2 教室増築
〃 31 年 10 月	新校歌制定
〃 34 年 10 月	給食室・手洗場新設、学校給食を開始
〃 43 年 9 月	水泳プール竣工
〃 46 年 12 月 10 日	府より特別教育活動研究の指定をうけ研究発表
〃 47 年 1 月 22 日	府教委・府学校保健委員会より安全教育協力校として表彰を受ける
〃 47 年 1 月 24 日	相楽地方学校保健委員会より安全教育の表彰を受ける
〃 47 年 4 月 23 日	京都府交通安全優良校として表彰を受ける
〃 48 年 1 月 6 日	府教委・府学校安全会より安全教育優良校として表彰を受ける
〃 49 年 5 月 5 日	創立百周年記念式典を挙行
〃 52 年 8 月 9 日	交通安全子ども自転車全国大会参加（京都府代表）
〃 53 年 3 月 10 日	家庭科教室兼視聴覚教室改造
〃 53 年 9 月 16 日	総合遊具新設
〃 55 年 5 月 15 日	相楽郡交通安全協会より表彰をうける（児童会）
〃 57 年 4 月 15 日	財団法人京都府交通安全協会より表彰を受ける（児童会）
〃 62 年 1 月	府教委、日本体育学校健康センターより学校安全協力校として表彰を受ける
平成 元 年 5 月 1 日	京都府より、依頼を受け、「恭仁・緑の少年団」を発足する
〃 元 年 5 月 1 日	算数科の研究に取り組む（加茂町指定）（2 年間）
〃 3 年 4 月 1 日	京都府教育委員会小・中学校教育実践推進校（社会科）の指定を受ける（2 年間）
〃 3 年 5 月 26 日	恭仁緑の少年団、全国植樹祭に参加
〃 3 年 5 月 26 日	京都府より「学校緑化推進校」の表彰を受ける
〃 3 年 8 月 31 日	校舎南側窓枠アルミ製窓に取替
〃 4 年 8 月 25 日	社会科資料室新設
〃 4 年 8 月 30 日	運動場東側校門改修
〃 4 年 8 月 31 日	校舎北側窓枠アルミ製窓に取替改修

〃 4 年 9 月 3 0 日	社会科資料「加茂町みかの原」発行
〃 4 年 1 1 月 2 7 日	京都府教育委員会小・中学校教育実践推進校（社会科）研究発表
〃 5 年 8 月 3 1 日	講堂窓枠アルミ製窓に取替改修、用務員室倉庫屋根葺替
〃 5 年 1 1 月 6 日	創立 1 2 0 周年記念式典を挙げる
〃 8 年 4 月 1 日	京都府社会福祉協議会福祉協力校の指定を受ける（3 年間）
〃 1 0 年 4 月 1 日	いづみ学級を開設
〃 1 0 年 8 月	コンピュータを各教室に導入（1 6 台）
〃 1 1 年 8 月	家庭科室改修
〃 1 2 年 4 月	西校舎 2 教室を 3 教室に改造して留守家庭児童会室を設け開始される
〃 1 3 年 4 月	京都府教育委員会小・中学校教育実践パイロット校（総合的な学習の時間）の指定を受ける（2 年間）
〃 1 3 年 8 月	校舎 2 階屋根葺替
〃 1 4 年 8 月	ノートパソコンを 2 階和室に導入（1 5 台）、2 階特別教室に転落防止用手すりを設置
〃 1 4 年 1 2 月	京都府教育委員会小・中学校教育実践パイロット校（総合的な学習の時間の研究発表）
〃 1 5 年 1 1 月	創立 1 3 0 周年記念行事を行う（2 8 0 名集まる）
〃 1 9 年 2 月	東トイレの新築水洗化及び校地周囲のフェンスの新設
〃 1 9 年 3 月	木津川市誕生に伴い木津川市立恭仁小学校と改称
〃 2 2 年 3 月	いづみ学級が閉級される
〃 2 3 年 4 月	給食が自校炊飯方式からセンター方式に変更となる
〃 2 5 年 1 1 月	創立 1 4 0 周年記念行事を行う
〃 2 6 年 4 月	いづみ学級を開設
〃 2 8 年 3 月	校舎耐震工事 1 期・2 期工事終了
〃 2 9 年 3 月	校舎耐震工事完了
〃 3 0 年 4 月	2・3 年生が複式学級となる
〃 3 1 年 4 月	複式学級が解消となる
令和 2 年 4 月	いづみ学級 2 組を開設

2. 教育

1 学校教育目標

「個性の伸長と多様な他者と協働する力の育成」

児童一人一人の個性を大切にして、質の高い学力を身に付け、思いやりをもって行動できる「知・徳・体」の調和のとれた児童の育成を目指す。

めざす児童像

かしこく・・・・・・・・・・（知）

やさしく・・・・・・・・・・（徳）

たのもしろく・・・・・・・・（心・体）

2 学校経営方針

京都府教育振興プラン及び木津川市教育振興基本計画を踏まえて、以下の目標を設定する。

- (1) 義務教育9年間を見据えた将来を展望できる質の高い学力の育成
- (2) 人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性の育成
- (3) 家庭や地域社会とつながり、小規模校の利点を生かした特色ある教育活動を推進した信頼される学校づくり
- (4) 連携・協働意識をもち、組織力やチーム力で高める教職員の資質能力や指導力

3 重点目標（太字は本年度4つの最重点目標）

- (1) **質の高い学力をはぐくむ**
- (2) **豊かな心と規範意識をはぐくむ**
- (3) 健やかな身体をはぐくむ
- (4) 一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者として必要な資質をはぐくむ
- (5) 社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ
- (6) **魅力ある・信頼される学校をつくる**
- (7) 地域の力を活かして子どもをはぐくむ
- (8) 地域を学び、郷土を大切にする心をはぐくむ
- (9) **学校における働き方改革を推進する**

4 各重点目標における観点と具体的方策

- (1) 質の高い学力をはぐくむ

ア 学習の基盤づくり

学習集団づくりや学習環境の整備を図り、「恭仁小学習スタンダード」を基にした学習意欲を高めるための授業改善を図る。

イ 基礎・基本の定着

「ことばの力」を中心とした朝学習・昼学習の充実に引き続き取り組むとともに、授業につながる主体的な家庭学習の充実を図る。

ウ 活用する力の育成

学習指導要領の教科の特質を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」のある授業の工夫をする。

エ 小規模校の利点を生かした教育活動

複式学級における効果のある指導の在り方も視野に入れ、異学年合同学習や校内専科指導、小小連携学習を継続・発展させる。

(2) 豊かな心と規範意識をはぐくむ

ア 道德教育の推進

他教科との関連を意識し、道徳的諸価値の理解と自己の生き方について考えを深める授業改善を図る。

イ 生徒指導の充実

生徒指導の3機能（自己決定・自己存在感・共感的人間関係）を生かし、一人一人の居場所と自治力を高める学級経営に努める。

ウ 特別活動

行事の計画や運営、異年齢集団活動等での交流、課題改善等の取組を通して、主体的に考えて実践する態度を育てる。

(3) 健やかな身体をはぐくむ

ア 食育・健康の推進

児童の健康状態を把握し、食育や「睡眠ログ」の取組を継続しながら家庭における基本的生活習慣の強化を図る。

イ 体力の向上

全校遊びに児童会を活用して取り組み、体力テストの結果を基に体育の学習を中心に焦点化した体力づくりを行う。

(4) 一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者として必要な資質をはぐくむ

ア 人権教育の推進

学級経営と関連を図りながら、一人一人を大切にし、互いの個性や価値観を認め、主体的に解決しようとする態度を養う。

イ 特別支援教育の推進

校内委員会を中心に、関係機関や加配との連携を深め、組織的な支援を充実する。

ウ キャリア教育の推進

キャリアパスポートを活用したキャリア教育の進行管理を、特別活動部とも連携しながら、キャリア教育部を中心に進める。

(5) 社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ

ア 情報教育の推進

学年の系統性を踏まえた教科横断的なプログラミング教育について全教員で共通理解を図り、進行管理を情報教育部で行う。

イ グローバル化への対応

外国語科の指導や評価について、教科書・指導書等を参考に理解を図り、4技能を取り入

れた授業の充実を図る。

(6) 魅力ある・信頼される学校をつくる

ア 学校の組織力の向上

情報共有と共通理解を図り、分掌長を中心に役割を分担しながら連携・協働してチームとして進め、組織的に運営する。

イ 研究研修の推進

小規模校の利点を生かした教育活動の充実に向けた計画的な研修や組織的な授業研究の充実を図り、指導力や授業力の向上に努める。

ウ 積極的な情報発信

特色ある教育活動や日々の児童の活動の様子について、便りやHPで発信し、家庭学習や安全な生活等について家庭や地域との連携を図る。

(7) 地域の力を活かして子どもをはぐくむ

ア 安全対策の充実

市スクールセイフティボランティアの増員や、児童の登下校時刻に合わせた散歩などを、学校だよりを通じて地域に呼びかける。

イ 家庭教育の支援

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用、関係機関との連携を図り、家庭教育支援を行う。

(8) 地域を学び、郷土を大切に作る心をはぐくむ

ア 自然・歴史を活用した学習の充実

地域資源を生かした学習や体験学習等の多様な学習活動を取り入れた有機的・計画的な教育課程を工夫し、見通しを持った指導と改善を図る。

イ 地域資源の発掘

新たな地域資源や人材等についての情報提供を、学校だよりや集会等で保護者や地域に依頼していく。

(9) 学校における働き方改革を推進する

ア 業務改善の推進

「働き方改革アンケート」を実施し、業務の見直しや効率的な運営に向けて改善を図る。

イ 適正な勤務時間の設定

水曜ノー残業デーの設定や 19 時退勤を徹底し、超過勤務 45 時間以内の達成を目指す。

ウ 働き方に関する意識改革の推進

毎月の超過勤務時間を知らせ、各自の働き方について見直し、勤務時間を意識した働き方や適正な勤務について教職員の意識を高める。

木津川市立南加茂台小学校



南加茂台小学校校歌

作詞 久保田 ツギエ
作曲 吉 中 俊 道

一

いずみの流れ清らかに
稔り豊かな加茂の里
希望の窓につどう友
強くやさしくたくましく
手を取り学ぶ丘の上
ああ 南加茂台小学校

二

歴史も古きゆかりの地
風さわやかな大空に
両手をのぼしすこやかに
きたえしわざと心持ち
未来に向けてはばたこう
ああ 南加茂台小学校

郵便番号	619-1127
所在地	京都府木津川市南加茂台12丁目11番地
電 話	(0774) 76-3400
F A X	(0774) 76-8232
E mail	nagamo-es@kizu.ed.jp

1 沿革

昭和	57年	4月 1日	京都府相楽郡加茂町立南加茂台小学校として開校	
	57年	4月 6日	第1学期始業式	(児童数 158名)
	57年	4月 7日	第1回入学式 新入児46名	
	57年	6月 7日	図書館開館(蔵書3,500冊)	
	57年	8月 1日	校旗制定	
	58年	1月14日	校歌制定	
	58年	3月19日	第1回卒業式	
	58年	4月 7日	第2回入学式 新入児105名	(児童数 611名)
	59年	4月 6日	障害児学級開設	
	59年	4月19日	育友会発足	
	61年	4月 8日	第5回入学式 新入児210名	(児童数1068名)
	61年	8月31日	普通教室6教室増築 運動場拡張	
	62年	8月31日	普通教室6教室(プレハブ)増築(一時使用)	
	63年	4月 7日	第7回入学式 新入児212名	(児童数1314名)
平成	元年	3月30日	高学年用図書室増設(一時使用)	
	元年	4月 7日	第8回入学式 新入児212名	(児童数1413名)
	元年	8月 1日	低学年用プール増設	
	2年	4月 7日	第9回入学式 新入児209名	(児童数1369名)
	3年	4月 8日	第10回入学式 新入児203名	(児童数1338名)
	3年	5月20日	増築教室に冷房設備設置	
	4年	2月22日	創立10周年記念式典実施(記念下敷配付、記念誌発行)	
	4年	4月 7日	第11回入学式 新入児155名	(児童数1231名)
	5年	4月 7日	第12回入学式 新入児127名	(児童数1140名)
	6年	3月31日	中庭プレハブ教室解体	
	6年	4月 7日	第13回入学式 新入児113名	(児童数1031名)
	7年	4月 7日	第14回入学式 新入児92名	(児童数 897名)
	8年	4月 1日	ティーム・ティーチング教員配置	
	8年	4月 8日	第15回入学式 新入児85名	(児童数 766名)
	8年1	1月14日	創立15周年記念航空写真撮影	
	9年	4月 8日	第16回入学式 新入児62名	(児童数 621名)
	10年	3月 5日	児童会空き缶回収で加茂きはだ園へ車椅子寄贈	
	10年	4月 7日	第17回入学式 新入児76名	(児童数 537名)
	11年	4月 1日	情緒障害児学級開設	
	11年	4月 7日	第18回入学式 新入児51名	(児童数 459名)
	11年	5月20日	情報教育室(コンピュータ室)設置	

11年	7月	学童保育室移転設置
12年	4月 7日	第19回入学式 新入児54名 (児童数 409名)
12年	4月	京都府社会福祉協議会 福祉協力の指定を受ける(平成12～14年度)
13年	3月14日	学校だより「さかみち」地域広報版を配付
13年	4月 7日	第20回入学式 新入児37名 (児童数 358名)
13年	11月17日	創立20周年記念事業(記念下敷配付、記念誌発行)
14年	4月 9日	第21回入学式 新入児46名 (児童数 321名)
15年	4月 8日	第22回入学式 新入児35名 (児童数 292名)
16年	4月 7日	第23回入学式 新入児44名 (児童数 265名)
17年	4月 7日	第24回入学式 新入児47名 (児童数 262名)
18年	4月 7日	第25回入学式 新入児35名 (児童数 252名)
19年	3月12日	木津川市誕生に伴い、木津川市立南加茂台小学校と改称
19年	4月 1日	特別支援学級(情緒)再開設
19年	4月 7日	第26回入学式 新入児43名 (児童数 260名)
19年	4月	京都府小学校教育研究会生徒指導研究部研究協力校の委嘱を受ける(平成19～21年度)
20年	4月 7日	第27回入学式 新入児43名 (児童数 260名)
21年	4月 7日	第28回入学式 新入児23名 (児童数 236名)
21年	6月26日	京都府小学校教育研究会生徒指導研究部研究大会
22年	4月 7日	第29回入学式 新入児45名 (児童数 238名)
23年	4月 7日	第30回入学式 新入児37名 (児童数 228名)
23年	11月 6日	開校30周年学校公開、総合遊具寄贈設置、記念下敷き配付
24年	4月 1日	当尾小学校との統合 通学車両運行
24年	4月 9日	第31回入学式 新入児35名 (児童数 236名)
25年	4月 9日	第32回入学式 新入児35名 (児童数 228名)
26年	4月 8日	第33回入学式 新入児31名 (児童数 214名)
27年	4月 7日	第34回入学式 新入児37名 (児童数 222名)
28年	4月 7日	第35回入学式 新入児18名 (児童数 200名)
29年	4月 7日	第36回入学式 新入児30名 (児童数 182名)
30年	4月 9日	第37回入学式 新入児26名 (児童数 172名)
31年	4月 9日	第38回入学式 新入児27名 (児童数 167名)
令和 2年	4月 7日	第39回入学式 新入児21名 (児童数 159名)

2 教育

目指す児童像

助け合い 学びあう子（自尊感情の涵養）
元気で明るく たくましい子（個性の尊重）
自ら学び やりぬく子（自主・自立の促進）

(1) 学校教育目標

強く、やさしく、たくましく、仲間と共に主体的に自己の未来を拓く子どもの育成

(2) 学校経営方針

《基本的な考え》

ア 学習指導要領並びに京都府教育振興プラン並びに、木津川市教育振興基本計画や学校教育の重点を踏まえ教育目標と学校経営方針を明らかにし、社会に開かれた教育課程を編成する。

イ 育成すべき資質・能力を明確にし、学習活動をはじめとする教育活動の充実を図り、知・特・体の調和のとれた児童の育成を目指して、保護者や地域の信頼に応えられる教育活動を推進する。

ウ 児童一人一人の個性を伸ばし、自己存在感・自己有用感を育成するとともに、本校の課題と考える学力の充実・向上、及び言語・コミュニケーション能力の向上に努め、他者を尊重し、互いに高め合う児童像として、『助け合い学びあう子・元気で明るくたくましい子・自ら学びやりぬく子』を目指す。

《経営目標》

ア 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の工夫改善を図ることで、基礎的・基本的な知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学ぶ態度を養う。

イ 体験活動や表現活動を充実させることで、豊かな心や創造性の涵養を目指し、他者とともにによりよく生きるための基盤となる道徳性や健康・安全で活力ある生活を送るための基礎となる体力を養う。

ウ 教職員の資質の向上を図り、共通理解・協働のもと、児童との信頼関係、児童理解を大切にして、児童とともに学び高め合う学校づくりを進める。

エ 保護者の教育に対する期待や願いを的確に把握し、カリキュラムマネジメントを充実させ、創意と熱意ある積極的な教育活動を展開して、保護者や地域から信頼される開かれた学校づくりを進めることにより、学校力を高める。

(3) 本年度の重点目標

京都府教育振興プランの3つの具体的、「はぐくみたい力」として表した、展望する力、つながる力、挑戦する力の調和を大切にした教育を軸に、本校の児童一人一人に育成すべき資質・能力を次の4点とし、それらの資質・能力を育成することを重点目標の主眼とする。

＊自らの考えを持ち、学び合いを通して考えを広げたり深めたりする力 【主体性・意欲】

＊何事もあきらめず、自信を持って最後までやり通す力 【自己肯定感・挑戦力】

＊学んだことや経験したことを生かし、見通しを持って考え、よりよく行動できる力

【応用力・展望力】

＊思いやりを持って、人とつながることができる力 【包容力・コミュニケーション力】

ア 学力の向上・充実

(ア) 知識・技能の定着

- ・ 南加茂台スタンダードの活用と「学び合い」をテーマにした学習、授業規律の確保
- ・ 算数科を中心とした魅力ある、学び合う授業づくりのための工夫改善
- ・ 朝学習、朝読書、補習等を効果的に活用した個に応じた指導の充実

(イ) 学習意欲の向上

- ・ 学ぶ目的を明確に持たせる「めあて」の工夫
- ・ 主体的に学習に向かう習慣を身に付けさせる家庭学習の推進
- ・ 地域の人材や教材、専門家を積極的に活用した体験活動の充実

(ウ) 思考力・判断力・表現力等の育成を基盤としたコミュニケーション能力の向上

- ・ ICT 機器の効果的な活用と基本的な操作の習得
- ・ ペア学習・グループ学習等の「学び合い」の場の充実
- ・ 学びを深める「振り返り」の充実
- ・ 主体的に伝え合おうとする力の素地を養う外国語活動

(エ) キャリア教育の推進

- ・ 指導計画の改善、校内研修の充実等による発達の段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の実施（キャリアパスポートの活用について推進を図る）

(オ) プログラミング教育の充実

- ・ 研究・研修を充実させ、実施していく

イ 児童一人一人の個性や能力の伸長と豊かな人間性の育成と健康や体力の向上

(ア) 心の健康教育の推進

- ・ 「こころあっぷタイム」メンタルヘルス予防教育プログラムを活用した指導の充実

(イ) 道徳教育の推進

- ・ 道徳教育の教科化に伴う指導・評価・研修の充実

(ウ) 豊かな人間性と個性の伸張

- ・ 伝統文化に触れる体験活動等の充実
- ・ 文化的行事への積極的な参加、取組の充実

(エ) 生命を大切にする思いやりを尊重する心の育成

- ・ 道徳、特別活動の推進体制の整備と研修や授業公開の充実

(オ) 社会的資質・能力

- ・ 生徒指導の機能を活かした組織的な指導の充実

(カ) 体力・運動能力の向上

- ・ 体力テスト等の結果分析に基づいた体力向上の取組や行事等の充実
- ・ 体育的行事への積極的な参加促進

ウ 地域や保護者から信頼される、特色ある学校づくり

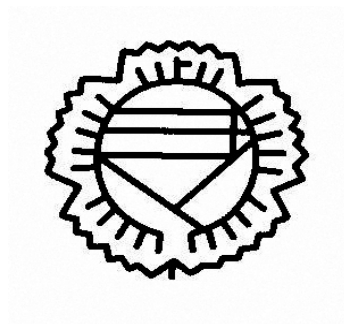
(ア) 魅力ある学校づくり

- ・ これまで取り組んできた様々な活動をキャリア教育として体系化し、総合的な学習の時間を柱として、体験活動を重視する特色ある学校づくりの推進
- ・ 教育活動の地域への積極的な発信（学校だより、HP、学校地域公開）

(イ) 地域の教育力を活かした教育環境の整備

- ・ 学校支援地域本部事業、学校ボランティア等を活用した取組の充実
- ・ 学校開放による地域とのつながりの構築
(放課後子ども広場等)

木津川市立上狛小学校



上狛小学校 校歌

作詞 酒井 雨虹
作曲 杉本 秀治

一 見よ 大川の 水の面は

円かなる 月影やどし

天地のわけを さながらに

小さき目にも 教うなり

おお 狛の河原のなでしこと

咲けよ朝夕 我等学び子

二 聞け 城山の 松風は

学び舎の 窓の辺訪いて

尊きさとし さながらに

小さき耳に ささやけり

おお 狛の河原のなでしこと

学べたゆまず 我等学び子

郵便番号 619-0204

所在地 京都府木津川市山城町上狛学校1番地

電話 (0774) 86-2002

FAX (0774) 86-5500

E mail kamikoma-es@kizu.ed.jp

1. 沿革

- 明治 6年 上狛小学校創立（4月13日）
20年 上狛尋常小学校発足
25年 上狛高等小学校が併設
32年 組合立上狛尋常高等小学校と改称
- 大正 7年 実業補習学校附設
- 昭和 9年 校歌制定
16年 組合立上狛国民学校と改称
22年 上狛町、高麗村組合立上狛小学校と改称
23年 育友会発足
31年 町村合併により山城町立上狛小学校と改称
40年 育友会文部大臣表彰受賞、プール完成
41年 鉄筋2階建て北校舎完成
42年 給食センター完成 給食開始
中庭に庭園と池が完成
45年 中庭に飼育小屋が完成
46年 運動場拡張
49年 山城地方給食指導研究会開催 学校給食優良校として文部大臣表彰受賞
50年 学校優良校として、京都府教育委員会より表彰
52年 日本水泳連盟より学童水泳優良校受賞
53年 鉄筋3階南校舎改築完成、運動場拡張
54年 校舎前庭園完成
57年 体育館改築完成
59年 山城地方社会科教育研究発表会開催
63年 第43回国民体育大会京都国体（成年女子ソフトボール会場）
- 平成 2年 京都府教育委員会・山城町教育委員会教育実践推進校（算数科）
＜指定2年 平成3年発表＞
3年 第36回「才能開発実践教育賞」受賞
5年 京都府社会福祉協力校指定（3年間）
人権擁護ポスターコンクール学校賞受賞
120周年記念講話会
6年 京都府小学校教育研究会保健安全研究会
8年 京都府教育委員会教育実践パイロット校・山城町教育委員会指定（図画工作科）
＜指定2年 平成9年発表＞
11年 コンピューター教室整備 コンピューター設置
13年 京都府学校安全協力校として京都府教育委員会より表彰、門扉・フェンスの設置
14年 配膳室設置、給食センター改築（椿井地域へ移転）
15年 創立130周年記念植樹
16年 京都府教育委員会環境教育推進校「京のエコ・スクール」
山城町教育委員会指定（指定2年 平成17年発表）
18年 特別支援教育充実事業に係る研究実践校（「やましろ未来っ子」研究推進校）
19年 特別支援教育充実事業に係る研究実践校（「やましろ未来っ子」研究推進校継続）
京都府交通安全協会より交通安全表彰受賞（5月）
「みんなで読もう1000万冊読書キャンペーン」京都新聞社賞受賞
20年 「やましろ地域学習推進事業」平成20年度やましろ地域学習推進研究協力校

- 21年 「やましろ地域学習推進事業」平成21年度やましろ地域学習推進研究協力校
- 21年 コンピュータ教室整備（機器交換）
- 22年 文部科学省委託「栄養教諭を中核とした食育推進事業」実践中心校
- 22年 南校舎耐震補強工事完了
- 23年 文部科学省委託「栄養教諭を中核とした食育推進事業」本発表
- 23年 南校舎屋上防水工事完了
- 24年 南校舎南側花壇新設
- 25年 理科・図工室を南校舎に移転
- 27年 教育用・公務用コンピュータ、デジタル教科書整備
洋式トイレ設置、校門時計更新
- 28年 北館完成（図工室・図工準備室の設置）
児童クラブの移転・新築
- 29年 電子黒板全学級設置完了
- 30年 普通教室エアコン設置完了

2. 教育

1 学校教育目標

「つながりを大切に 主体的に学ぶ
未来を拓く子の育成」

めざす児童像

なかまを大切にする子
ともに学び合う子
あきらめずに挑戦する子

2 学校経営方針

府学校教育の重点・市教育振興基本計画を踏まえ、児童に質の高い学力、豊かな心、健やかな身体などの「生きる力」や3つの「はぐくみたい力」を身に付け、変化する社会に柔軟かつ的確に対応する能力や資質の育成に努める。

○ 教育活動の方向性

- ・子どもどうしがつながり、子どもをとりまくすべての人がつながる。
- ・少人数授業の取組を工夫し、子どもがつながり伝えあい学び合う授業を創造する。
- ・地域とのつながりを活かした教育活動を取り入れる。

○ 特色ある学校づくり

- ・『つながり』を大切にした教育の創造
- ・子ども、教職員、保護者、地域住民が「つながり」をもてる取組を推進する。
- ・校区の歴史や自然、文化・産業などの特徴

○ まとまりある教職員集団をつくる

- ・教職員がつながりを持った集団となり、一人一人が良さを発揮できる学校にする。

3 本年度の重点目標

(1) 質の高い学力 <学力の充実・向上>

- 個々の児童の学力の状況を的確に把握・分析し、基礎・基本の徹底を図る。日常の授業の工夫改善を進めながら、自分の思いを表現し伝えあう児童の育成を重視する。自己肯定感を高める取組を計画的に行い学力の向上を図る。また、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育的支援を行うとともに、ユニバーサルデザイン化された教育活動を推進する。

(2) 豊かな心・たくましい体 <心の教育の推進>

- 道徳教育や自然・体験活動、特別活動、読書活動などを重視し、相手を思いやる心、自他の生命や人権を尊重する心、感動する心など、心の教育の充実を図るとともに、たくましく生きるための健康や体力の向上に努める教育を推進する。家庭・地域と連携して、日頃のあいさつや人権教育の推進を図り豊かな心を育む。

(3) 地域に根ざし開かれた学校 <信頼される学校>

- 社会の変化に対応し、主体的に生きていけるよう自己の生き方を深く見つめさせる取組を積極的に推進する。また、地域の自然・文化や歴史、産業などを教育活動の中に積極的に取り入れ、ふるさと上粕を愛する児童を育てる。
- 家庭・地域社会・関係機関との連携に努め、家庭・地域社会と一体となって教育活動の充実に努めるとともに、開かれた学校づくりを進め、信頼される学校づくりを推進する。また、地域社会とともに子どもを守り育てる活動を推進する。

4 指導の重点

1 質の高い学力をはぐくむ

- (1) 学習意欲の向上と学習習慣の確立
 - ・授業の工夫により学習に対する意欲を向上させる。
- (2) 基礎的・基本的な知識技能の習得
 - ・学力テスト等の結果分析をすすめて的確に状況を把握し、学力の充実・向上を目指す取組を推進するとともに、特に課題のある児童に対しては、個に応じた指導・支援をすすめる。
 - ・家庭と連携して、家庭学習の習慣化を図り、学力を向上させる。
- (3) 活用する力の育成
 - ・表現する力を育成するために様々な場面での活用を図る。

2 豊かな心と規範意識をはぐくむ

- (1) 道徳教育の推進
 - ・道徳の時間には、児童の心に響く魅力的な教材を活用しながら道徳的価値の自覚を深め、道徳的実践力を育成する。
 - ・授業公開等を通して、学校における道徳教育に対する保護者の理解を一層深める。
- (2) 教育相談の充実
 - ・児童の内面を深く理解し、信頼関係に基づいた指導を行うとともに、教育相談活動を充実させ、いじめ・不登校等への適切な対応をする。
- (3) 生徒指導の充実
 - ・指導の方向、内容を明確にした全体計画を作成し、学校としての協力体制・指導体制を確立するとともに、指導の在り方について保護者との共通理解を図り、関係機関と連携を深める取組を進める。
- (4) 読書活動の推進
 - ・積極的な読書活動の取組を通して豊かな心をはぐくみ、個々の児童の個性、能力の伸長に努める。
 - ・家庭と連携して読書の取組をさらに進める。

3 健やかな身体をはぐくむ

- (1) 健康の保持増進
 - ・基本的な生活習慣の確立を目指して、児童の実態把握に努め、家庭と連携した取組を推進し、自ら健康な生活を営むことができる望ましい行動への変容を図り、児童の実態に即した保健管理と保健教育を行う。
- (2) 体力の向上
 - ・新体力テストの結果をもとに個に応じた体力・運動能力の向上を図る。
- (3) 食育の推進
 - ・教育活動全体を通じた食育の推進を図り、食や健康への関心を高める。

4 一人一人の個性を伸ばし、社会の形成者としての資質をはぐくむ

- (1) 人権教育の推進
 - ・児童の理解や認識の実態を的確に把握しながら、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の解決の視点を明確にした学習を行う。
 - ・さまざまな人権問題の正しい理解と解決のために行動できる技能や能力の育成を図る。
- (2) 特別支援教育の推進
 - ・特別支援教育について全教職員が理解を深めるとともに、個々の障がいの状態、発達段階及び特性等に応じた適切な支援を行う。
- (3) キャリア教育の推進
 - ・学級活動などにおいて、計画的にキャリア教育を行う。

5 社会の変化に対応し、未来をたしかに生きる力をはぐくむ

- (1) 情報教育の推進
 - ・情報機器を使い情報活用能力の育成に努めるとともに、情報モラルの指導の充実を図る。
- (2) 国際理解教育の推進

- ・外国語活動等を通して、コミュニケーション能力の素地を養うとともに、異文化や日本文化を理解する。
- (3) 環境教育の推進
- ・環境問題について関心を持ち、日常生活の中で生かせるようにする。

6 魅力ある・信頼される学校・園をつくる

- (1) 学校の組織力と教職員の資質向上
- ・課題に対応できる機能的な組織・運営機構を構築するため、分掌相互の連携を図り、開かれた組織運営を行う。
 - ・自校課題に対応する具体的な研究主題を設定し、方法や内容を明確にした研究・研修計画を策定する。
 - ・授業改善、指導力向上を図る研究や自校の課題解決のための研究を推進し、学力の充実・向上につなげる。
 - ・「教師力」や「授業力」の向上を図る取組を進める。
- (2) 魅力ある学校づくり
- ・教育目標、学校教経営計画や教育活動の状況について、積極的に情報発信するとともに情報収集に努める。
- (3) よりよい教育環境の整備
- ・事故等の実態を把握し、交通安全・地震防災安全教育を含む安全管理と安全教育を進める。
 - ・児童を凶悪な事件から守るための防犯教育の充実を図り、安全確保に対する意識を高めるとともに、緊急時に適切な行動がとれるようにする。
 - ・学校施設・設備の整理、点検、環境の美化に努める。
 - ・学校安全計画に基づき、学校危機管理マニュアルを充実させ、全職員がその内容について理解を深めるようにする。

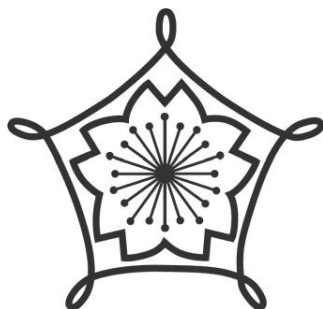
7 地域の力を活かして子どもをはぐくむ

- (1) 安全対策の充実
- ・なでしこ安全推進会議、登下校見守りボランティア等との連携を図り、安心・安全な学校づくりを推進する。
- (2) 地域ぐるみによる子育て
- ・地域のさまざまな行事、関係機関、人々と積極的にかかわりを持ち、連携を密にする。
 - ・PTA等の活動内容等について、十分な打合せを行うとともに、教職員は積極的にPTA活動等に参加する。

8 地域を学び、郷土を大切に作る心をはぐくむ

- (1) 自然・歴史についての学習の充実
- ・地域学習をさらに推進し、地域の人々、関係諸機関と連携を図りながら、多様な学習活動を実践する。

木津川市立棚倉小学校



棚倉小学校校歌

作詞 中谷志津枝
作曲 杉本 秀治

一、大空めざし 伸びてゆく

光明山の わか竹に

まけず伸びよと 日はまねく

ああすくすくと 立ちあがる

光の子なり 我等みな

二、清き流れを のぼりゆく

泉の川の 若あゆに

まけず進めと 風はよぶ

ああひとすじに 学びゆく

励みの子なり 我等みな

三、湧き出の森の 大杉が

語る栄えの その歴史

うけつぎゆけと 枝は鳴る

ああ喜びに 勇み立つ

望みの子なり 我等みな

郵便番号 619-0201
所在地 京都府木津川市山城町綺田局塚14
電話 (0774) 86-2513
FAX (0774) 86-5698
E mail tanakura-es@city.kizugawa.lg.jp

1. 沿革

明治	5年	綾杉に綺田校創立（5月25日）
	21年	綺田尋常小学校発足
	25年	棚倉高等小学校を綺田尋常小学校に設置
	32年	棚倉高等小学校を廃して綺田尋常小学校に併置し、校名を綺田尋常高等小学校と改称
大正	3年	大字綺田小字局塚14に移転改築 綺田尋常高等小学校を棚倉尋常高等小学校と改称 実業補習学校附設
昭和	11年	奉安殿並びに校舎の落成式挙行
	16年	棚倉国民学校と改称
	22年	棚倉村立棚倉小学校と改称
	23年	棚倉小学校校歌制定
	28年	講堂竣工式挙行
	31年	上粕村、高麗村、棚倉村が合併し山城町となる。校名を山城町立棚倉小学校と改称
	38年	新校舎改築開始（普通教室11、特別教室5、管理室3）
	40年	新校舎落成竣工 プール竣工
	42年	学校安全優良校として日本学校安全会より表彰 完全給食開始
	43年	障害児学級開設
	44年	緑地帯整備完工
	45年	交通教室整備（模擬道路、自転車練習場設置）
	47年	昭和46年度学校安全優良校表彰 昭和47年度学校安全文部大臣表彰 創立100周年記念行事実施 昭和47年度学校安全教育研究発表会
	48年	昭和47年度全日本交通安全協会会長表彰、昭和48年度学校安全教育研究発表会
	49年	障害児学級閉鎖
	50年	児童増加に伴い、3教室増築並びに体育倉庫増築
	53年	運動場一部拡張 理科教室改築
	54年	文部省、府教委小学校教育課程研究指定（図画工作科）～55年
	55年	小学校教育課程（図画工作科）研究発表会
	58年	新校舎（特別教室）竣工（3教室、便所、児童昇降口） 校地北西部の水田を買収し、大運動場完成（12,911平方メートル）
	60年	運動場照明施設完成 体育館竣工（726平方メートル）
	61年	学校安全教育表彰（学校安全努力校） 第43回国民体育大会 京都国体開催
平成	元年	府小研体育研究大会 校舎大規模改造完成
	3年	学校安全教育長表彰（学校安全努力校）
	5年	文部省・京都府教育委員会及び山城町教育委員会教育実践推進校体力づくり研究発表会
	6年	学校安全努力校表彰 全国学校体育研究校表彰
	8年	障害児学級開設 福祉協力校指定（3年間） 保健室・給食配膳室改修 公共下水道供用開始
	9年	放送室・放送設備改修
	11年	コンピュータールーム開設 ふるさとふれあい推進校発表
	14年	金銭教育研究発表会・金銭教育シンポジウム開催（2月8日）
	16年	全日本学校関係緑化コンクール 学校林活動の部入選（国土緑化推進機構理事長賞） 「学力向上フロンティアスクール」「京都夢・未来校」研究発表会
	19年	加茂町、木津町、山城町が合併し木津川市となる。木津川市立棚倉小学校と改称 放送設備改修
		京の子ども夢・未来校「やましろ未来っ子」「学力向上プログラム開発校」研究発表会
	21年	コンピュータールーム情報機器更新
	22年	特別支援教育充実事業に係る研究実践校（「やましろ未来っ子」）研究発表 栄養教諭を中核とした食育推進事業（2年間）
	24年	「学校林・遊々の森」全国子どもサミットin京都参加 学校支援地域本部事業発足
		第53回交通安全国民中央大会交通安全荣誉賞表彰
	25年	木津川市特色ある学校づくり推進事業指定（～令和元年継続中）
	26年	プール改修工事
	27年	棚倉小学校校舎改築工事始まる
	28年	新校舎完成
	29年	竣工式挙行 京都府小学校教育研究会道德教育研究発表

2. 教育

児童や地域の実態を踏まえ、学習指導要領並びに府教育委員会「京都府教育振興プラン～つながり、創る、京の知恵～」 「学校教育の重点」、市教育委員会「木津川市教育振興基本計画～生きる力をはぐくみ新しい時代を拓く“きづがわっ子”を目指して～」 「学校教育の重点」に即して教育活動を推進し、特色ある学校づくりを進める。特に、個性を生かし一人一人を大切にしたい教育の推進、質の高い学力を育むために、授業改善に基づく学力の充実・向上を図る。また、全ての教育活動において、3 つのはぐくみたい力である「つながる力」「展望する力」「挑戦する力」を育て、子どもたちに「包み込まれているという感覚」を実感できるような教育活動を展開する中で、共に「学び」「喜び」「成長し」未来を力強く生きる子どもの育成を目指す。そのため、校長を主導とした学校体制の下で、日々の教育活動の充実に努めるとともに、不断の研修と組織的な教育実践により教職員の資質・能力の向上を図り、職責の遂行に努める。

すべての児童に対する教育的愛情をもち、豊かな人間性、広い社会性及び高い専門性を基盤とした実践的指導力の向上を図り、保護者や地域住民の信託と期待に応えるよう努力する。

(1) 学校教育目標

生きる力を育み、新しい時代を拓く「たなっ子」を目指し、学校・家庭・地域の連携の下、子どもたち一人一人を大切に、子どもたちが「包み込まれているという感覚」を実感できるような教育活動を展開し、子どもたちの個性や能力を伸ばしつつ、『共に「学び」「喜び」「成長し」未来を力強く生きる子ども』をはぐくむ。

自分のよさを生かしながら、自立できる子どもの育成

(2) めざす児童像

○学 び	・よく聴き、考え、自分の言葉で表現できる子 ・自分で判断し、行動する子
○つながり	・気持ちのいいあいさつができる子 ・相手の気持ちを考えて、仲良く協力できる子
○きたえあう	・体を鍛え、最後までやりぬく子 ・みんなのために働く子

(3) 学校経営方針（中期経営目標）

校長主導のもと、教職員の力を集結し、次の4点に重点を置いて教育活動を展開する。

ア 積み上げてきた道徳教育の成果を生かしつつ、道徳の授業の充実と道徳性を育成するための実践活動である全教育活動を通しての取組をより一層深めていく。

イ 学力の重要な要素である、質の高い学力（基礎・基本の定着、活用する力の育成、学習意欲の向上）を身に付けさせるために、主体的な学び（AL）を進めていく。全校体制による補習・補充によって、課題のある児童一人一人の学力の向上を図る。

ウ 児童理解の力を磨き、日々の教育実践を積極的に進める。また、道徳教育の3要素（判断力・心情・実践意欲と態度）や生徒指導の3機能（自己存在感・共感的人間関係・自己決定の場）を生かし、教師自らの実践力を高める。

エ 積極的に情報の発信・受信を行い、地域に開かれ、地域から信頼される学校づくりを推進する。

(4) 学校経営の重点（短期経営目標）

ア 質の高い学力の向上（知識・技能、活用の力、学習意欲）

(ア) 基礎・基本の定着及び活用する力の育成を図る指導の工夫

(イ) 学習意欲の向上

(ウ) 言語活動と図書館教育の充実

イ 豊かな人間性の育成と健康や体力の向上

(ア) 道徳教育の推進と規範意識の育成

(イ) 人権教育の推進

(ウ) 健康や体力の向上

(エ) 食育の推進

ウ 生徒指導の充実

(ア) 生徒指導の3機能を生かした学級経営

(イ) 生徒指導の実践（いじめ・不登校児の未然防止）

(ウ) 清掃活動の徹底

(エ) 教育相談の充実

エ 地域に開かれた学校づくり

(ア) 学校の顔が見える（学校だより、ホームページ等の活用）

(イ) 保護者の声をとらえる（PTA等各種団体との連携）

(ウ) 地域・保護者と連携する（人・もの・ことの活用、たなっこ安全推進会議）

本年度の重点目標及び具体的方策

(1) 教育目標・組織運営

教育目標や運営方針を教職員が理解するとともに、さまざまな機会をとらえて保護者や地域の人々に知らせる。
各分掌相互の連携を図り、円滑な組織運営を進める。

- ア 教職員が教育目標や学校経営の重点を踏まえて、教育実践を進める。
- イ さまざまな機会に自校の課題と改善等について説明し意見を聞く。
- ウ 各分掌の活動内容を教職員に周知し、協働意識を高める。
- エ 「学力アップ」「環境整備」「課題分析・授業改善」の各専門部会を生かし、組織的な対応を図る。

(2) 安全管理・文書管理

危機管理について、日頃から対応できるように教職員の共通理解を図る。文書の作成・整理・保管等を適正に行う。

- ア 安全の日を設定し、教職員全員が児童の目線で点検する。（毎月1日）
- イ 危機管理に関する訓練や研修を行い、教職員の危機管理意識の向上に努める。（地震・不審者・火災・警報発令時）
- ウ 個人情報保護の観点に留意し、厳正に取り扱う。

(3) 学習指導の充実

学習状況の的確な把握と質の高い学力の向上を目指す。（知識・技能・活用の力、学習意欲）

- ア 児童の学習状況を把握し、基本的な学習規律を大切に、指導体制・指導方法・指導形態等を工夫改善する。
- イ 教育活動全体を通して、言語活動の充実をめざす。
- ウ 家庭と連携し、学習習慣の確立を図る。

(4) 図書館教育の充実

読書の楽しさを味わい、読書活動を広げ、読書全体を深めながら読書習慣が身に付くような取組を進める。

- ア 読書意欲の向上と読書習慣の形成に向けた具体的な取組を実践する。
- イ 司書教諭と担任との連携を図る。また、ボランティアの有効活用を図る。

(5) 特別支援教育の推進

特別な教育的支援を必要とする児童一人一人に応じた支援を行う。

- ア 校内委員会を定期的に開催する。
- イ 専門諸機関との連携を図る。
- ウ 個別の指導計画に基づく授業改善を図る。
- エ 個別の教育支援計画を作成し、指導に生かす。

(6) 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実

道徳教育

自己を見つめよりよく生きようとする児童の育成
～仲間とともに考え高め合う道徳教育を通して～

- ア 道徳教育の3要素（心情・判断力・実践意欲と態度）を生かした、教師自らの実践力の向上
- イ 「京の子ども 明日へのとびら」「私たちの道徳」等を活用し、心の教育を充実させる。
- ウ 保護者参観日等に授業を積極的に公開する。
- エ ファミリートーク（全校道徳）等による異年齢集団を活用した道徳教育の実践を進める。

人権教育

さまざまな人権問題の解決の視点を明確にした学習を行う。

- ア 教職員人権研修ハンドブック等、人権学習資料集等を活用し、学習内容の工夫・改善を図る。
- イ 互いの人権を尊重する学級風土をつくる。

(7) 健康・体力の向上

健康・体力の向上の取組を推進する。
食育の推進を通して地域社会や自らの生活を見つめる。

- ア 「体力づくり指導の手引き」等を活用し、豊かで楽しい運動経験を通して、児童の体力づくりを進める。

- イ 計画的に健康安全教育を推進する。
- ウ 食育の重要性について理解を深め、理想的な食事の摂取を目指す態度を養う。
- エ 地域の特産物について認識を深め、大切に作る心を養う。

(8) 生徒指導の充実

指導の方向、内容を明確にし、学校の協力体制・指導体制を確立する。
児童理解と信頼関係に基づいた教育相談活動を充実する。

- ア 生徒指導の3機能を生かし（自己決定の場の設定・自己存在感・共感的人間関係）、学校生活の基盤となる豊かな学級経営に努める。
- イ 日々の欠席状況を把握し、不登校やいじめの兆候を見逃さず、不登校を未然に防止する。

(9) 社会の変化に対応する教育の推進

外国語活動

英語に対する関心や理解を深め、積極的なコミュニケーション能力を育成する。

- ア 1～4年 英語に親しむ。
- イ 5, 6年 英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験する。
- ウ 年間指導計画を改善する。

環境教育

身近なところから環境に関心をもつとともに、地域の活動へと広げる。

- ア 体験活動を通して身近な環境に関心をもつようにする。
- イ 自分に何が出来るのかを考えさせ、身近なことから実践する態度を育成する。
- ウ 清掃活動に関する実践力を高める。

情報教育

情報活用能力を育成し、発達段階に応じた情報モラルに関する指導に努める。

- ア 1～3年 親しむ。
- イ 4～5年 慣れる。（機器の活用）
- ウ 6年 使う。（表現、発信）
- エ 年間カリキュラムに基づくコンピュータ学習を行う。
- オ 情報モラルについての学習を行う。

(10) 教員の資質向上

教員の資質と組織力の向上を目指す職員研修を実施する。

- ア 週案の活用を図る。（教材研究、板書計画、準備物等）
- イ 研究・研修会等を通して授業力（指導力・評価力等）の向上を図る。
- ウ 自己研修に努め、資質の向上に努める。

(11) 地域に開かれた学校づくり

教職員も、積極的にPTA活動や地域行事等に参加する。

- ア 学校のホームページを更新し、情報を発信する。
- イ 授業を様々な機会に公開する。
- ウ 学校だよりを発行する。（地域回覧、民生児童委員への配布等）
- エ 授業や教育活動等で地域の人材、保護者の協力を得る。（学校支援地域事業本部・放課後子どもプランの活用）
- オ 自治会・老人会・民生児童委員等地域との連携を図る。
- カ 学校評議員会を開催し、活発に意見交換ができるようにする。

学校評価の方針と計画

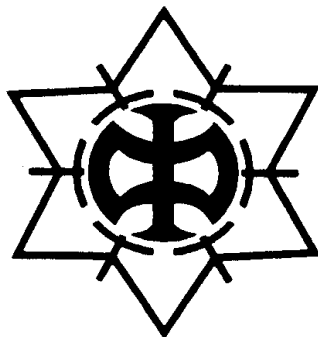
(1) 方針

適切な学校評価、外部評価等により、学校経営・教育活動の改善の課題を明確にし、経営方針や組織・運営、教育活動に生かし、学校改善を図る。

(2) 計画

- ア 評価の実施については、区切りのよい時期に、組織的・計画的に実施する。
- イ 常に改善をめざす評価として、評価の視点は、マネジメント・サイクル（RESEARCH-PLAN-DO-CHECK-ACTION）を基本とする。
- ウ 評価を通して改善が明確になった課題について、校内研修において全教職員の共通認識を図り、改善策を講じる。
- エ 教職員評価を実施するとともに、それらを学校評価に活用する。

木津川市立木津中学校



木津中学校校歌

作詞 石山 修
作曲 吉中 俊道

一 東の空にかぎろう 朝日子の
光をあびて この学園に
つどう若人 いのちは躍動る

二 木津川はその名清しき 泉川
永久に変わらぬ 流れこそ
木津中健児の たゆまぬ姿

三 青丹よし奈良のみやびを 近代の
文化に生かす 力こそ
われらの胸に たぎる血潮ぞ

四 天と地の寄り合うきわみに 万象の
生成力あり わが校の
集いに平和の 力こもれり

郵便番号 619-0222
所在地 京都府木津川市相楽高下4番地8
電話 (0774) 72-0007
FAX (0774) 72-0094
URL <http://www.kizu.ed.jp/kizu-jhs/>

1. 沿革

- 昭22. 5. 3 町立木津小学校南校舎を借用して開校式举行
- 23. 3. 21 木津南垣外に新校舎上棟式举行
- 10. 19 新校舎へ移転
- 25. 6. 18 講堂竣工式举行
- 26. 4. 8 町村合併に伴い相楽村出身生徒を編入
- 27. 6. 5 相楽村との合併により現在地に本館竣工式举行
- 6. 30 新校舎へ移転
- 28. 5. 27 南校舎を旧地から移転し、竣工式举行
- 10. 30 生産教育研究発表会実施
- 29. 4. 23 講堂を旧中学校から移転、竣工式举行
- 30. 7. 30 プール竣工
- 11. 8 文部省指定産業教育研究発表会実施
- 31. 3. 12. 11 木津小学校から2教室移築
同和教育研究発表会実施
- 32. 9. 1 優良図書館表彰受賞
- 11. 21 学校図書館研究発表会実施
- 34. 6. 1 バックネット新設
- 11. 25 道徳教育研究発表会実施
- 35. 5. 1 障害児学級開設
- 36. 2. 24 障害児教育研究発表会実施
- 3. 20 進路指導研究発表会実施
- 9. 16 第二室戸台風のため校舎一部倒壊
- 11. 21 府教委指定「学級活動における進路指導」研究発表会実施
- 37. 6. 29 体育館竣工
- 11. 10 特別教育活動研究発表会実施
- 39. 12. 30 鉄筋校舎竣工
- 40. 2. 2 文部省指定道徳教育研究発表会実施
- 3. 17 学校安全努力校として表彰を受賞
- 42. 11. 6 技術科研究発表会実施
- 43. 4. 15 学校給食開始
- 44. 2. 24 学校経営研究発表会実施
- 45. 4. 28 本館新築竣工
- 46. 2. 25 生徒指導研究（文部省推進校）発表会実施
- 11. 25 生徒指導研究（文部省推進校）報告会実施
- 47. 11. 13 生徒指導研究（文部省推進校）発表会実施
- 50. 2. 25 自由研究「学級活動」発表
- 52. 1. 21 文部省指定道徳教育研究（2年継続）発表実施
- 53. 11. 2 郡中学校自主研究発表「集団を高めるために」
- 54. 3. 2 鉄筋4階建校舎竣工
- 55. 3. 20 鉄筋4階建校舎増築竣工
- 57. 3. 20 クラブボックス完成
- 12. 10 運動場防球ネット設置
- 59. 3. 30 運動場夜間照明設置
- 61. 10. 15 体育館大規模改修工事完了
- 62. 5. 25 校長室改装
- 63. 8. 30 南北校舎大規模改修工事完了

- 平 2. 11. 6 郡中学校自主研究発表「学習意欲を高める指導の充実」
- 3. 8. 30 職員室床面前面改修完了
- 10. 31 プール新設竣工
- 11. 25 自動車駐車場の新設
- 12. 10 人権作文コンテスト感謝状受賞法務省局長賞
- 12. 25 体育館ギャラリー手すり設置
- 4. 3. 10 武道場の新設竣工
- 3. 31 バックネット新設竣工
- 9. 30 コンピュータ教室完成
- 5. 8. 31 グラウンド大規模改修工事完了
- 6. 8. 25 職員室空調設備設置工事完了
- 7. 8. 30 放送設備全面改修
- 8. 1. 21 武道場進入通路舗装
- 8. 9 文部省指定スクールカウンセラー活用調査研究委託事業
- 9. 4. 5 体育館東入口屋根完成
- 5. 3 創立50周年記念式典実施
- 10. 4. 5 自転車置場増設
- 11. 22 「さわやか賞」受賞
- 12. 4. 1 情緒障害児学級設置
- 8. 下水道・室外トイレ改修
- 13. 4. 1 「児童生徒等歯・口の健康づくり推進事業」研究指定
- 14. 11. 受水槽改修
- 15. 7. 30 京都府中学校総合体育大会ソフトテニスの部優勝
- 10. 18 山城地方中学校駅伝競走大会 男子優勝
- 12. コンピュータ室備品新規購入及び、光ファイバー、イントラネット整備
- 16. 2. 「児童生徒等歯・口の健康づくり推進事業」発表（於・東京）
- 4. スクールカウンセラー配置
- 文部科学省指定「キャリア教育推進地域指定事業」（3ヶ年）
- 18. 4. 心の居場所相談員配置
- 文部科学省指定「人権教育推進地域事業」（3ヶ年）
- 19. 3. 12 木津川市誕生に伴い、木津川市立木津中学校と改称
- 10. 20 山城地方中学校駅伝競走大会 男子優勝（第29回近畿中学校駅伝競走大会出場）
- 11. 10 「キャリア教育」文部科学大臣表彰受賞
- 12. 21 木津中学校創立60周年を迎える（記念品配布）
- 20. 7. 30 京都府中学校総合体育大会サッカーの部優勝（近畿大会出場）
- 21. 1. 20 平成18・19・20年度文部科学省指定 人権教育総合推進地域事業 「人権教育研究大会」
- 3. クラブボックス裏に自転車置き場増設
- 21. 7. 30 京都府中学校総合体育大会サッカーの部2年連続優勝（近畿大会出場）
- 8. 22 全国中学校体育大会陸上競技選手権大会出場（男子:110mH、女子:100mH）
- 22. 7. 30 京都府中学校総合体育大会サッカーの3年連続優勝（近畿大会出場）
- 23. 4. 1 梅美台及び州見台地域の生徒増加に伴い木津川市立木津南中学校の開校により分離
- 26. 3. 12 新校舎棟・体育館落成式
- 27. 3. 27 新グラウンド完成
- 28. 4. 1 京都府教育委員会指定「法やルールに関する教育」研究指定校
- 29. 4. 1 京都府教育委員会指定「法やルールに関する教育」研究指定校

2. 教育

(1) 学校教育目標

「心豊かでたくましく生きる生徒の育成」

(2) めざす生徒像

「強い人、考える人、あたたかい人」

- ・豊かな心と、たくましい身体を持った生徒
- ・自らの考えで、進んで実行する生徒
- ・他と協力し、助け合い励まし合う生徒

(3) 本年度の研究主題

「主体的な学びとその評価」

(4) 教育目標を具現化するための努力点

ア 学級・学年経営の充実

- 学級を基盤として自らを大切にすると共に、他人を大切にする意識を高め、協力し助け合う気持ちや態度を育む。また、心豊かな人間性に満ちた生徒の育成に努める。
- 学級の諸活動を、学年や学校全体に整合（連動）させるよう、その工夫に努める。

イ 学習指導の充実

- 現指導要領に基づく年間指導計画の完全実施と検証。
- 「評価」と「指導」の一体化を更に意識し、評価基準の客観性・信頼性を追求する。
- 新学習指導要領の理解の深化。

ウ 道徳教育の推進

- 特別の教科道徳の指導力の育成及び評価の研究を進める。
- 教育活動全体を通じて、道徳的心情・判断力を高め教育愛に根ざした道徳的実践力を育成する。
- 学年、学校としての授業の蓄積を大切にする。

エ 生徒指導の推進

- 毅然とした指導に徹し、正義の通る集団を育てるなかで、ルールやきまりについて自ら考え、理解し、行動に移す規範意識の醸成を図る。
- 常に「先取りの生徒指導」を心がける。
- 事象に対しては機動力に富む、組織的対応を行う。
- 不登校・不登校傾向の生徒に対する理解を共有し、指導にあたる。
- 通学路の安全点検及び登下校時の安全指導の徹底を図る。

オ 人権教育の推進

- 一人一人を大切にしたい指導を徹底する。
- 同和問題をはじめ、様々な人権問題の正しい理解と問題解決のための知識理解と人権感覚（行動につながる能力・態度）を育成する指導を徹底する。
(本校の課題を明確にし、焦点化した取組を展開する。)

カ 特別支援教育の推進

- 障害のある生徒一人一人の教育的ニーズに応じ、障害に基づく種々の困難の改善・克服を図る。
- 生徒の実態把握、多様なニーズに適切に対応した個別の支援計画・個別の指導計画を立案する。
- 個性や能力の伸長に努め、心豊かでたくましく生きる力を培う。

キ 健康安全教育の推進

- 健康に関する認識を高め、保護者の理解・協力を得ながら基本的な生活習慣の確立に努める。
- 「安全・安心」な「学校」をめざす。

ク 進路指導の充実

- 自己理解の上に、自らの進路を決定できる実践力の育成を図る。
- キャリア教育をさらに充実させ、望ましい職業観、勤労観を育む。

ケ 地域との連携

- あらゆる機会を通じて、学校・地域・家庭の連携を密にし、相互の教育的機能の高揚に努める。
- 「発信力」を更に強め、質を高めるとともに、外部評価等を活性化させ学校評価を充実させる。

木津川市立木津第二中学校



木津第二中学校校歌

作詞 中村吉三
作曲 尾上昭典

一 はるかなる 歴史の歩み 礎に

清き流れの 木津川を

見渡す丘の 学び舎に

英知を磨く 若人が

手を取り進む 未来には

清新の意気 たかまりて

あゝ 我が 木津第二中学校

二 友愛の 心豊かに 育くみて

四周の山の ふところ

礼節守る 学び舎に

身体を鍛え 若人が

手を取り進む 未来には

躍進の音 たからかに

あゝ 我が 木津第二中学校

郵便番号 619-0224
所在地 京都府木津川市兜台6丁目1番地
電話 (0774) 72-8734
FAX (0774) 72-8736
E mail kizu2-jhs@city.kizugawa.lg.jp

I 沿革

- 昭 61. 4. 1 木津町立木津第二中学校開校（生徒数 17 名）
- 62. 3. 13 第 1 回卒業証書授与式挙行（卒業生 5 名）
- 63. 11. 30 京都府教育委員会・木津町教育委員会指定教育実践研究発表社会科
- 平 元. 3. 9 校歌発表会
- 6. 23 アメリカ政府派遣高校生大使来校 交流会実施
- 12. 4 相楽郡中学校教育研究会指定研究発表
テーマ「国際理解教育」奈良県立高校留学生 17 名招校
- 4. 3. 7 P T A 設立総会（P T A 発足）
- 5. 3. 25 新校舎竣工（普通教室 9、図書室、第 2 音楽室、コンピュータ教室各 1）
- 4. 1 府教育委員会教育実践推進校「指導方法の改善」研究指定
- 6. 4. 1 府教育委員会より平成 6・7・8 年度国際理解教育推進モデル校に指定される。
- 12. 1 指導方法の改善「数学科における I T」研究発表会
- 7. 10. 22 開校 10 周年記念式典挙行
- 8. 2. 23 全国教育美術展学校表彰受賞
- 9. 11. 30 京都府教育委員会より、『さわやか賞』受賞
- 11. 4. 8 平成 11・12 年度京都府統計教育研究指定校指定
- 12. 4. 1 障害児学級新設
- 13. 3. 10 第 6 回全国環境ポスターコンクール学校賞受賞
- 4. 1 スクールカウンセラー活用事業開始
- 14. 12. 19 中学生税に関する作文コンクール学校賞受賞
- 15. 4. 1 英語・数学での少人数指導の開始、情緒障害児学級の設置
- 4. 14 木津町公園都市緑化協会によるビオトープ設置と植樹事業
- 16. 8. 2 校内 LAN 整備
- 9. 普通教室扇風機設置
- 17. 11. 25 開校 20 周年記念式典
- 19. 3. 12 木津川市誕生に伴い、木津川市立木津第二中学校と改称
- 4. 1～平成 19 年度「キャリア教育実践プロジェクト」（文部科学省地域指定）の「キャリア・スタート・ウィーク」実施校として指定を受ける。（8. 23～28 職場体験学習実施 2 年）
- 10. 11 内蒙古自治区教育訪問団来校
- 19. 駐輪場設置
- 20. 4. 9 校区再編成に伴い、木津川台小学校区の生徒が入学する。
- 11. 21 相楽地方中学校教育研究会指定発表「キャリア教育」
- 11. 22 「キャリア教育」文部科学大臣表彰
- 23. 3 駐輪場増設
- 24. 4 同志社大学との連携事業（「プロデュース能力」養成プログラムの開発）
- 24. 5 プール改装
- 25. 4 木津川市立小中学校情報教育研究指定
- 25. 10 「木津川市地域で支える学校教育推進事業」木津第二中学校区学校支援本部設置
- 26. 2 木津川市立小中学校情報教育研究指定公開授業
- 26. 5 木津川市特色ある学校づくり推進校
- 27. 4 開校 30 周年
- 27. 5 木津川市特色ある学校づくり推進校
- 27. 10 開校 30 周年式典
- 28. 4 特別支援教育充実に係る研究実践校
- 28. 5 木津川市特色ある学校づくり推進校
- 29. 4 N I E 実践指定校
- 30. 4 N I E 実践指定校

Ⅱ 教育

1 学校教育目標

めざす生徒像の完成を目指し、生徒一人一人が持つ可能性を最大限に開発し、生涯にわたる学習の基礎を培い、確かな見通しを持って主体的に生き抜く力を育む。

2 めざす生徒像

『友愛』 他人に思いやりを持ち、ともに高めあう生徒 **【社会貢献できる生徒の育成】**

『礼節』 礼儀と節度を守る生徒 **【望ましいコミュニケーション能力を持つ生徒の育成】**

『協力』 力を合わせ、よい校風をつくる生徒 **【グローバル社会を生き抜く生徒の育成】**

3 学校経営方針（中期経営目標）

- (1) 社会に開かれた教育課程の編成による社会の形成者たる生徒の育成。
- (2) カリキュラム・マネジメントの充実による魅力ある学校づくり。
- (3) インクルーシブ教育の推進による生徒が生き生きと過ごせる学校づくり。

4 本年度の指導の重点（短期経営目標）

(1) 「学校に行くのが楽しい」と「そう思う」生徒を 70 %にする。

- ア 「わかる授業」の創造（「何ができるようになるか」の未来志向を持った授業）
 - ・全教科による主体的・対話的で深い学びの手法の工夫改善。
 - ・評価「C」がつかないための個に応じた授業・補習の工夫と、「B」から「A」へと伸ばす個別の支援。
 - ・指導と評価の一体化と評価規準・基準の確立。
- イ 特別支援教育の視点を生かした教育活動の展開
 - ・授業のユニバーサルデザイン化の徹底。
 - ・教科横断的な視点も踏まえた組織的な対応の実施。
- ウ いじめ・不登校の根絶を目指した組織的な取組の積極的展開
 - ・あらゆる教育活動を通じた自立・自律心の育成と自己有用感の育成。
 - ・現状分析に立った道徳科の授業の実施と評価の充実。
 - ・生徒指導と特別活動が連携した生徒の主体性を育む開発的生徒指導の展開。
- エ 地域に開かれた学校づくり
 - ・地域の資源や人材を積極的に活用した取組の展開。

(2) 「先生は、悩みの相談にのってくれている」と「そう思う」生徒を 70 %にする。

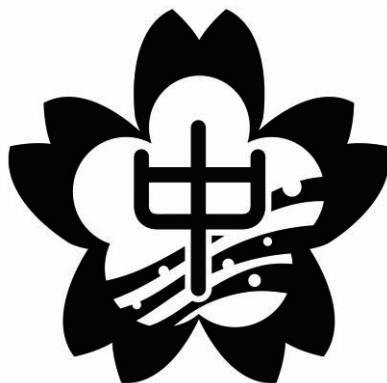
- ア 教職員自身が「魅力ある大人」を目指す不断努力。
 - ・「気づく」「伸ばす」「展望する」「挑戦する」「つながる」力を意識した定期的な自己診断と自己研鑽。
 - ・率先垂範できる行動力。
 - ・教職員集団の縦横を意識した連携。
- イ 人権教育への造詣の深化
 - ・人権の尊重と同和教育で培われてきた成果と手法の継承。
 - ・障がい特性の理解と生育環境を把握した上での指導。
 - ・地域・保護者との連携の強化と保護者の願いや思いに共感した指導。

5 本年度の研究主題

上記指導の重点を実現するため

- ・木津二授業スタンダードの推進と指導方法の工夫改善に向けた研究と実践。
- ・今日的教育諸課題に対する研修と研修内容の共有化。

木津川市立木津南中学校



木津南中学校校歌

作詞 長澤 秀明
作曲 森本陽三郎

一
水澄み渡る
豊かな流れ
古き都に
高き理想を
我らは学ぶ
ともに創らん

木津川の
永遠に
思いはせ
求めゆく
未来のために
木津南

二
清風薫る
白き学舎
若人の声
明日への希望
我らは紡ぐ
ともに歩まん

青い空
堂々と
響き合い
わき上がる
たがいの絆
木津南

郵便番号 619-0216
所在地 京都府木津川市州見台四丁目26番地
電話 (0774) 71-0850
FAX (0774) 71-0853
URL <http://www.kizu.ed.jp/kizu-m-jhs/>



1. 沿革

平成 23. 4. 1	木津川市立木津中学校から分離、開校（4月5日開校式） 京都府学校図書館機能充実推進事業研究指定（4年間）
23. 4. 8	第1回入学式（入学生 134 名 全校生徒 281 名 10学級）
24. 1. 18	校歌発表会
24. 3. 14	第1回卒業証書授与式（卒業生 51 名）
平成 24. 4. 10	第2回入学式（入学生 163 名 全校生徒 394 名 13学級）
24. 9. 13	木津南中学校区「きずなプロジェクト」開設 第1回挨拶運動実施
25. 3. 14	第2回卒業証書授与式（卒業生 97 名）
平成 25. 4. 10	第3回入学式（入学生 186 名 全校生徒 484 名 16学級）
26. 3. 14	第3回卒業証書授与式（卒業生 136 名）
平成 26. 4. 9	第4回入学式（入学生 204 名 全校生徒 511 名 18学級）
27. 3. 13	第4回卒業証書授与式（卒業生 164 名）
平成 27. 4. 8	第5回入学式（入学生 228 名 全校生徒 618 名 19学級）
28. 3. 14	第5回卒業証書授与式（卒業生 185 名）
平成 28. 4. 8	第6回入学式（入学生 242 名 全校生徒 673 名 21学級）
29. 3. 14	第6回卒業証書授与式（卒業生 206 名）
平成 29. 4. 10	第7回入学式（入学生 248 名 全校生徒 717 名 22学級）
29. 7. 30	平成29年度京都府中学校総合体育大会 サッカーの部 優勝
29. 8. 19	第48回全国中学校サッカー大会 出場（熊本県）
30. 3. 14	第7回卒業証書授与式（卒業生 226 名）
平成 30. 4. 1	京都式チーム学校推進校実践研究指定－事務共同実施－（3年間）
30. 4. 10	第8回入学式（入学生 267 名 全校生徒 755 名 23学級）
30. 7. 31	平成30年度京都府中学校総合体育大会 サッカーの部 優勝
30. 8. 17	第49回全国中学校柔道大会 出場（広島県）
31. 3. 14	第8回卒業証書授与式（卒業生 239 名）
平成 31. 4. 10	第9回入学式（入学生 261 名、全校生徒 777 名 23学級）
令和 1. 7. 30	令和元年度京都府中学校体育大会 サッカーの部優勝
1. 8. 8	令和元年度近畿中学校体育大会 サッカーの部 3位入賞
1. 8. 19	第50回全国中学校サッカー大会（奈良県）2回戦進出
2. 3. 13	第9回卒業証書授与式（卒業生 248 名）
令和 2. 4. 8	第10回入学式（入学生 298 名）

2. 教育

(1) 教育目標

主体的に未来を創造し、心豊かでたくましく生きる生徒の育成

(2) 目指す生徒像

- ア 主体的に考え行動する生徒
- イ 強さとしなやかさを持つ生徒
- ウ 目標を持ち、挑戦する生徒
- エ 礼儀と規律を重んじる生徒

(3) 目指す学校像

すべての生徒が「包み込まれているという感覚」を実感できる学校

(4) 学校経営方針

① 学力の充実・向上

- ・授業規律の徹底と活気のある授業から生まれる確かな学力を育む
- ・基礎、基本の徹底と、それらを活用して課題解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育み、達成感を含めた学習意欲の向上を図る

② 豊かな人間性の育成

- ・道徳教育・体験活動等を充実させ、主体的な判断ができる自立した生徒の育成を目指す
- ・人権教育を教育活動全体に位置付け、一人一人を大切にされた教育を推進する

③ 信頼できる学校体制の構築

- ・一人一人が安心感と存在感を持てる学級経営を行う
- ・適切な学校評価を行い、家庭、地域へ発信し説明責任を果たすとともに、期待に応える学校経営を行う
- ・教科、領域、学校運営に係る研究を重視し、先進的な教育活動の充実を図る

(5) 本年度の指導の重点

【重点目標1】質の高い学力をはぐくむ

主体的、対話的で深い学びの実現を目標とした授業改善を実施し、質の高い確かな学力を育む

- ① ICT活用に係る校内研修の充実
- ② 家庭学習（自主ノート）の充実
- ③ 学ぼう Day の効果的実施
- ④ 基礎・基本の徹底による学力の充実

【重点目標2】豊かな心と規範意識をはぐくむ

道徳教育や人権教育を教育活動全体に位置付け、道徳的な心情、判断力を養い、人権問題についての正しい理解を通して、課題解決のために行動できる態度を育てる

- ① 道徳の授業記録の改善と適切な評価の実施
- ② 発達段階に応じた体験学習の実施
- ③ 教育相談の充実によるいじめ、問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応

【重点目標3】健やかな身体をはぐくむ

健康で安全な生活を目指し、指導の充実を図る。安心安全な学校づくりに力を入れ、健康・安全・防災に関する取組を進める

- ① 全体計画を改善し、内容の精選、充実を図る
- ② 避難訓練の充実
- ③ 生徒の活動を充実し、健康・安全への意識向上を図る

【重点目標 4】一人一人の個性を伸ばし、社会の形成者としての資質をはぐくむ

望ましい集団活動や体験的な活動を通して、豊かな学校生活を築くとともに、公共の精神を養う。社会性の育成を図ることで、よりよい人間関係を築く力、社会に参画する態度や自治能力の育成を目指す

- ① 学級において個々の自己有用感を育てる取組の充実
- ② 生徒会・専門委員会・リーダー会活動によるリーダーの育成

【重点目標 5】社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ

知識基盤社会の時代において、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる

- ① 自己の生き方や進路について考え、その課題を解決していく実践的態度をはぐくむ内容を工夫する
- ② 職場体験学習などの多様な体験の実施
- ③ ICT 活用能力と情報モラルに関する指導の充実

【重点目標 6】魅力ある・信頼される学校・園をつくる

家庭や地域との連携、協力を強め、学校への信頼を高め、地域に開かれた学校作りを進める

- ① 学校公開や授業参観、HP の内容充実
- ② 職員研修等を強化し教職員のコンプライアンス意識を高める
- ③ 学校評価を適切に実施し、結果を効果的に発信する

【重点目標 7】地域の力を活かして子どもをはぐくむ

地域コーディネーターとの連携を軸に、地域ぐるみで生徒を育てる

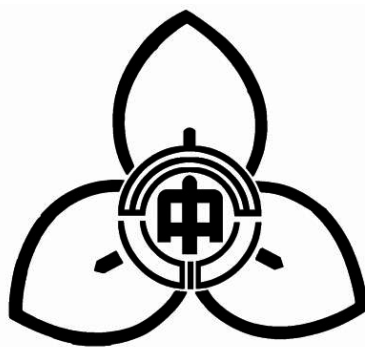
- ① 地域人材を活用した授業等の実施
- ② あいさつ運動（きずなプロジェクト）の充実

【重点目標 8】地域を学び、郷土を大切に作る心をはぐくむ

地域を学び、将来の本市を担う生徒を育成する

- ① 地域の研究機関や企業等とのネットワークづくりを推進する

木津川市立泉川中学校



泉川中学校校歌

作詞 辰己利治
作曲 桜井武雄

一、清き山なみ めぐらせる

恭仁の宮居を まのあたり

おおしくつよく すこやかに

学びにはげむ 若き友

ああ泉川中学に ああ泉川中学に

若き時代の 理想あり

二、山のみどりの かげうつし

泉のながれ たゆるなく

こころを珠と みがきつつ

真理をもとめ つどう友

ああ泉川中学に ああ泉川中学に

とわにかわらぬ 誠あり

三、古くさかえし 三つのさと

あかるき文化 うけつぎて

平和の 基 きづかんと

たがいに睦ぶ 若き日々

ああ泉川中学に ああ泉川中学に

ひかりかがやく 未来あり

郵便番号 619-1142
所在地 京都府木津川市加茂町大野烏田 75 番地
電話 (0774) 76-2101
FAX (0774) 76-8233
E mail izumi-jhs@kizu.ed.jp
H P <http://www.kizu.ed.jp/izumigawa-jhs/>

1 沿革

昭和	22 年 5 月 3 日	京都府相楽郡組合立泉川中学校と校名変更
	22 年 6 月 12 日	京都府相楽郡加茂町外 2 ヶ村組合立泉川中学校と校名変更
	23 年 5 月 12 日	泉川中学校育友会結成
	23 年 7 月 30 日	木造 2 階建 10 教室・便所竣工、運動場整備
	25 年 5 月 18 日	木造平屋建 5 教室・本館・便所竣工
	26 年 2 月 25 日	泉川中学校同窓会発足
	26 年 4 月 1 日	3 町村合併に伴い加茂町立泉川中学校と改称
	31 年 2 月 18 日	校旗、校歌生徒会歌制定
	31 年 9 月 28 日	特別教室竣工
	34 年 4 月 1 日	屋内運動場竣工
	38 年 6 月 29 日	米国ウィラード中学校と姉妹校関係成立
	39 年 11 月 26 日	国際理解教育研究発表
	40 年 1 月 7 日	沖縄山内中学校と姉妹校関係成立
	41 年 2 月 15 日	国際理解教育研究優秀校として学校教育賞受賞
	41 年 3 月 9 日	国際理解教育碑建設
	42 年 3 月 27 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
	42 年 12 月 4 日	補習学級開設
	43 年 3 月 28 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
	43 年 8 月 8 日	姉妹校沖縄山内中学校生徒本校訪問
	44 年 3 月 31 日	普通 9 教室改築落成
	44 年 3 月 31 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
	44 年 4 月 1 日	障害児学級開設
	44 年 5 月 1 日	普通教室改築竣工
	45 年 3 月 31 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
	45 年 9 月 25 日	補習学級で部落問題学習を始める
	46 年 1 月 18 日	補習学級を別の地域でも開設
	46 年 1 月 28 日	本館（含特別教室）改築竣工
	46 年 3 月 31 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
	46 年 6 月 7 日	2 地域の補習学級を隣保館で合同開設
	46 年 10 月 30 日	文化祭意見発表会の部で生徒が部落問題を訴える
	47 年 11 月 6 日	社会科の中における部落問題認識学習について研究発表
	48 年 4 月 8 日	ユネスコ協同学校に指定される
	50 年 1 月 17 日	ユネスコ協同学校研究発表
	52 年 11 月 11 日	創立 30 周年記念文化祭
	54 年 5 月 7 日	補習学級を児童館で開設
	57 年 1 月 8 日	南加茂台より第 1 回転入生受入れ
	57 年 9 月 1 日	校地移転（大字大野）・校舎竣工普通教室 12 教室・特別教室 7 教室
	58 年 8 月 22 日	水泳プール竣工
	59 年 3 月 19 日	普通教室 7 教室・特別教室、美術、音楽、理科教室 3 教室竣工
	62 年 4 月 6 日	障害児学級を「あすなろ学級」と命名
	62 年 11 月 5 日	第 24 回全国花いっぱいコンクール優秀賞受賞
	63 年 3 月 3 日	普通教室 3 教室・視聴覚室 1 教室竣工
平成	2 年 1 月 31 日	普通教室 6 教室竣工
	2 年 12 月 7 日	京都府教育委員会指定教育実践推進研究発表（国語科）
	5 年 3 月 1 日	泉川中学校育友会を泉川中学校 P T A に改称
	5 年 4 月 1 日	京都府社会福祉協力校の指定を受ける（5 年度～7 年度）
	5 年 9 月 1 日	コンピュータ教室完成
	6 年 11 月 21 日	京都府中学校教育研究会国語部研究大会
	8 年 2 月 1 日	府、さわやか賞（奨励賞）受賞

- 5 年 9 月 1 日 コンピュータ教室完成
- 6 年 11 月 21 日 京都府中学校教育研究会国語部研究大会
- 8 年 2 月 1 日 府、さわやか賞（奨励賞）受賞
- 8 年 11 月 28 日 相楽郡中学校教育研究会指定研究校研究発表（特別活動を通して）
- 9 年 7 月 1 日 平成9・10年度文部省指定スクールカウンセラー活用調査研究委託事業開始
- 9 年 11 月 1 日 50周年記念式典挙行
- 11 年 4 月 1 日 スクールカウンセラー、（町）心の教室相談員の委託事業開始（文部省）
- 12 年 3 月 24 日 コンピュータ機器入れ替え（教育用）
- 13 年 4 月 1 日 情緒障害児学級を開設
- 15 年 10 月 28 日 京都府中学校教育研究会英語部研究発表会（公開授業）
- 18 年 4 月 1 日 通級指導教室開設
- 19 年 3 月 12 日 木津川市誕生に伴い、木津川市立泉川中学校と改称
- 20 年 4 月 1 日 教育目標を「質の高い教育を目指し健やかな体をつくり、心豊かで確かな学力を持った生徒を育成する」と改訂
- 20 年 10 月 18 日 第55回山城地方中学校駅伝競走大会 男子初優勝(男子41校出場)
- 21 年 4 月 1 日 京都府教育委員会及び京都府山城教育局、木津川市教育委員会「京の子ども、夢・未来校（『ことばの力』育成プログラム開発協力校）」の研究指定を受ける（平成21・22年度）
- 21 年 6 月 20 日 第62回山城地方中学校陸上競技大会 男女総合優勝
- 21 年 10 月 17 日 第56回山城地方中学校駅伝競走大会 男子二連覇(男子41校出場)
- 22 年 4 月 1 日 平成22年度独立行政法人 科学技術振興機構「SPP科学館連携事業指定校」
- 22 年 4 月 1 日 テニスコート（2面）、バレーボールコート（1面）及び学校給食配膳室を新設
- 22 年 4 月 12 日 学校給食開始
- 22 年 6 月 19 日 第63回山城地方中学校陸上競技大会 男女総合優勝
- 22 年 12 月 7 日 「ことばの力」育成プログラム開発協力校研究成果発表会開催
- 23 年 4 月 1 日 京都府教育委員会指定「京の未来創造校」・木津川市教育委員会指定「教育実践推進校」（平成23・24年度）
- 24 年 12 月 1 日 京都府教育委員会指定「京の未来創造校」・木津川市教育委員会指定「教育実践推進校」研究発表
- 27 年 4 月 1 日 相楽地方中学校教育研究会の研究指定を受ける（平成27・28年度）
「学びの仲間づくり」を研究テーマとして質の高い学力の育成をめざす
- 28 年 11 月 30 日 相楽地方中学校教育研究会指定研究校研究発表（テーマ「学びの仲間づくり」）

2 学校教育目標

(1) 教育目標

質の高い教育を目指し健やかな体をつくり、心豊かで確かな学力を持った生徒を育成する。

(2) めざす生徒像

- 自ら学び、考え、判断し行動する生徒
- 自他を大切にする生徒
- 身体をきたえる生徒

(3) 学校経営方針

ア 「木津川市教育振興計画～生きる力をはぐくみ新しい時代を拓く“きづがわっ子”を目指して～」をもとに、生徒・教職員が一体となった学校づくりを推進する。

イ 学び合い、かかわり合うことで活気あふれる授業づくりを進め、質の高い学力の育成を目指す。

ウ 規範意識や人を大切にする心など、豊かな人間性を育むため、人権教育を基盤に、特別な教科道徳の授業や特別活動等における心の教育の充実を図る。

エ 心身ともにたくましく生きる力の育成に向けて、生徒の自主・自立を重視し、体験活動・部活動・生徒会活動を活性化する。

オ 魅力ある学校づくりを進め、不登校の未然防止に向けた取り組みを推進する。また、小中連携のあり方の研究を進める。

カ 地域の教育資源を活用した特色ある取組を進め、生徒の豊かな体験活動を創造する。

キ 保護者、地域、関係機関と双方向の連携を強め、開かれた学校、安心・安全な信頼される学校づくりを進める。

(4) 重点目標

ア 学校づくり

- ・学校経営計画に基づいた教育活動を推進する。
- ・校区の小学校との連携により義務教育9年間見通した教育を推進する。また、小中連携加配教員の有効的な活用を図る。
- ・人材育成を積極的に推進する。
- ・超過勤務時間を縮減し健康で魅力ある職場環境作りを一層推進する。

イ 学力の充実・向上

- ・学びの仲間作りを中心としたわかる授業、考える授業、助け合う授業を創造する。
- ・ICTの活用等、積極的に指導方法の工夫改善を図る。
- ・計画的、組織的に学力向上に向けた取組を推進する。

ウ 豊かな人間性の育成

- ・同和問題をはじめあらゆる人権問題の解決に向けた学習や啓発を計画的に推進

する。また、人権教育に関わる教職員研修の一層の充実を図る。

- ・特別な教科道徳科の指導と評価の一体化一層推進し、教職員研修の充実を図る。
- ・発達障害等を含む特別な支援を必要とする生徒に対する正しい理解と認識を培う特別支援教育の充実に努める。
- ・地域の人材等の活用により社会総がかりの取組を推進する。

エ 健やかな身体の育成

- ・健康で安全な生活の確保のための組織的・計画的な健康安全教育を推進する。
- ・部活動を活性化させる。

オ 生徒指導の充実

- ・規範意識の確立に努める。
- ・教職員の一致した指導と保護者、関係機関との連携を重視し、いじめ、暴力、不登校の未然防止や早期発見・早期解決に努める。
- ・各取組における生徒の良さや頑張りを丁寧な評価と励ましにより、信頼関係を築くことを重視し、指導を進める。
- ・生徒の自主的・自立的な学習や活動を充実させ、生徒の仲間づくりを推進する。

木津川市立山城中学校



山城中学校校歌

作詞 中谷 志津枝
作曲 中原 都男

一 山城平野ひろがりて
学びの園にしのための
希望の星はまたたけり
仰ぐひとみに青春の
もゆるいのちは輝きぬ
我等が山城中学校

二 遠山なみに雲なびき
朝日夕日の照りはゆる
歴史ににおう我が里よ
輝く伝え生かしつつ
新たなる理想めざしゆく
我等が山城中学校

三 泉の川の水きよき
平和の姿たたえつつ
小やむときなく流れゆく
いざや友垣手を取りて
ともに睦ばむとこしえに
我等が山城中学校

郵便番号	619-0205
所在地	京都府木津川市山城町椿井柳田 33 番地
電話	(0774)86-2001
FAX	(0774)86-5381
HP・URL	http://www.kizu.ed.jp/yamashiro-jhs/
E mail	yama-jhs@kizu.ed.jp

1 学校の沿革

昭和22年 5月	上狛町・高麗村・棚倉村組合立上狛中学校として開校
22年 8月	校章制定
22年10月	上狛中学校育友会結成
23年 7月	新校舎移転 2階建10教室竣工
23年 7月	体育後援会の結成
24年12月	上狛中学校同窓会の結成
25年 5月	本館棟並びに平屋建 5 教室竣工
27年 1月	組合立山城中学校と校名を変更
31年 8月	上狛町・高麗村・棚倉村の町村合併により山城町と命名され、それに伴い山城町立山城中学校と校名を変更
32年 2月	校歌制定（作詞中谷志津枝氏・作曲中原都男氏）
34年10月	体育館（鉄筋コンクリート造）竣工（549㎡）
37年 3月	技術科教室完成（147㎡）
38年 2月	文部省指定産業教育研究発表会
42年 4月	完全給食開始
42年 6月	NHK学校放送指定校となる（テレビ視聴）
45年 3月	鉄筋コンクリート 3 階建 普通教室(9)の竣工
46年 3月	〃 〃 特別教室(6)・準備室(4)の竣工
47年 3月	〃 〃 管理室・図書室・視聴覚教室・会議室等の竣工
48年 3月	校庭拡張・整備竣工（3,647㎡）
49年 5月	技術科教室新築（198㎡）
51年 3月	格技室の完成（旧技術科室の改修により）
51年 8月	自転車置場の完成 防球ネット完成（南側）
53年 3月	創立30周年記念にクラブボックスの完成（育友会より）
59年 3月	鉄筋コンクリート 2 階建（地下倉庫） 普通教室(4)の増築竣工
59年 4月	京都府社会福祉協力校指定（3ヵ年）
60年 7月	京都府中学校陸上競技選手権大会 男子総合準優勝 女子総合優勝
61年11月	府・日本体育学校保健センター指定健康安全教育研究実践発表会
63年10月	第43回国民体育大会 京都国体開催 山城町会場(成年女子ソフトボール)
平成元年11月	文部省指定教育実践推進校 道徳教育研究発表会開催
9 年10月	創立50周年記念式典開催（記念誌「わかば」発行）
11年 7月	大規模改造工事（Ⅰ期・耐震）
12年 7月	大規模改造工事（Ⅱ期・耐震）
13年 2月	コンピュータ新機種の導入
14年 4月	京都府教育委員会 環境教育推進校「京のエコスクール」（2ヵ年）指定
15年 2月	第3回世界水フォーラム関連イベント「身近な川の生物調査を通じて、水辺環境の保全を考える」シンポジウム発表（於：京都テルサ）
15年 4月	財団法人 省エネルギーセンター「省エネルギー教育推進モデル校」（3ヵ年）指定
15年11月	京都府教育委員会 環境教育推進校「京のエコスクール」研究発表会開催
15年11月	平成15年度優良PTA文部科学大臣表彰受賞（於：東京ホテルニューオオタニ）
16年 2月	平成15年度省エネ学習事例発表全国大会発表（於：東京パナソニックセンター）
16年 4月	通学服をブレザー等に変更
16年 6月	財団法人 社会経済生産性本部エネルギー環境教育情報センター「エネルギー教育実践校」（3ヵ年）指定
16年11月	社団法人 食品容器環境美化協会「第5回環境美化教育最優秀賞 文部科学大臣奨励賞」受賞
16年12月	財団法人 省エネルギーセンター「省エネ共和国」建国
17年 2月	サンケイ新聞写真ニュースセンター「第1回学校自慢エコ大賞 中学校部門エコ大賞」受賞
18年10月	体育館竣工式
19年 3月	日本エネルギー環境教育学会「第2回シンポジウム」発表（於：東京パナソニックセンター）
19年 3月	木津川市誕生に伴い、木津川市立山城中学校と改称
20年 4月	文部科学省「公立中学校運動部活動振興事業」に指定
21年 4月	独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」事業に採択
21年 4月	相楽地方中学校教育研究会より平成21,22年度研究校に指定
22年 4月	独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」事業に採択
22年12月	相楽地方中学校教育研究会指定発表「質の高い学力の育成とその基盤となるコミュニケーション能力の育成」
23年 2月	文部科学省委託「栄養教諭を中核とした食育推進事業」研究発表
23年 4月	独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」事業に採択
24年 3月	平成23年度交通安全優良校表彰
26年 4月	独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」事業に採択
27年 4月	京都府教育委員会「NIE実践指定校」に指定
28年10月	創立70周年記念式典開催（高岡寿成氏による記念講演）
29年 4月	中高生の科学研究実践活動推進プログラム(科学技術振興機構)研究指定
31年 4月	木津川市「特色ある学校づくり推進事業」平成31(令和元)年度・令和2年度の2年間の研究指定

2 教 育

(1) 学校教育目標

深く考え、明るく強く心豊かな生徒の育成

【めざす生徒像】

ア 自ら学ぶ意欲をもち、深く考える生徒

イ 豊かな心と協調性をもつ生徒

ウ 強い心身とたくましい実践力を備えた生徒

(2) 学校運営方針

上記の目標を達成するために、「京都府教育振興プラン」や「木津川教育振興基本計画～生きる力をはぐくみ 新しい時代を拓く“きづがわっ子”を目指して～」、また、「学習指導要領」等に即して、地域の実態に合わせた創意ある教育計画を立案し、生徒・教職員が一体となった学校づくり、特色ある教育活動を推進する。そのため、教職員は教育公務員としての使命と責任を自覚し、不断の研鑽と教職員評価の活用などを通して資質能力の向上に努める。

また保護者や地域社会との連携を深め、地域の力を活用することにより開かれた学校教育を推進し、信頼される学校づくりに努める。

ア 質の高い学力の育成と個性や能力の伸長を図る教育を推進する。

イ 豊かな人間性の育成と健康や体力の向上を目指した教育を推進する。

ウ 教職員の資質能力の向上を図る研修や取組を充実させる。

エ 日常の点検活動を重視した、安心・安全な教育環境づくりを充実させる。

オ 地域のよさや保護者の願いを取り入れた教育を充実させる。

カ 教職員の働き方改革の実行により、良好な教育環境づくりを充実させる。

(3) 重点目標

① 質の高い学力の育成

ア 主体的対話的で深い学びの実現による質の高い学力の育成と、生徒相互のつながりの教科を目指す学び合い学習「山中カルテット」を推進する。そのための授業研究・研修を展開する。

イ 2年目を迎える「木津川市特色ある学校づくり推進事業」指定による研究活動や、小中連携等の諸取組の推進を通し、指導方法の工夫改善を推進する。

ウ 学力診断テストの分析結果などを活用し、諸指導計画等の検証改善を推進し、組織的な指導体制のもと、生徒個々の学力向上につなげる。

エ 組織的な個に応じた指導と家庭との連携の推進により、主体的な学習意欲の高揚と、学習習慣の確立を図る。

② 豊かな人間性とたくましく健やかな身体の育成

ア 「特別の教科 道徳」の指導と評価、また、人権学習や情報モラルの学習等、校内の豊かな心の育成に関わる教育活動の改善、指導力向上を進める。また、そのための教職員研修の充実を図る。

イ 「総合的な学習の時間」等を利用したふるさと学習を充実させ、自己肯定感の涵養の一助とし、郷土愛をはぐくみ未来へ継承する教育を推進する。

ウ 朝読書の充実を軸にした、読書活動の推進を図る。

エ 「一生懸命が格好いい」と胸張れる、意欲的な日々の生活、また、「仲間とともに」学び合い、感動を分かち合う学校生活の構築のための指導をより充実させる。

オ 必要な生徒への支援を組織的に進める特別支援と教育相談の体制の構築を図る。

③ 地域の信頼を高める学校づくり

ア 学校評価等を活用し、積極的な情報提示、学校公開と説明責任の徹底を図る。

イ 文書管理の徹底、及び、守秘義務、服務規律の遵守、また、危機管理意識の高揚により、一層安心安全な学校生活の構築を推進する。

ウ 地域で支える学校教育推進事業の活用を推進する。

エ 教職員の働き方改革の実行により、良好な教育環境づくりを充実させる。

(4) 具体的実践計画

努 力 点	実 践 事 項
1 質の高い学力の育成	(1) 「山中カルテット」の活用の推進 ① 授業研究を中心とした、学び合いを生かした教職員研修の充実 ② 主体的な学習意欲を促進させる、対話的な授業スタイルの研究の推進 ③ 「共有課題」「ジャンプ課題」の工夫の研究の推進 (2) 授業研究、研修の推進 ① 2年目を迎える「木津川市特色ある学校づくり推進事業」指定による積極的な授業研究の実施と先進校等での研修への参加 ② 小中連携の積極的な活用と、センター出前講座等（指導主事、大学教員等の指導助言など）の活用 (3) 諸テスト等の分析結果等を生かした、諸指導の検証改善による学力向上の取組の推進 (4) 「山城中学校のしおり」の授業マナー・ルールに関わる記述等に基づく、組織的な指導の推進 (5) 個に応じた指導の推進 ① 「マイスタ」（終学活学習）の充実 ② 「ふりスタ」「学力アップ学習」「ステップアップ学習」等の活用の促進 ③ 家庭学習の内容や方法を充実させる指導の充実 ④ 家庭と連携した学習習慣確立のための指導の推進
2 豊かな人間性とたくましく健やかな身体の育成	(1) 豊かな人間性を育成する教育実践の充実 ① 人権学習など自他の命と人間の尊厳に関わる学習の充実と、いじめ防止の諸指導の徹底 ② 「特別の教科 道徳」の指導と評価をはじめとした教職員研修の充実 ③ 食育の取組など健康な生活習慣の確立 (2) 「総合的な学習の時間」等を利用したふるさと学習の充実 (3) 朝読書の充実を軸にした読書活動の推進 (4) 必要な生徒への支援を組織的に進める特別支援と教育相談の体制の構築 ① 若竹学級生徒及び、通常学級の支援の必要な生徒への組織的な特別支援教育の推進 ② 個々の生徒理解のための教育相談活動の活性化 ③ 生徒理解と有効な指導のための情報の整備 (5) 「一生懸命が格好いい」と胸張れる、意欲的な生活の構築 ① 「山城中学校のしおり」の徹底 ② 「時間」「掃除」「あいさつ」など基本的行動の徹底 (6) 仲間ともに学び合い、仲間ともに感動を分かち合う学校生活の構築

3 地域の信頼を高める学校づくり	(1) 積極的な情報提示、学校公開と説明責任 ① 保護者の立場に立った教育推進 ② 学期に一回以上の、保護者との直接会話の実行 (2) 文書管理、守秘義務、服務規律の徹底 (3) 危機管理意識の高揚による、安心安全な学校生活の構築 (4) 地域で支える学校教育推進事業の活用 ① 地域人材等の積極的活用 ② 福祉やボランティア活動等による地域貢献 (5) 教職員の働き方改革に沿った良好な教育環境づくりの推進
-------------------------	---

(5) 研究テーマ

「学び合い」を生かした教師力向上の取組

— 「授業改善」を軸とし、地域の力を生かした学校づくり —

(市「特色ある学校づくり推進事業」H31.4～2年間の研究指定)